

コタン シツチレ  
KOTAN SITCIRE

モシリ シツチレ 2  
MOSIR SITCIRE 2 村焼き国焼き 2

1959年11月2日 平賀サダ (サダモ)

- |                                      |            |  |
|--------------------------------------|------------|--|
| イレス チャシ<br><b>iresu cási</b>         | 1 私の育った城   | 1) 直訳すると <b>i-resu cási</b> イ・レス チャシ〈ひとを・育てる城〉=〈育ての城〉。「私を育てた城」ならば複数形を使って <b>irespa cási</b> イレシパ チャシ というはずである。しかし、訳文の自然さのために「私の育った城」と訳した。<br>3) <b>ci-sir-e-anu</b> チ・シリ・エ・アヌ〈された・地・に・置く〉は、地面に置かれていること、つまり、その大きな城がたっていたことを言う。<br>4-5) <b>i-resu</b> イ・レスは〈ひとを・育てる〉で、 <b>iresu sápo</b> イレス サポは〈育ての姉、養姉〉。 <b>i-respa</b> イ・レスパは、複数形で、ユーカラや聖伝の主人公の自叙には、しばしばこのように自敬の複数形が使われる。<br>8) <b>pakno</b> パクノ〈(これ)まで〉は「これで終り」というときにも用いられる。 <b>pakno ne kor</b> パクノ ネコロは、〈これまでであって〉つまり〈これで終りにして〉〈それから〉。 |
| タン ポロ チャシ<br><b>tan poro cási</b>    | 2 大きな城が    |  |
| チシレアヌ、<br><b>cisireanu.</b>          | 3 たっていた。   |  |
| イレス サポ<br><b>iresu sápo</b>          | 4 私は育ての姉に  |  |
| イレシパ キワ<br>5 <b>irespa ki wa</b>     | 5 育てられて    |  |
| オカアン カトウ<br><b>okaan katu</b>        | 6 暮していたことを |  |
| アノモンモモ、<br><b>anomómmomo.</b>        | 7 つぶさに述べる。 |  |
| [ウ]パクノ ネコロ<br><b>[u]pakno ne kor</b> | 8 さて       |  |
| [ウ]チャシ コトロ<br><b>[u]cási kotor</b>   | 9 城の天井の    |  |
| コヤイカラルウエ<br>10 <b>koyaykar ruwe</b>  | 10 作りようは   |  |

- エネ オカ ヒ、  
**ene oka hi,**
- シカリ チュブ ノカ  
**sikari cup noka**
- [ウ]ニン チュブ ノカ  
[u]nin cup noka
- エアルワト。  
**earuwato.**
- [ウ]エムコ クス  
5 [u]emko kusu
- [ウ]チャシ ウブソロ  
[u]cási upsor
- [ウ]トノン スクシ  
[u]tónon sukuš
- チエオマレ  
**cieomare**
- [ウ]セムコラチ  
[u]semkoraci
- [ウ]チャシ ウブソロ  
10 [u]cási upsor
- エニペコマ。  
**enipekoma.**
- [ウ]パクノ ネ コロ  
[u]pakno ne kor
- カムイ イヨイキリ  
**kamuy iyoykir**
- カムイ イヌマ  
**kamuy inuma**
- [ウ]ラン ペシクンネ  
15 [u]ran pes kunne
- 11 こうだった。
- 12 満月の形
- 13 三日月の形
- 14 ばかりの模様に満ちて  
いた。
- 15 そのために
- 16 城の中は
- 17 まるで昼の光に
- 18 照らされている
- 19 かのよう
- 20 城の中は
- 21 光り輝いていた。
- 22 それから
- 23 立派な宝器
- 24 立派な宝具が
- 25 山のようにいっぱい

13) cup チュブは太陽と月との総称だが、sikari cup シカリチュブ〈丸い月〉は満月、nin cup ニン チュブ〈減った月〉は細い月で、語り手のサダモさんはそれぞれ「満月」「三日月」と訳した。

15) emko エムコ は、日常語では〈半分〉だが、ここではこの1行が雅語の熟語で〈それゆえに〉。語り手のサダモさんは「それがために」と訳した。

16) upsor ウブソロ は〈ふところ〉で、家や城の〈中〉を表す。17) 昼間の明るく暖かい日ざしを言う。

18) ci-e-oma-re チ・エ・オマ・レ〈された・そこに・入る・させる〉。17-18行目を直訳すると〈(昼間の日ざしが)そこに入っていた〉。

21) e-nipek-oma エ・ニベッ・オマ〈そこに・光・ある〉。語り手のサダモさんは「光輝いていた」と訳した。

23) kamuy カムイ〈神〉は、立派なことの形容に使われている。iyoykir イヨイキリ は器関係の宝物を指す。語り手のサダモさんは sintoko シントコ〈行器〉、patci パッチ〈鉢〉を挙げた。

24) inuma イヌマは、武器関係の宝物を指す。語り手のサダモさんは刀、槍、弓矢を挙げた。

25-26) ci-situri-re チ・シトゥリ・レは〈された・伸びる・させる〉(si-turi シ・トゥリは〈自身を・伸ばす〉=〈伸びる〉)。《海岸の下の段丘(砂浜)のように伸びていた》、宝物が奥から手前へだんだん低く、長く伸びるほどに、たくさん陳列されている、という常套句である。

- チシトゥリレ。  
cisiturire.
- イヨイキリ エンカ  
iyoykir enka
- [ウ]ニシパ ムツベ  
[u]nispa mut pe
- オトゥ サントウカ  
otu santuka
- [ウ]オウカウイル  
5 [u]owkauyru
- ウコブサクル  
ukopusakur
- [ウ]スイパ カネ。  
[u]suypa kane.
- イヨイキリ カ タ  
iyoykir ka ta
- タパン ベレコロ  
tapan pe rékor
- カムイ ハヨクペ  
10 kamuy hayokpe
- [ウ]シクヌ ピトネ  
[u]siknu pito ne
- シクヌ カムイ ネ☆  
siknu kamuy ne☆
- [ウ]アン カネ。  
[u]an kane.
- イレス サボ  
iresu sápo
- アニコラヤブ。  
15 anikórayap.
- 26 陳列されていた。
- 27 宝器の上の方に
- 28 長者のはくような立派な  
刀が
- 29 何本もの柄 (つか) が
- 30 重なるようにかけてあつ  
た。
- 31 房がいっせいに
- 32 ゆらゆらゆれていた。
- 33 宝器の上に
- 34 これこそ言うなれば
- 35 神のよろいかぶとが
- 36 生きている御方
- 37 生きている神のごとく
- 38 あった。
- 39 育ての姉は
- 40 素晴らしい人であった。
- 31-32) 語り手のサダモさんは「ふさが kamuy maw カムイ マウ に吹かれてゆれている」と説明した。kamuy maw カムイ マウ は《神の息吹き、神風》。
- 34) re-kor レ・コロ は《名前・持つ》。
- 35) 立派なことの表現に kamuy カムイ の語が使われている。
- 37) テープには入っていない。後日、語り手のサダモさんが「siknu kamuy ne シクヌカムイネ と言うはずのところだ」と言ったので加筆した。pito ビト と kamuy カムイ は、同義語反復の対句によく用いられる対で、ほぼ同義に用いられている。

- カムイ ヘ タパン  
**kamuy he tapan** 41 神であろうか
- アイヌ ヘ タパン.  
**aynu he tapan.** 42 人であろうか。
- エアシラナ  
**easirana** 43 それこそ
- [ウ]ナン ニベキ  
**[u]nan nipeki** 44 顔の輝きが
- ヘトック チュブ ネ  
5 **hetuku cup ne** 45 出てきた朝日のように
- イイエヌチュブキ  
**iyenucupki** 46 日の光が
- [ウ]チウレ コトム  
**[u]ciwre kotom** 47 さすのにも似てまぶしいほど
- [ウ]ピリカ ルウエ  
**[u]pirka ruwe** 48 美しく
- アニコラヤブ.  
**anikórayap.** 49 素晴らしい。
- [ウ]パクノ ネ コロ  
10 **[u]pakno ne kor** 50 それから
- イヨイキリ モンポク  
**iyoykir monpok** 51 宝器の積んであるそばに
- チトウイエ アムセツ  
**cituye amset** 52 別造りの高床(たかどこ)
- [ウ]カネ アムセツ  
**[u]káne amset** 53 金(かね)の高床が
- チシレアヌ.  
**cisireanu.** 54 置かれていた。
- [ウ]アムセツ クルカ  
15 **[u]amset kurka** 55 高床の上で
- 45) hetuku ヘトック《生える、生まれる、(日や月)出る》。  
44-48) 語り手のサダモさんは「顔があんまりきれいで、日が出るとき後光がさす、そんなように輝いて、まともに見ることができないほど、まぶしいほどだ」と説明した。「1」にはこの表現はない。「1」では育ての姉は、月の神に終始しているが、この「2」では、この後、670行目以下にも、出たばかりの朝日に象徴され、日の神を思わせる表現が出る。  
51) テープではこの前に iyoykir en... イヨイキリエン... と言う声が入っている。iyoykir enka イヨイキリエンカ は《積まれた容器の上方》で言い間違えて言い直したものである。  
52) ci-tuye チ・トウイエ《された・切る》=《(別に)切られた》。  
54) 語り手のサダモさんは「置いてある」と訳した。3行目を参照。

- アヤヨレス。  
ayayóresu. 56 育てられていた。
- イレス サボ  
iresu sápo 57 育ての姉は
- オトゥケシト タ  
otu kesto ta 58 毎日毎日
- イパロスケ。  
iparosuke. 59 食事を用意し養ってくれた。  
59) i=par-o-suke イ・バラ・オ・スケ《私を・口・の所に・食事を用意した》=《私を養ってくれた》。
- 5 エアシラナ  
easirana 60 それこそ
- [ウ]ピリカ スケ  
[u]pirka suke 61 ごちそうを作るのに
- エヤイケスプカ  
eyaykesupka 62 いそがしく
- エワキタラ  
ewakitara 63 行ったり来たり
- [ウ]チウレ カネ  
[u]ciwre kane 64 しながら
- 10 [ウ]ピリカ スケ  
[u]pirka suke 65 よいごちそうが
- キワネキコロ  
ki wa ne ki kor 66 できあがると
- カバラペイタンキ  
kaparpe itanki 67 うすづくりのぬりもののおわん
- カバラペ オツチケ  
kaparpe otcike 68 うすづくりのぬりもののお膳を
- ウウオエロシキ  
uwoeroski 69 たくさん並べて
- 15 イコイプンパ  
ikoypunpa 70 私に供し

オトウ ケシト タ <b>otu kesto ta</b>	71 毎日毎日	71-72) 58行目では <b>otu kesto ta</b> オトウケシト タ のみが見れているが、ここでは <b>otu... ore... オトウ... オレ...</b> 《二つも三つも》つまり《たくさん》の対句が完全な形で出ている。
オレ ケシト タ <b>ore kesto ta</b>	72 来る日も来る日も	
[ウ]キ カトッフ <b>[u]ki katuhu</b>	73 食べさせてくれたことを	
アノモンモモ. <b>anomómomomo.</b>	74 私はずぶさに述べる。	
タネ アナクネ 5 <b>tane anakne</b>	75 今はもう	
セモロ ポロノ <b>semor porono</b>	76 私はかなり大きく	
[ウ]アナン キ コロ <b>[u]ánan ki kor</b>	77 なって	
タップ オロ ワノ <b>tap oro wano</b>	78 もう	
[ウ]シリカヌイエ <b>[u]sirkanuye</b>	79 刀のさやに	79-80) 2行とも、刀のさやに彫刻をほどこすことの実現で、しばしば対句で使われる。以下88行目までは、男の子が一人前の少年になったところで使われる常套句である。
トミカ ヌイエ 10 <b>tomika nuye</b>	80 彫刻をし	
タップン ペパテク <b>tapan pe patek</b>	81 このことばかりを	
ネフキ ネ アキ. <b>nefki ne aki.</b>	82 仕事にしていた。	
アカラ ワ アン ペ <b>akar wa an pe</b>	83 私が作ったものの	
トゥル エトコ <b>tu ru etoko</b>	84 彫っていく先々	84-86) 語り手のサダモさんは「この先どうやってほっていか、まきりの先先をみている」と訳した。 <b>makiri</b> マキリは、ものを切ったり彫ったりするための小刀、ナイフ。
マキリ エトク 15 <b>makiri etok</b>	85 小刀の進む先を	

アシクラリレ <b>asikrarire</b>	86	じっと見る。	86) sik-rari-re シク・ラリ・レ《目を・押えつけ・させる》＝《...の所をじっと見つめる》。
マキリ オカ <b>makiri oka</b>	87	小刀の通ったあとは	
アシッコテス <b>asikkotesu</b>	88	すうっと目をすべらせる。	88) sik-ko <sup>h</sup> -tesu ジク・コ・テス《目・に向かって・そらす》＝《(じっくり見つめず)さっと見る》。
オカアン カトウ <b>okaan katu</b>	89	こうして暮らしていたことを	87-88) 語り手のサダモさんは「してしまったあとではいねいに見ることいらないから、すーっと一目に見ていく」と説明した。 90) i-okere イ・オケレ《ものを・終える(?)》。語り手のサダモさんは90-91行目を「全部語る」と訳した。
5 アニオケレ <b>aniókere</b>	90	私は全部	92) この前に小休止があり、そのあと、91行目と同じ言葉をくりかえしている。
アノモンモモ。 <b>anomómmomo.</b>	91	つぶさに述べる。	
アノモンモモ。 <b>anomómmomo.</b>	92	つぶさに述べる。	
[ウ]ケシト アン コロ <b>[u]kesto an kor</b>	93	毎日毎日	
イレス サボ <b>iresu sápo</b>	94	育ての姉に	
10 イパロスケ <b>iparosuke</b>	95	養われて	95) 59行目を参照。
オカアン アイネ <b>okaan ayne</b>	96	ずうっと暮らしてきたのだったが、	
タネ ネクス <b>tane ne kusu</b>	97	このごろになって	
シネ アン ト タ <b>sine an to ta</b>	98	ある日のこと	99-100) nisap-ram-ta ニサプ・ラム・タ《急な・心・に》。語り手のサダモさんは「今まで思わなかったこと急に」と説明した。ふし(メロディー)の順を整えるために同じ行がくり返されている。
[ウ]ニサプラム タ <b>[u]nísapram ta</b>	99	ふと	
15 [ウ]ニサプラム タ <b>[u]nísapram ta</b>	100	急に	

- エキムネ ルスイ  
**ekimne rusuy**
- イヤヌカム.  
**iyannukamu.**
- タバン ペクス  
**tapan pe kusu**
- カムイ ハヨクペ  
**kamuy hayokpe**
- イヨイキリ カウン  
5 **iyoykir ka un**
- アウイナ カトウ  
**auyna katu**
- アノモンモモ.  
**anomómmomo.**
- カムイ コソソテ  
**kamuy kosonte**
- アシクルカ サム  
**asikúrka sam**
- エオピラサ.  
10 **eopirasa.**
- ウウオッカネ クツ  
**uwokkane kut**
- エアラサイ ネノ  
**earsay néno**
- アヤイコユブ.  
**ayaykoyupu.**
- カムイ ランケ タム  
**kamuy ranke tam**
- アクッポケチウ.  
15 **akutpokeciw.**
- 101 山へ行きたい
- 102 気持ちにおそわれた。
- 103 このために
- 104 立派なよろいかぶとが
- 105 宝器類の上ののせてあつたのを
- 106 取って下ろしたことを
- 107 私はつぶさに述べる。
- 108 立派な小袖を
- 109 私は自分の体に合わせて
- 110 広げてみた。
- 111 鎖状の金(かね)のベルトを
- 112 一回じめに
- 113 ぎゅっとしめた。
- 114 神から下されたような立派な刀を
- 115 腰にさした。
- 101-102) 語り手のサダモさんは「山さ行きたくなつた」「そう言う気持ちがかぶつてきたみたいに急に」と説明した。kamu カム は(かぶさる)。
- 105-106) 語り手のサダモさんは「たからものの上へ載せてあつたものをそこから取っておろした」と訳した。
- 113) 1958年録音の「村焼き国焼き1」(『アイヌ語音声資料7』1991)(以下それぞれ「1」、「音声資料7」と略称する)では ayaykosaye アヤイコサイエと言っていた。



- カネ ポン カサ  
**káne pon kasa** 116 金 (かね) の小さな筥
- カサ ラントゥペプ  
**kasa rantupep** 117 筥のたれひもを
- アヤイコユブ.  
**ayaykoyupu.** 118 ぎゅっとしめた。
- キナ トウイエ ホシ  
**kina tuye hos** 119 きゃはんを
- アエヤイポキシリ  
5 **aeýáypokisir** 120 きちっと足に
- [エ]カラカラ カネ  
[e]**karkar kane** 121 つけて
- カムイ カラ ストゥ  
**kamuy kar sutu** 122 神が作ったような立派な靴
- カネ ストゥケレ  
**káne sutuker** 123 金 (かね) の靴を
- アエヤユレカ  
**aeýáyureka** 124 自分の足に
- [ウ]カラカラ カネ  
10 **[u]karkar kane** 125 合わせて
- カネ ストゥケレ  
**káne sutuker** 126 金 (かね) の靴が
- アウレ カシ タ☆  
**auré kasi ta☆** 127 私の足の上で
- ウルキ フミ  
**uruki humi** 128 甲の部分の合う音が
- コキクナタラ.  
**kokiknatara.** 129 カチンカチンと鳴る。
- [ウ]パクノ ネ コロ  
15 **[u]pakno ne kor** 130 それから

120-121) a=e-yay-pokisir  
karkar ア・エ・ヤイ・ポキシ  
リ カラカラ (私は・それで・自  
分の・下の方 (=足) を 整え  
る) a=e ア・エが ay アイと  
一音節に発音されている。

123) この前に kane pon  
su... カネ ポン ス... (金の小  
さい...) と言いかけているの  
は「言い間違い」で、すぐ言い  
直している。pon ポンの一語  
が入ると音節数が余ってしま  
う。sutuker ストゥケレ は日  
常語では、ブドウぶるの皮で  
作った夏用の靴を言うが、こ  
こでは金属製となっている。

124-125) e-yay-ure-ka  
karkar エ・ヤイ・ウレ・カカ  
ラカラ (それで・自分の・足・  
の上を整える)。ure ウレは  
足のかかところから先の部分  
を言う (英語の foot-feet)。語り  
手のサダモさんは、「足に合  
わせた」と訳した。

127) 初めの aア は聞こえな  
いが、これは「言い違い」だ  
との語り手のサダモさんの言  
業によって補った。

127-128) u-ruki ウ・ルキは  
《互いを・のみこむ》。この2  
行を語り手のサダモさんは  
「靴をはくのに足の上で甲の  
部分が合う音がカチンカチン  
と鳴る」と説明した。

- [ウ]カネ アムセツ  
[u]káne amset 131 金 (かね) の高床 131) この前に aun... アウン... と聞こえるが、すぐ言い直している。
- [ウ]アムセツ カワ  
[u]amset ka wa 132 その高床の上から
- [ウ]ラナン キワ  
[u]ránan ki wa 133 私は下りてきて
- アペエトク ネ ヒ  
apeetok ne hi 134 横座のところに
- アコイサンコッカ  
5 akoyisankokka 135 ひざを 135-136) 行儀良く座ったのではなく、逆に、遠慮のない座り方である。「1」(『音声資料7』)59行目の注を参照。
- エシッチウレ コロ  
esitciwre kor 136 そろえて座ると
- イレス サポ  
iresu sápo 137 育ての姉は
- イネ ロク ペ クシ  
ine rok pe kus 138 なんとまあ
- イイエオリパク ペ  
iyeoripak pe 139 私に畏れてかしこまり
- イトウカリケ  
10 itukarike 140 私をまともに見ず 140-142) 直訳すると《私の手前に目を下の方へ下げている》。顔を上げて「私」をまともにもみるようなことをせず、下の方を見ていることを言う。畏れ慎んでいる様子の描写である。語り手のサダモさんは「あまり立派なので顔を見られないで目を下の方へ伏せている」と訳した。
- コシケラナ  
kosikerana 141 眼を下の方へ
- [ウ]アッテ カネ。  
[u]atte kane. 142 伏せている。
- イタカン ハウエ  
itakan hawe 143 私は
- エネ オカ ヒ,  
ene oka hi, 144 こう言った。
- コニンカヲ クス  
15 koninkar kusu 145 「よく聞いてください

- イレス サボ  
**iresu sápo** 146 育ての姉様
- タパン テ パクノ  
**tapan te pakno** 147 今まで
- イレス サボ  
**iresu sápo** 148 育ての姉様は
- シネン エネ ワ  
**sinen ene wa** 149 あなた一人で
- パロ チオイキ  
5 **paro cioyki** 150 私を養って
- イイエカラカラ ヒ  
**iyekarkar hi** 151 下さったが
- アエエオリパク  
**aeóripak** 152 それでは申し訳ない
- [ウ]キワ ネ コロ  
[u]ki wa ne kor 153 ので
- タナン ト オロ タ  
**tanan to or ta** 154 今日は
- エキムネアン ヤク  
10 **ekimnean yak** 155 私が山へ行って
- [ウ]ユク チコイキプ  
[u]yuk cikoykip 156 シカを
- カシ チオセ  
**kasi ciose** 157 とって来て
- アエカラカラ キ ナ.  
**aekárkar ki na.** 158 あげますからね。]
- イタカン トウラ  
**itakan tura** 159 と言いながら
- [ウ]ソイ ワ サンマ  
15 **[u]soy wa samma** 160 外へ

152) a=e=e-oriapak ア・エ・エ・オリパク《私は・あなたに・そのことについて・畏れかしこむ》。ay'éoripak アイエオリパク と発音されている。

159) 語り手のサダモさんは「言いながら」と訳した。tura トウラ は《...と共に》。

アノシライエ。 <b>anosíraye.</b>	161	出た。	
インカラシ ルウエ <b>inkaran ruwe</b>	162	見ると	
タネボ タブネ <b>tanepo tapne</b>	163	いま初めて	163) <b>tanepo</b> タネボ〈今初めて〉、 <b>tapne</b> タブネ〈このように〉。 <b>tanepo tapne</b> タネボタブネを語り手のサダモさんは「今初めて」と訳した。
イレス チャシ <b>iresu cási</b>	164	育った城の	
[ウ]ソイケ サマ 5 [u]soyke sama	165	外側を	
アヤヤムキレ。 <b>ayayámkire.</b>	166	見て知った。	
タネボ ソンノ <b>tanepo sonno</b>	167	いま初めて本当に	167) <b>sonno</b> ソンノ は〈まことに、本当に〉。語り手のサダモさんは <b>tanepo sonno</b> タネボ ソンノ を「今はじめて本当に」と訳した。
カムイ カラ チャシ <b>kamuy kar cási</b>	168	神の造られた城が	168) <b>kar</b> カラ と <b>cási</b> チャシ は続けて <b>kat cási</b> カツチャシ と発音されている。r と c が続くと r は t になる。
ケライ ネクス <b>keray ne kusu</b>	169	神がなさることだけあって	170) 直訳すると〈城・神〉。語り手のサダモさんは「神さまのような立派なチャシ」と訳した。
[ウ]チャシ カムイ 10 [u]cási kamuy	170	立派な城が	
[ウ]ピリカ カトウ [u]pirka katu	171	美しいことを	
アノモンモモ。 <b>anomómmomo.</b>	172	私はつぶさに述べる。	
[ウ]チャシ ウツソロ [u]cási upsor	173	城の中も	173-174) <b>upsor</b> ウツソロ は〈ふところ〉つまり〈中〉。語り手のサダモさんは「中も外も」と訳した。
チャシ ソイナワ <b>cási soyna wa</b>	174	城の外側も	
アノモンモモ。 15 <b>anomómmomo.</b>	175	つぶさに述べる。	

- [ウ]ピリカ カトゥ  
[u]pirka katu 176 美しいことを
- アノモンモモ。  
anomómmomo. 177 つぶさに述べる。 177) このあと休止。テープを裏返す。  
178-181) 山へ行く道と浜へ行く道が別々に両方あることを言う。
- エキムン キロル  
ekimun kiroru 178 山へ通じる立派な道は
- [ウ]シンナ カネ  
[u]sinna kane 179 別になっており
- エピスン キロル  
5 episun kiroru 180 浜へ通じる立派な道は
- [ウ]シンナ カネ  
[u]sinna kane 181 別になっていた。
- [ウ]シラン チキ  
[u]siran ciki 182 すると
- エキムン キロル  
ekimun kiroru 183 山への道
- キロル トゥイカ  
kiroru tuyka 184 道の上で
- アエヤイリキクル  
10 aeyárikikur 185 私の体がスーッと上へ 185) この語り手のサダモさんの言葉では、ae... アエ... は ay... アイ... と発音される。以下同様。
- ホブンパ カネ  
hopunpa kane 186 上がって
- [ウ]トイトイ カワ  
[u]toytoy ka wa 187 土の上から
- ホプニ レラ  
hopuni réra 188 立ちのぼる風
- [ウ]マウ シリカシ  
[u]maw sirkasi 189 風に吹かれたように 189-191) 語り手のサダモさんは「自分の体、風に吹かれたように上がった」と訳した。
- アエヤイコシネクル  
15 aeyákosnekur 190 体が軽く

- [ウ]プンパカネ  
[u]punpa kane 191 浮き上がって
- エパコロ ベツポ  
epakor petpo 192 我が川
- [ウ]ベツトゥラシ  
[u]pet turasi 193 川にそって川上へ
- ホプニネワ  
hopuni ne wa 194 飛んだり
- [ウ]テレケネワ  
5 [u]terke ne wa 195 跳ねたりして
- アキフネコロカ  
aki p ne korka 196 行ったけれども
- アエキサラストウ  
aekisarsutu 197 そのせいで耳元に  
197-198) 語り手のサダモさんは「耳に風切る」と訳した。
- コマウクルル。  
komawkururu. 198 風がピューピューと鳴り響く。
- [ウ]ベツトゥラシ  
[u]pet turasi 199 川に沿って川上へ
- アラパアンフムコ  
10 arpaan hum ko 200 のぼっていく音が
- コトゥリミムセ。  
koturimimse. 201 ブルンブルンと鳴り響く。
- [ウ]キロックアイネ  
[u]ki rok ayne 202 しばらくそうしていると
- アコロエキムネ  
akor ekimne 203 山へいくのが  
203-205) 直訳すると、《私の山行きについて持っていた心が急にパッとなくなった》。語り手のサダモさんは「山へ行くのが急にいやになった」と訳した。
- アエアヌラム  
aeánuramu 204 急に
- エサッカオシマ。  
15 esakkaosma. 205 いやになった。

- タパン ペクス  
**tapan pe kusu** 206 このために
- エパコロ ペツポ  
**epakor petpo** 207 我が川
- [ウ]ペツ ホントモ  
**[u]pet hontomo** 208 川の中程で
- アエヤイエラナ☆  
**aeயáyerana☆** 209 下に
- [ウ]ランケ カネ  
 5 **[u]ranke kane** 210 降りて
- [ウ]ペツ テクサム タ  
**[u]pet teksam ta** 211 川端に
- アチャシトウシテッカ.  
**acastustekka.** 212 身動きもしないでいた。
- イヌアン クニ  
**inuan kuni** 213 聞こえてきたことは
- エネ オカ ヒ,  
**ene oka hi,** 214 こうだった。
- アラトウイソ カ  
 10 **aratuyso ka** 215 彼方の海原の方
- アトウイソ カワ  
**atuyso ka wa** 216 海原の方から
- マク アン カツ コロ ペ  
**mak an kat kor pe** 217 どんなものだから
- [ウ]エツ フム コンナ  
**[u]jek hum konna** 218 来る音が
- コトゥリ ミムセ  
**koturimimse** 219 ブルンブルンと鳴り響き
- コケウロトツケ.  
 15 **kokewrototke.** 220 バリッバリッと音がする。

209) テープでは  
**ayyayorana** アイヤヨラナ  
 と言っているが、語り手のサ  
 ダモさんが後日テープを聞いて  
 訂正した。a=e- ア・エ は  
**ay** アイと発音されている。  
 209-210) 直訳すると《私は  
 そこ (=川の中程) で自分を  
 下方へおろして》。語り手の  
 サダモさんは「空からおり  
 て」と訳した。  
 212) a=cas-tustek-ka ア・チ  
 ャシ・トゥンテク・カ《自分は・  
 (? )・じっとしている・させ  
 る》。tustek トゥンテクは身動  
 きもせず声も出さずじっとし  
 ていることを言い、東部方言  
 では日常語でも動詞として使  
 われる。語り手のサダモさん  
 は「おりたまま指の一つも動  
 かさないでつたつて」と訳  
 した。  
 215) ar-atuy-so ka アラ・ア  
 トウイ・ソカ《全く・海・面  
 の上》。遥かに遠い海原。

- [ウ]センラム セコロ  
[u]senram sekor 221 なるほど (?)
- マクアン カッコロ ペ  
mak an kat kor pe 222 どんなものだか
- [ウ]パセ フミ  
[u]páse humi 223 重い音を
- [エ]シトゥラレ  
[e]siturare 224 伴って来る。
- [ウ]コシネ フミ  
5 [u]kosne humi 225 軽い音は
- [エ]シホピレ.  
[e]sihopire. 226 伴わずに置いて来る。
- [ウ]ニシ ラブ エトク  
[u]nis rap etok 227 雲が下がってくる先
- [ウ]ホシキ ニシ  
[u]hoski nisi 228 初めの雲は
- [ウ]トゥイトウイ ニシ ネ  
[u]tuytuy nis ne 229 きれぎれの雲になって
- ウコトゥットウルセ.  
10 ukotutturse. 230 ごちゃごちゃと走っていく。
- [ウ]ニシ ラブ エトク  
[u]nis rap etok 231 雲の下がってくる先から
- [ウ]ヌムヌ カウカウ  
[u]numnu kawkaw 232 大粒のあられ
- [ウ]ヌムヌ アプト  
[u]numnu apto 233 大粒の雨が
- エラン フム コンナ  
eran hum konna 234 降る音が
- コセベパッキ.  
15 kosepepatki. 235 ザア—ッと鳴る。

221) senram sekor センラム セコロ は、よくわからない。金田一、久保寺の訳では「いつもながらの」「いつもするように」(『ユーカラ集』8、p.67、p.220)、「いつもの通りに、昔ながら、いつものように、またもや」(『神謡聖伝』注解)。なお665行目を参照。

224-226) si-tura-re シ・トゥラ・レ は(自分・に同伴する・させる)。語り手のサダモさんは「湧いてきた」と訳した。si-hopi-re シ・ホピ・レ は(自分・を置いて離れて行く・させる)。2行づつの対句の中で、224行目の tura トウラ〈…を同伴する〉と、この hopi ホピ〈…置いて行く〉を対語とする同じ構成の語が使われている。この方言の日常語では、hopi ホピは、単独の動詞としては失われ、複数形の形の hoppa ホッパが、単独の区別なく用いられる。

225-226)語り手のサダモさんは「軽い音はそこらわかれしまう(「そこからわかれてしまう」の、田村の誤筆記であろう)、のけて歩く」と訳した。

227)語り手のサダモさんは「夕立の雲が上がって(「下がって」の、田村の誤筆記であろう)くる先」と訳した。

229-230) uko-tur-turse ウコ・トゥル・トゥルセは〈一緒に・ころぶ・(重複)〉。語り手のサダモさんは「途切れ雲がはい、ごちゃごちゃと走ってあるく」と訳した。

234) e-ran エ・ラン〈(雲の下がってくる先)から(雨あられが)降る〉。

235)語り手のサダモさんは「ザア—ツとなる、木の上でも家の上でも」と説明した。



イヨシ ニシヒ <b>iyos nisihi</b>	236	その後が続いて来る雲は	
ルヤンペ ニシネ <b>ruyanpe nis ne</b>	237	嵐の雲になって	
ニソパラクル <b>nisoparakur</b>	238	真っ黒な雲が	
[ウ]チウレ カネ <b>[u]ciwre kane</b>	239	一面に広がり	
マクアン カツ コロベ 5 <b>mak an kat kor pe</b>	240	どんなものだから	
[ウ]ペツ トウラシ <b>[u]pet turasi</b>	241	川沿いにのぼって	
[ウ]アラキ フミ <b>[u]arki humi</b>	242	来る音が	
コトゥリミムセ. <b>koturimimse.</b>	243	ブルンブルンと鳴り響いている。	
アロカムキンノ <b>arokamkinno</b>	244	私はわざと	244) ar-okamkir-no アラ・オカムキリ・ノ《全く・わざと・(副詞形成)》。語り手のサダモさんは「わざと」と訳した。
アキッネクス 10 <b>aki p ne kusu</b>	245	していることだから	246) r は t の前で t になり、 <b>kapat toypo</b> カパットイポと発音される。
[ウ]カパラ トイポ <b>[u]kapar toypo</b>	246	土けむりを	246-247) <b>kapar toy-po</b> カパットイ・ポ《薄い土・(指小辞)》。yay-ka-kus-te ヤイ・カ・クシ・テ《自分・の上・を通る・させる》。
アヤイカクシテ <b>ayaykakuste</b>	247	かぶって身をかくして	249) 直訳すると「その途中に」「そのうちに」。語り手のサダモさんは「まもなく」と訳した。
[ウ]アナン アウ <b>[u]ānan awa</b>	248	いたところ	
[ウ]ホントモタ <b>[u]hontomo ta</b>	249	まもなく	250) ar-kuanno アラ・クア ンノ《全く・まっすぐに》。語り手のサダモさんは「真正面に」と訳した。
[ウ]アラクアンノ 15 <b>[u]arkuanno</b>	250	真正面	

イテッサマ タ <b>iteksama ta</b>	251	私の脇に	
[ウ]ベツソ カタ <b>[u]petso ka ta</b>	252	川面の上に	
マク アン カツ コロ ペ <b>mak an kat kor pe</b>	253	どんなものだか	
チシクルレ。 <b>cisikurure.</b>	254	近寄って来る。	
5 [ウ]ウララ タク ネ <b>[u]urar tak ne</b>	255	霞を	252) 語り手のサダモさんは「川の上に」と訳した。
コヤイカヲ カネ。 <b>koyaykar kane.</b>	256	かぶっている。	254) ci-si-kuru-re チ・シ・クル・レ<(中相)・自分・(?)・させる>。kuru クルは kur クル<影>と関係があるだろうか。姿が見えるほど近寄って来たことを言うのだろうか。語り手のサダモさんは「(自分の方に)寄って来た」と訳した。
コウラツチャリ <b>kouratcari</b>	257	私はその霞を払い	255-256) 直訳すると<霞の塊のように自分を作って>つまり<霞の塊に化けて>。語り手のサダモさんは「霞かぶっている」と説明した。
エパキ ワ <b>epaki wa</b>	258	とばして	257) ko-urar-cari コ・ウララ・チャリ<(それ)に対して・霧/霞・を払いとばす>。語り手のサダモさんは「霞を払ってみた」と訳した。
アヌカラルウェ <b>anukár ruwe</b>	259	見ると	258) epa=ki エパ・キ<自分は・した>。韻文のリズムの関係で、a=アの代りに epa=エバが使われる。
10 エネ オカ ヒ、 <b>ene oka hi,</b>	260	こうだった。	
イヤイノマレ。 <b>iyaynomare.</b>	261	驚くべき様子だ。	261) 語り手のサダモさんは「たまげた」と訳した。
カムイ メノコ <b>kamuy menoko</b>	262	女神	263) nankor-a ナンコラは、nankor ya ナンコロヤ<であろうか>が続けて発音された形。
[ウ]アン ナンコラ。 <b>[u]an nankora.</b>	263	であろうか。	
レタラ コソント <b>retar kosonte</b>	264	白い小袖	265) r は c の前で t になり、retat cipanup レタツ チパヌッ と発音されている。ci-panu-p チ・パヌ・ッ<される・かぶる・もの>は、頭飾りの鉢巻を言う。
15 レタラ チパヌブ <b>retar cipanup</b>	265	白い頭飾りの鉢巻を	

- [ウ]ヤイネナイネ  
[u]yaynenayne 266 そろいで
- エシピネ ベ  
esipine pe 267 身につけているのが
- エアシラナ  
easirana 268 それこそ
- カムイ ネクス  
kamuy ne kusu 269 神だから
- [ウ]カムイ イポロ  
5 [u]kamuy ipor 270 神の顔付が
- [ウ]エイポットゥンマ  
[u]eypottumma 271 人間の顔つきとは
- コシンナ カネ  
kosinna kane 272 違っている。
- ヌブル ペソネ  
nupur pe sóne 273 霊力のあるものにま  
ちがいない。
- ヌブル チャンノイエフ  
nupur cannoyep 274 霊力があるものである  
ことを
- エシルトゥムカ  
10 esirutumka 275 頭飾りをかぶって自分  
の中に
- [ウ]セシケ カネ  
[u]seske kane 276 おおいかくしている。
- [ウ]チカラカラ コンチ  
[u]cikarkar konci 277 ししゅうした頭巾を
- [ウ]アンパ カネ  
[u]anpa kane 278 手に持って
- [ウ]ベツソ カタ  
[u]petso ka ta 279 川面の上に
- ホラオチウパ、  
15 horaociwpa. 280 さっと下りて来た。
- 266) 語り手のサダモさんは「そ  
ろいの」と訳した。  
267) e-sipine pe エ・シピネ ベ  
《(それ)で、身支度している も  
の》。語り手のサダモさんは「ま  
かなっている」と訳した。この場  
合「まかなう」は(衣服装束を)身  
につける(着る・かぶる・はく)こ  
とを言う。  
268) 感嘆の表現。  
270-271) ipor イポロ は《顔色・  
顔つき》。eypottumma エイポ  
ットゥンマ は e-ipor-tum wa エ・イ  
ポロ・トゥム ワ《(それ)で・顔色・の  
中から》。  
269-272) 語り手のサダモさんは  
「神様だから神様の顔が人間と  
違って別に現れている」と説明し  
た。  
273) nupur ヌブル は神靈の力  
(超能力)があることで、目に見え  
ないことが霊の目で見えたり、遠  
方のことも未来のことも何でも  
わかる、そういう能力のあること  
を言う。sóne ソネ は《まこと  
に》。語り手のサダモさんは「ま  
ちがいない」と訳した。  
274) cannoyep チャンノイエフは  
ci-ar-noyep チ・アラ・ノイエフ  
《された・全く(または、1回)・  
ねじる・もの》。cipanup チバヌ  
フ《頭飾りの鉢巻》のことか?  
275-276) e-si-rutum-ka-seske  
エ・シルトゥム・カ・セシケ《(そ  
れ)で・自分・の中・も?・お  
おう》。語り手のサダモさんは「自  
分のできることを隠している」と  
訳した。  
274-276) 語り手のサダモさんは  
「ここに座っていてもどこに何が  
あるか何でもわかるが、わからん  
ふりして cipanup チバヌフをか  
ぶっている」と説明した。  
276) seske セシケ《おおう、ふさ  
ぐ》。339行目の山から来た女神  
の描写では、同じ文脈で nuyna  
ヌイナ《かくす》が使われている。  
280) 語り手のサダモさんは「お  
りてきた」と訳した。

- [ウ]チャントウシテツカ  
[u]castustekka 281 じっと立っている。 281)212行目と同じ。ここでは語り手のサダモさんは「立っている」と訳した。
- [ウ]シラン アワ  
[u]sírán awa 282 そうしていると
- エパコロ ベツポ  
epakor petpo 283 我が川
- ペックル エトコ  
pet kur etoko 284 川の上(かみ)のはずれ
- イウオロソ カワ  
5 iworso ka wa 285 奥地の方から
- マク アン カッコロ ペ  
mak an kat kor pe 286 どんなものだから
- コフメプシ  
kohúmpusi 287 音を出して 287) 語り手のサダモさんは「空気に乗ってグーッと音さして出て来る」と説明した。
- [ウ]サン フム コンナ  
[u]san hum konna 288 出て来る音が
- コトウリ ミムセ  
koturimimse 289 ブルンブルンと鳴り
- コケウロトツケ、  
10 kokewrototke. 290 バリッバリッと響く。
- エアシラナ  
easirana 291 それこそ
- イナン オカイ ペ  
inan okay pe 292 いずれも 292-295) 語り手のサダモさんは「沖から来た女も奥から来た女もどっちも上がり下がりにない、どっちもえらい神様」と説明した。
- [ウ]ラポッカリ  
[u]rapokkari 293 まさり劣り
- [ウ]キ カネ ヒ  
[u]ki kane hi 294 することも
- [ウ]コイサムノボ  
15 [u]koysamnopo 295 まるでなく

	ウパク ラメトク <b>upak rametok</b>	296 全く同じく立派な	296) u-pak ウ・パク(互・と 同じくらい)。rametok ラメ トク は、通常は勇猛さ、大胆 さを言うが、ここでは、語り 手のサダモさんの説明によれ ばここでは姿や身分をさして いるようだ。
	チエソネレ。 <b>ciesonere.</b>	297 ものらしい。	297) ci-e-sonere チ・エ・ ソネ・レ(される・それで・本 当である・させる)つまり、 (本当にそうだ)。
	シパセ カムイ <b>sípase kamuy</b>	298 まことに尊い神が	296-297) 語り手のサダモさ んは「何を言われても何をさ れても姿も器量も全く同じ。 おんなし位のあるものらし い」と説明した。
	[ウ]パセ フミ <b>[u]páse humi</b>	299 重い音を	298-299) páse パセ(重い) は、(尊い、位の高い、重要 な)ことを表す。
5	[ウ]シトゥラレ <b>[u]siturare</b>	300 伴って来る。	299-307) 前出の223-235行 目の大部分のくり返しであ る。反対方向から来た二人の 女神が、全く同様の現れ方で 現れたわけである。
	[ウ]コシネ フミ <b>[u]kosne humi</b>	301 軽い音は	
	[エ]シホピレ。 <b>[e]sihopire.</b>	302 伴わずに置いて来る。	
	[ウ]ニシ ラブ エトク <b>[u]nis rap etok</b>	303 雲が下がってくる先から	
	[ウ]ヌムヌ カウカウ <b>[u]numnu kawkaw</b>	304 大粒のあられ	
10	[ウ]ヌムヌ アプト <b>[u]numnu apto</b>	305 大粒の雨が	
	エラン フム コンナ <b>eran hum konna</b>	306 降る音が	
	コセベパッキ。 <b>kosepepatki.</b>	307 ザアーッと鳴る。	
	カムイ オマ ニシ <b>kamuy oma nis</b>	308 神が乗っている雲が	
	[ウ]ニッシネイクル <b>[u]nissineykur</b>	309 あたりの雲を	309) nissineykur ニッシネ イクルの意味は不明。
15	[ウ]オッテ カネ <b>[u]otte kane</b>	310 払いのけながら	308-310) 語り手のサダモさ んは「乗っている雲がそこら にある雲をはらいのけなが ら」と訳した。

- マク アン カッコロ ペ  
**mak an kat kor pe** 311 どのようなもの
- [ウ]ネ ナンコラ  
**[u]ne nankora** 312 だろうか、  
312) nankora ナンコラーは nankor ya ナンコロ ヤが続けて発音された形。語り手のサダモさんは311-312行目を「どのようなものかしら」と訳した。
- [ウ]ペツ ペシ カイキ  
**[u]pet pes kayki** 313 川上からも  
313-314) pes ペシは〈…に沿って下へ〉。313-314行目を語り手のサダモさんは「川なりに下がった音」と訳した。
- [ウ]サン フム コンナ  
**[u]san hum konna** 314 出て来る音が
- コトゥリミムセ。  
5 **koturimimse.** 315 ブルンブルンと鳴り響く。
- [ウ]キ ロク アイネ  
**[u]ki rok ayne** 316 それがしばらく続いてから
- [ウ]タン テポ タ  
**[u]tan tepo ta** 317 すぐ目の前に  
317) tan tepo ta タン テポ タ〈この ここ (指小辞)に〉。このまさにここに。語り手のサダモさんは「すぐ目の前に」と訳した。
- レタラ コソソテ  
**retar kosonte** 318 白い小袖の
- カムイ メノコ  
**kamuy menoko** 319 女神の
- [ウ]テクサマ タ  
10 **[u]teksama ta** 320 すぐそばに
- マク アン カッコロ ペ  
**mak an kat kor pe** 321 どんなものだから
- チシクルレ。  
**cisikurure.** 322 近寄って来た。  
322) 254行目と同じ。ここでも語り手のサダモさんは「寄って来た」と訳した。
- アヌカラ ルウエ  
**anukar ruwe** 323 見ると
- エネ オカ ヒ、  
**ene oka hi,** 324 こうだった。
- クンネ コソソテ  
15 **kunne kosonte** 325 黒い小袖

- クンネ チパヌフ  
**kunne cipanup** 326 黒い頭かざりの
- コアラウウエウン  
**koar'uweun** 327 ひとそろいを 327) ko-ar-uweun コ・アラウウエウン(接頭辞)・全く・揃いである)。語り手のサダモさんは「ひと揃い」と訳した。
- [ウ]ヤイネナイネ  
**[u]yaynenayne** 328 上から下までそろいで
- エシピネ ペ  
**esipine pe** 329 身につけている。 329) 267行目と同じ。ここでも語り手のサダモさんは「まかなってる」と訳した。なお「1」では、前出の白い小袖の女神とこの黒い小袖の女神との、頭かざりの鉢巻のつけ方の対照的な描写がある。330-333) 269-272行目と同じ。332-333行目を語り手のサダモさんは「普通の人間とは顔色も違う」と訳した。
- カムイ ネクス  
 5 **kamuy ne kusu** 330 神だから
- [ウ]カムイ イポロ  
**[u]kamuy ipor** 331 神の顔つきが
- エイポットウンマ  
**eypottumma** 332 人間の顔とは
- コシンナ カネ。  
**kosinna kane.** 333 違っている。
- [ウ]ホシキ エク アフ  
**[u]hoski ek a p** 334 先に来ていたもの
- [ウ]ネノ カネ  
 10 **[u]néno kane** 335 と同様に
- ヌプル ペソネ  
**nupur pe sóne** 336 本当に霊力のあるものだが
- ヌプル チャンノイエフ  
**nupur cannoyep** 337 霊力の現れを 337-339) 語り手のサダモさんは「何でもわかるのだがそれをかくして」と説明した。274-276行目の注を参照。
- エシルトゥムカ  
**esirutumka** 338 自分の中に
- [オ]ヌイナ カネ  
**[o]nuyna kane** 339 かくして 339) 276行目の沖から来た女神の描写では、同じ文脈の中で *seske* セシケ(おおう)が使われている。
- ホラオチウエ。  
 15 **horaociwe.** 340 さっと降りて来た。

- [ウ]キ ロク アワ  
[u]ki rok awa 341 そうすると
- クンネ コソソテ  
kunne kosonte 342 黒い小袖の
- カムイ メノコ  
kamuy menoko 343 女神が
- エネ イタク ヒ,  
ene itak hi, 344 こう言った。
- コニンカラ クス  
5 koninkar kusu 345 「よく聞いてください
- レブ ウン イウオロソ  
rep un iworso 346 遙かな沖の海原
- イウオロソ カワ  
iworso ka wa 347 海原から
- [ウ]エク メノコ  
[u]ek menoko 348 来られた女性
- カムイ モイレマツ  
kamuy moyremat 349 女神様
- イウオロソ カタ  
10 iworso ka ta 350 海原に
- ウロクテ カムイ  
urokte kamuy 351 おわす神
- カムイ オルシペ  
kamuy oruspe 352 神のことでは
- アブノ シラン ヤ?  
apunno síran ya? 353 変わったことはありませんか。]
- ウウエベケンヌ。  
uwepekennu. 354 とたずねた。
- [ウ]キ ロク アワ  
15 [u]ki rok awa 355 すると

342) 「1」(「音声 7」198行目以下)ではまず海から来た白い小袖の女の方から問いかけ、山から来た黒い小袖の女が答える。

349) moyre-mat モイレ・マツ《ゆっくりの・女》つまりせかせかししないで落ちついている女性。女神や、神のように尊い女性を表現するのに用いられる。この一行を語り手のサダモさんは「神女」と訳した。

351) u-rok-te ウ・ロク・テ《互いを・座る・させる》＝《(一緒)に座っている》。神の住む場所を言うときに使う表現である。語り手のサダモさんは「住んでいる」と訳した。

353) apunno アブノ《無事に》。この1行は、《何の変事もなく、万事うまくいっていますか》の意味。語り手のサダモさんは「なにか変わった話はないのか、静かになっているのか、何も騒動起きないようだか」と説明した。「1」(「音声資料 7」)では、airának kuni p isam he ki ya? アイラナクニイサムヘキヤ《いやなことはありませんか》と言っていた。



レタラ コソソテ <b>retar kosonte</b>	356	白い小袖 (の女) は	
エネ イタクヒ, <b>ene itak hi,</b>	357	こう言った。	
レプイソ カタ <b>repuyso ka ta</b>	358	「沖の海原に	
ウロクテ カムイ <b>urokte kamuy</b>	359	おわす神	
カムイ オロ タ アナク 5 <b>kamuy or ta anak</b>	360	神のところでは	
アイラナク ベカ <b>airának pe ka</b>	361	いやなことは	
イサム コロカイキ <b>isam korkayki</b>	362	ありませんが	
タナント オロ タ <b>tanan to or ta</b>	363	本日は	
コタン シツチレ <b>Kotan sitcire</b>	364	村焼き	
モシリ シツチレ 10 <b>Mosir sitcire</b>	365	国焼き	
サン カトソソ <b>San ka toso</b>	366	棚荒らし	
オイペピ ポロ <b>Oypepi poro</b>	367	大茶碗	
カムイ ネ アン クル <b>Kamuy ne an kur</b>	368	神になる人	
[ウ]ホン オッカシ [u]Hon okkasi	369	腹の上	
オポイスヤンケ 15 <b>Opoyuyanke</b>	370	小鍋上げの	

361) ここも、「1」(『音声資料7』)では **airának kuni p** アイラナクニッ (直訳すると)〈いやがるべきこと〉と  
言っていた。後の392行目でも同様。

364-371) 聞き耳を立てながら見ている少年のことを、あだなのように言っている。「1」(『音声資料7』)の219行目以下とその注を参照。

364-365) **sitcire** シツチレ は **sir-ci-re** シリ・チ・レ〈地を/あたりを・焼ける・させる〉、つまりそこらじゅう焼いて歩くことを言う。

366-367) 語り手のサダモさんは「棚から何でも出してきた大きな茶碗で食べる」と説明した

367) **o-ipe-p-i poro** オ・イベ・フ・イ ポロ〈ここで・ものを食べる・もの・(所属語尾)大きい〉、つまり、「普通の茶碗ではなく特別大きい茶碗でものを食べる」ということをあだなのように言っている。「大めし喰らい」に相当する表現である。「1」にはない。368) この行も「1」にはない。

- カムイ ラメトク  
**kamuy rametok** 371 立派な勇者
- ネ ヤク エアシリ  
**ne yak easir** 372 でなければ
- アヤイコトムカ  
**ayaykotomka** 373 私は結婚する気になりま  
せん。
- [ウ]キワクス  
**[u]ki wa kusu** 374 ですから
- タナント オロタ  
5 **tanan to or ta** 375 本日
- エキムネ ノイネ  
**ekimne noyne** 376 山においでになるらしく
- インカラン ワクス  
**inkaran wa kusu** 377 見えましたので
- アコレ クニ  
**akoré kuni** 378 さし上げるべき
- チカラカラ コンチ  
**cikarkar konci** 379 ししゅうした頭巾を
- アコロ ワヤナン  
10 **akor wa yánan** 380 持って来た
- キルウェ タシ アン ネク.  
**ki ruwe tasi an nek.** 381 のでございますよ。]
- イタク トウラノ  
**itak turano** 382 言葉と一緒に
- イヨヌイタサ  
**iyonuytasa** 383 こんどは
- イタク クッチャマ  
**itak kutcama** 384 言葉の聲が
- ウウエトウヌイセ.  
15 **uwetunuyse.** 385 美しく響き、
- 371) 「1」では *sípase kamuy* シバセ カムイ〈まことに尊い神〉と言っていた(「音声資料 1」では「大神」と訳した)。*kamuy rametok* カムイラメトクは〈神の勇猛さ〉。ここでは、それを持っている人を表している。
- 373) *yay-kotom-ka* ヤイ・コトム・カ〈自分を・似合う・させる〉つまり〈自分を似合いの者とする〉。久保寺「神謡 23-2」には「*a-yai-kotomka* ア・ヤイ・コトムカ 私は心にとしく思った」とある。
- 379) この前に *tan ... akor ... a ... tan ... アコロ ... ア ...* と聞こえるが、言い間違いである。
- 380) *yan* ヤン は、海や川から陸に着くこと、あるいは上陸すること。山奥の女神は、川上から来たから *san* サン〈(山の方から海の方へ)出る〉と表現するが、海の女神は〈(海から陸へ)上がる〉と表現する。いずれも「来た」ことを言っている。
- 383) *iyonuytasa* イヨヌイタサ〈交代して、その後こんどは〉。
- 384) *kutcama* クッチャマ〈声を出すのどの響き〉。

- エネ オカ ヒ,  
**ene oka hi,** 386 こう言った。
- キム ウン イウオロソ  
**kim un iworso** 387 「山の奥地
- イウオロソ カワ  
**iworso ka wa** 388 奥地の方から
- [ウ]サン メノコ  
**[u]san menoko** 389 来られた女性
- カムイ モイレマツ  
5 **kamuy moyremat** 390 女神様
- キムイソ カタ  
**kimuyso ka ta** 391 山奥の方でも
- アイラナククニブ  
**ayrának kuni p** 392 いやなことは
- イサム ヘ キ ヤ?  
**isam he ki ya?** 393 ありませんか。]
- イタク ロク アワ  
**itak rok awa** 394 そう言う
- キム ウン イウオロソ  
10 **kim un iworso** 395 山の奥地
- イウオロソ カワ  
**iworso ka wa** 396 奥地の方から
- [ウ]サン メノコ  
**[u]san menoko** 397 来た女性は
- エネ イタク ヒ,  
**ene itak hi,** 398 こう言った。
- キム ウン イウオロソ  
**kim un iworso** 399 「山の奥地
- イウオロソ カタ  
15 **iworso ka ta** 400 奥地の方に

391) kim-un-so ka ta キム・ウン・ソ カタ《山・の・広  
がっている場所の上で》=  
《山奥の方で》。  
392-393) 前に、山から来た  
女神が海から来た女神にたず  
ねたくだり(353行目)では、  
apunno siran ya アブノシ  
ランヤ《何の変事もなくすべ  
てうまくいっていますか》と  
言っていた。

キム ウン イウオロソ <b>kim un iworso</b>	401	山の奥地を	
エブンキネ カムイ <b>epunkine kamuy</b>	402	守る神が	
シネ トウレシヌ <b>sine turesnu</b>	403	一人の妹を持っていて	
[ウ]ネ トウレシ <b>[u]ne turesi</b>	404	その妹である	
5 アネ ワ タプタプ <b>ane wa taptap</b>	405	私は	404-405) 直訳すると《私はその妹（山奥の神の妹）であって》。これは「その妹である私は...」という意味を表す表現法である。
コタン シッチレ <b>Kotan sitcire</b>	406	村焼き	406-414) 364-373行目の、海から来た白い小袖の女神の言葉の注を参照。
モシリ シッチレ <b>Mosir sitcire</b>	407	国焼き	
サン カ [ウ]トソソ <b>San ka [u]tososo</b>	408	棚荒らし	
[ウ]ホン オッカシ <b>[u]Hon okkasi</b>	409	腹の上	
10 オポイスヤンケ <b>Opoysuyanke</b>	410	小鍋上げの	
オイペピ ポロ <b>Oypepi poro</b>	411	大茶碗	
カムイ ネ アンクル <b>Kamuy ne an kur</b>	412	神になる人	412) 語り手のサダモさんによれば、この表現はユーカラのみで使われ（つまり雅語表現であり）、日常語では <b>ekimne noyne</b> エキムネノイネ と言う、とのことである。
ネ ヤク エアシリ <b>ne yak easir</b>	413	でなければ	
アヤイコトムカ <b>ayaykotomka</b>	414	私の似合いではない	
7 ヤイヌアン ワ クシ <b>yaynuan wa kus</b>	415	としましたので	

- タナン ト オロ タ  
**tanan to or ta** 416 本日
- エキムネ コトム  
**ekimne kotom** 417 山へおいでになるらしく
- インカラン ワクス  
**inkaran wa kusu** 418 見えたので 418) wa ワは n ンの後に続けて発音されると ma マとなるので、この行は **inkaran ma kusu** インカランマクスと発音されている。
- アコレ クニ  
**akoré kuni** 419 さし上げるべき
- マタンプシ タプタプ  
 5 **matanpusi taptap** 420 鉢巻を 420) **matanpusi** マタンプシ《髪をとめるために巻く鉢巻》。Cf. **cipanup** チバナフ《女性の頭飾りの鉢巻》。**taptap** タプタプ は、この場合、語り手のサダモさんは「これこのとおり」と説明した。
- アコロ ワ サナン  
**akor wa sánan** 421 持って山から下りて来た
- キルウェ タシ タパン ネク。  
**ki ruwe tas tapan nek.** 422 のでございますよ」
- [ウ]ハワシ ヒケ  
**[u]háwas hike** 423 その声が聞こえると
- イルシカ ケウトムム  
**iruska kewtum** 424 私は腹が
- アヤイコロバレ。  
 10 **ayaykorporare.** 425 立った。 425) この後、小休止が入る。のどを湿して一休みした後、次の行からトーンが変わっている。
- マクアン カツ コロ ペ  
**mak an kat kor pe** 426 どんなものの 426-427) 直訳すると《どのようなものが名前を持つ持ち方が》、つまり、《どんなものが(「村焼き国焼き」なんていう)名前をもつのか》。語り手のサダモさんは「どんなものの名前が」と訳した。
- [ウ]レコロ カトウ  
**[u]rékor katu** 427 名前が
- コタン シッチレ  
**Kotan sitcire** 428 「村焼き
- モシリ シッチレ  
**Mosir sitcire** 429 国焼き」
- [ウ]ネ ワ タプタプ  
 15 **[u]ne wa taptap** 430 なものか

	アシヌマ モシマ <b>asinuma mosma</b>	431 私のほかの	431-435) 内容は、《悪口のひどいのを言っているのは、自分以外の人に言っているではありえない、自分に言っているにちがいない》。語り手のサダモさんは431-432行目については「自分ほかのものに言うじゃない、自分にちがいない」、433行目については「自分がおぼえがないことを言ってばかにする」と説明した。
	モシマ アン クニブ <b>mosma an kuni p</b>	432 ほかの人ではあるまい	
	チピイエブコレ <b>cipiyepkore</b>	433 悪口の	
	[ウ]ユブケ ヒケ <b>[u]yupke hike</b>	434 ひどいのは	
5	イイエカラカラ ハウエオカ ヤ. <b>iyekarkar haweoka ya.</b>	435 私のことにはちがいない。	
	ウサイネ カ タブ <b>usayne ka tap</b>	436 いろいろと	
	[ウ]ウエン メノコ <b>[u]wen menoko</b>	437 悪い女	
	ウタラ オロケヘ <b>utar orkehe</b>	438 どもが	
	イタク ネ ヤッカ <b>itak ne yakka</b>	439 言葉でも	
10	チイエコソモ <b>ciyekosomo</b>	440 まるで	
	[ウ]ヤイカタヌ <b>[u]yaykatanu</b>	441 無礼なことを	
	イイエカラカラ ハウエ <b>iyekarkar hawe</b>	442 私に言うの	
	オカ ヤ セコロ <b>oka ya sekoro</b>	443 だろうか	
	ヤイヌアン ヒケ <b>yaynuan hike</b>	444 思うと	
15	イルシカ ケウトウム <b>iruska kewtum</b>	445 腹が	

- アヤイコロパレ。  
**ayaykorpore.** 446 立った。
- エウン カ タプネ  
**eun ka tapne** 447 ええい、めんどくさい、 447)直訳すると《それに対し  
て》。語り手のサダモさんは  
「ええいめんどくさい」と訳  
した。
- [ウ]ウエン メノコ  
**[u]wen menoko** 448 悪い女
- ウタヲ オロケヘ  
**utar orkehe** 449 どもを
- エアツタム ネノ  
5 **eattam néno** 450 一刀両断に 450) ear-tam-ne-no エアラ・  
タム・ネ・ノ《一つの・刀・に・  
(副詞形成)》、つまり《一太  
刀で、一刀両断に》。
- アトウイバ アンキ  
**atuypa anki** 451 切ってやりたい 451-452) a=tuypa anki  
yaynu=an korka ア・トウイ  
バアンキヤイヌ・アンコロカ  
《私・切る もうすこしで…  
しそうに 思った・私 けれど  
も》、つまり《私は(彼らを)  
もう少しで切ってしまいそう  
に思ったけれども》。
- ヤイヌアン コロカ  
**yaynuan korka** 452 気がしたが、 454-455) 《私は自分の気持  
ちを押さえて》。453-455行  
目を語り手のサダモさんは  
「しずかーに心をおさえた」  
と訳した。
- アプニタラ  
**apunitara** 453 静かに
- アエヤイケウトウム カ  
**aeyáykewtum ka** 454 気持ちを
- コキシマ カネ  
10 **kokisma kane** 455 押えた。
- フナツケ クス  
**hunakke kusu** 456 せっかく姉が
- イレシパシリ  
**irespa siri** 457 私を大切によく 457-461) 直訳すると、《育  
ての姉、神の淑女は私を育て  
た様子がよかったものであつ  
て》。よくある表現で、《私を  
ほんとうに大切によく育てて  
くれた育ての姉、神の淑女  
が…》という内容を表す言  
い方である。
- [ウ]ピリカ クニフ  
**[u]pirka kuni p** 458 育ててくれたのに、
- イレス サボ  
**iresu sápo** 459 育ての姉
- カムイ モイレマツ  
15 **kamuy moyremat** 460 女神様

[ウ]ネアヒネ [u]ne a híne	461 から	
エネ イタクヒ, ene itak hi,	462 こう言われたのに	
シノ ウタラパ sino utarpa	463 「まことの強者	463-473) 育ての姉に言い聞かされたことの引用となっている。「1」ではこのくだけは少年が自分で思ったこととして語られていた。
シノ ラメトク sino rametok	464 まことの勇者が	
エアンヌ キベ 5 eannu ki pe	465 ただ一度聞いたこと	465-466) ear-nu ki pe エア ッ・ヌ キ ベ〈一つの・聞く(こ と)したこと〉、ear-nukar ki pe エアラ・ヌカラキベ〈一つ の・見る(こと)したこと〉。つ まり、ただ一度聞いただけの ことやただ一度見ただけのこ と。語り手のサダモさんはそ れぞれ「一回聞いたこと」「一 回見たこと」と訳した。「1」 では arsuy anu pe アッスイ アヌ ベ〈一回聞いたこと〉と 言っていた。
エアンヌカラ ベ eannukar pe	466 ただ一度見たことで	
イルシカ カトゥン iruska katun	467 腹を立てた振舞いを	
エキワネコロ eki wa ne kor	468 したならば、	
セモッカヨラム semokkayoram	469 男らしくないと	
アエコレ ベネナ☆ 10 aekóre pe ne na.☆	470 思われますからね。	465-470) 語り手のサダモさ んは「いきなり怒ったふりを すると何だこれだけのものか と思われる、男らしくないと 思われる」と訳した。 470) テープでは akorepenena アコレベネナ と言っているが、後日語り手 サダモさん自身が訂正した。 a=e= ア・エ〈ひとが・あなた に〉つまり〈あなたが…される る)は ay アイと発音され る。
ネプ エヌカラ ヤッカ nep enukar yakka	471 何を見ても	
ネプ エヌ ヤッカ nep enu yakka	472 何を聞いても	
イキヤ エイルシカナ。 ikiya eyruska na.	473 腹を立てるのではありませんよ。]	
セコロ オカイ ベ sekor okay pe	474 ということを	474) この後に ekiem ne エ キエムネと聞こえるが語り手 のサダモさんが「言い間違 い」だと言った。
エキムネアン クニ 15 ekimnean kuni	475 私が山へ行こうとしていた	



- エトコ タ  
**etoko ta** 476 その前に
- イエワ タブネ  
**ye wa tapne** 477 姉が言ったのを
- アヌ ロク ヒ,  
**anu rok hi,** 478 聞いたのだったのに、
- イルシカ カトウン  
**iruska katun** 479 腹を立てた振舞いを
- アキワ ネカ  
5 **aki wa ne ka** 480 するのは
- コエトランネ。  
**koetoranne.** 481 いやだと思った。
- タパン ペクス  
**tapan pe kusu** 482 だから
- [ウ]オアヲ アプンノ  
[u]oar apunno 483 そうっと
- ホマヲ レラ  
**homar réra** 484 かすかな風
- ホマリタラ  
10 **homaritara** 485 かすかに
- ホプニ レラ  
**hopuni réra** 486 立ちのぼる風
- [ウ]マウ シリカシ  
[u]maw sirkasi 487 風について
- アエヤイパシテレ  
**aeyáypastere** 488 走りながら
- [ウ]サナン カトウ  
[u]sánan katu 489 川下へ下ってきたことを
- アノモンモモ。  
15 **anomómmomo.** 490 私はつぶさに述べる。

476-478) この3行、リズムが他の行と違っている。

477-478) 直訳すると《(姉が)言って、私が聞いたこと》。そのあとに動詞が現れていないが、語り手のサダモさんは「言ったのをきいたこと、胸に浮かんできた」と訳した。

478) このあとに yei イエイと聞こえるが、語り手のサダモさんは「ただのふし」だと言った。

481) ko- コ(…に)が接頭していることについて、語り手のサダモさんは「ユ-カラだからふしにあわしたから」だと言い、「etoranne エトランネ だいい」と言った。etoranne エトランネは「…するのがいやだ、…したくない」。

483) or apunno オロ アプンノと聞こえるが、oar apunno オアヲ アプンノ(全く 静かに)である。語り手のサダモさんは「しずかーに」と訳した。

484) homar ホマヲと réra レラが続けて、homan réra ホマンレラと発音されている。r は r の前で n になる。語り手のサダモさんは「吹いているような吹かんようなしずかーな風」と説明した。

485-486) 語り手のサダモさんは「しずかーに浮か上がった風」と訳した。

488) e-yay-pas-te-re エ・ヤイ・パシ・テ・レ《(それ)と共に・自分を・走る・させる・させる》(使役語尾は一つ多い)。語り手のサダモさんは「それについて走る」と訳し、「下から」(つまり地上を)と説明した。城から出て山へ向かうくんだり(185-191行目)では、空気の上に乗せられて飛んで行ったとされ、また「1」では、行きも帰りも同じく、空気の上に乗せられて飛んだことになっていた。

	[ウ]サナン ヒケ [u]sánan hike	491	下って来ると	
	フナッケ クス hunakke kusu	492	せっかく	
	タナン ト オロ タ tanan to or ta	493	今日は	
	イレス サポ iresu sápo	494	育ての姉に	
5	[ウ]ユク チコイキブ [u]yuk cikoykip	495	「シカを	
	カシ チオセ kasi ciose	496	とって来て	496) kasi o-se カシ オ・セ 〈その上 に・背負う〉=〈背 負って(その人)に持って 行ってあげる〉。
	アエエカラカラ キ ナ。 aeékarkar ki na.	497	あげますから。]	
	イタカン アワ itakan awa	498	と言ったのに	498) 直訳すると〈私が言う と〉。
	ネフ カ [ウ]アサクノ nep ka [u]asakno	499	何も持たずに	
10	シレパアン ヤクン sirepaan yakun	500	帰ったら	500) 直訳すると〈着いたな らば〉。
	イレス サポ iresu sápo	501	育ての姉に	503) このあとに a...a... ア... ア... と聞こえるが、言葉では ない。
	イコイキ セコロ ikoyki sektor	502	叱られると	504-505) tu トゥ〈二つの〉 は、tu... re... トゥ... レ... 〈二 つもの三つもの...〉=〈いく つものいくつもの〉の片割れ で、数の多いことを表す。〈い くつもの山奥の地の、いく つもの川端の木原の上〉。
	ヤイヌアン クス yaynuan kusu	503	思ったので	kenas ケナシ は、川端で、山 がひっこんでいて低く木が生 えている所。
	トゥ イウオロソ カ tu iworso ka	504	いくつもの山奥の地	
15	トゥ ケナツソ カ tu kenasso ka	505	いくつもの川端の木原を	

- アノパスパン。  
**anopásopas.**
- インカラン ヒケ  
**inkaran hike**
- [ウ]シモマンベ  
**[u]símomanpe**
- イベシリ コンナ  
**ipe sir konna**
- コモイナタラ。  
 5 **komoynatara.**
- [ウ]トゥイマ ウッベ  
**[u]tuyma uk pe**
- コキラウシカ  
**kokirawsika**
- オマレ カネ  
**omare kane**
- [ウ]ハンケ ウッベ  
**[u]hanke uk pe**
- コキラウリキ  
 10 **kokirawriki**
- [ウ]ロシキ カネ  
**[u]roski kane**
- イベシリ コンナ  
**ipe sir konna**
- コモイナタラ。  
**komoynatara.**
- [ウ]シリキ ヒタ  
**[u]síriki hi ta**
- オアラ アプンノ  
 15 **oar apunno**
- 506 走って行った。
- 507 見ると
- 508 大きな雄鹿が
- 509 草を食べている様子が
- 510 のんびりとして見えた。
- 511 遠くの草を食べるときは
- 512 角を背中の上に
- 513 背負い
- 514 近くの草を食べるときは
- 515 角を上
- 516 高く立てて
- 517 草を食べている様子が
- 518 のんびりとして見えた。
- 519 そのとき
- 520 私は静かにそうっと
- 506) an=o-pas-opas アン・オ・パン・オパン(私は・そこに・走った・(重複))。語り手のサダモさんは「走った」と訳した。
- 509-510) 《のんびりと草を食べていた》。
- 511-516) 遠くの草を食べるときは首をのばすから、角が背の上に、背負うような形で乗る。近くの草を食べるときは下を向くから角が高くまっすぐに立つ。その描写である。「1」(『音声資料7』)の302-307行目を参照。512-513) 語り手のサダモさんは「後ろさ角しよう」(「後ろに角を背負う」の意味)と訳した。
- 519) 直訳するとく(そのような)様子であったときに)。520) 《全く静かに》。この行を語り手のサダモさんは「しずかに」と訳した。

コパッケ サマ <b>kopakke sama</b>	521 そばの方へ	521) <b>kopakke</b> コパッケ は《そっちの方、そのそば》。
アヤイトゥイパレ。 <b>ayaytuypare.</b>	522 近づいて行った。	521-522) 語り手のサダモさんは「そばの方、そうっと忍んで行った」と訳した。
[ウ]パンチキリ <b>[u]pancikiri</b>	523 鹿の後足を	524) <b>ar-ekuskonna</b> アァ・エクシコンナ《全く・突然に》。
[ウ]アレクシコンナ <b>[u]arekuskonna</b>	524 いきなり	523-535) 語り手のサダモさんは「後足…つかんで」と訳した。「1」では矢で射て殺した話になっている。その後、死んだ鹿が目をもいで自分をにらんでいるのに腹を立てて振り回す話が続く。
アネシカリ。 5 <b>anesikari.</b>	525 つかんで振り回した。	526-529) 「1」では、細い木にも太い木にもぶつけたように歌われていたが、後日語り手のサダモさんは細い木にはぶつけない太い木にのみぶつけたという描写に訂正した。1年半後に歌われたこの「2」でもそのような描写が使われている。
アネ チクニ <b>áne cikuni</b>	526 細い木には	529) テープでは <b>ayepekare</b> アイェベカレ と言っているが、後日語り手のサダモさんが <b>anepekare</b> アネベカレ と訂正した。この方言の日常語では、不定人称接頭辞は常に a= アだが、雅語では、母音の前で、しばしば an= アンという形が出る。「1」よりも「2」のほうがずっと、an= アンが多く使われている。
アネハイタレ <b>aneháytare</b>	527 ぶつけない。	532) <b>ki</b> キの前に a アーと言っているが、意味はない。語り手のサダモさんによって [u] と訂正した。
ルウェ チクニ <b>ruwe cikuni</b>	528 太い木には	535-536) 語り手のサダモさんは「どんなことを俺が言っていた聞いたのか」と訳した。
アネベカレ☆ <b>anepékare☆</b>	529 ぶつめた。	
アシリキク フム コ 10 <b>asirkik hum ko</b>	530 ぶつける音が	
コリムナタラ。 <b>korimnatara.</b>	531 ドシンドシンと響く。	
[ウ]キ ロクアイネ <b>[u]ki rok ayne</b>	532 しばらくそうしていてから	
アヌカラ ルウェ <b>anukár ruwe</b>	533 見ると	
エネ オカ ヒ、 <b>ene oka hi,</b>	534 こうだった。	
[ウ]ネッパハウエ 15 <b>[u]nep páhawe</b>	535 何か悪口でも	

イコヌ クニブ <b>ikonu kuni p</b>	536 私が言ったのを聞いた みたいに	537-538) 直訳すると《(… 聞いたことが) 白い目玉を私 に向かって出させる》だが、 鹿が白目を出したことを言っ ている。語り手のサダモさん は「白目出して」と訳した。 「1」にはこの部分はない。 539-540) 語り手のサダモさ んは「にらんでいる」と訳し、 これはユーカラの言葉で、日 常語では <b>ikosikkeruru</b> イコ シッケルル と言う、と説明し た。
レタラ シクヌミ <b>retar siknumi</b>	537 白目を	541) 語り手のサダモさんは 「大きな目あけて」と訳した。 544) リズムの関係で行末の 音節 <b>na na</b> は発音されず、 <b>asirikik hum kon</b> アシリキッ フム コン となっている。語り 手のサダモさんによって補っ た。
イイエサンケレ <b>iyesankere</b>	538 出して	545) <b>yak</b> ヤク は《くだけの、 つぶれる》。yaknatara ヤク ナタラ は《くだけている、く だけのほどである》。語り手 のサダモさんは「骨もくだけ るくらい」と訳した。「1」には この行はない。
イコオトウイマ <b>ikootuyma</b>	539 私を遠くから	548) この前に <b>cikoykip</b> <b>katu</b> チコイキッ カトゥ《けも ののやり方》と言っている が、語り手のサダモさんによ れば「言い違い」で、すぐ続い て言い直している。しかし、 ふしでは、「言い違い」の行も 1行分の役割を果たしている。 549-550) 語り手のサダモさ んは「いつもそういうもんだ なあということが分かって」 と訳した。
[ウ]シッケルル 5 [u]sikkeruru	540 目を向いてにらみ	550) なあとわかった。
[ウ]シクトココ。 [u]siktokoko.	541 大きな目を開けてい る。	
アルシカ クス <b>aruska kusu</b>	542 それで私は腹が立った から	
[ウ]カンナ ルイノ [u]kanna ruyno	543 またもや	
アシリキッ フム コンナ☆ <b>asirikik hum konna☆</b>	544 私がぶつける音が	
コヤクナタラ 10 <b>koyaknatara</b>	545 骨もくだけるくらいに	
コリムナタラ。 <b>korimnatara.</b>	546 ドシンドシンと響く。	
アヌカラ ヒケ <b>anukár hike</b>	547 見ると	
チコイキッ カムイ <b>cikoykip kamuy</b>	548 けものというものは	
ランマ カトゥフ <b>ranma katuhu</b>	549 いつもこういうものだ	
チエソネレ。 15 <b>ciesonere.</b>	550 なあとわかった。	

	キヒオロワ <b>ki hi orowa</b>	551	それから	551) 語り手のサダモさんは「こんど」と訳した。
	[ウ]パンチキリ <b>[u]pancikiri</b>	552	その足をつかんで	553) 直訳すると《私は肩の上に折り曲げた》つまり肩にかついだことを言う。552-553行目を語り手のサダモさんは「足押えて肩に乗せた」と訳した。このあとに an... アン... と言っているが、すぐ言い直している。
	アタプカココモ。 <b>atapkakokomo.</b>	553	肩にかついだ。	
	アエタプカ コンナ <b>aetápka konna</b>	554	私の肩の上で	
	ラチニタラ。 5 <b>racinitara.</b>	555	ブランブラン揺れている。	555) 語り手のサダモさんは「ぶらんぶらん」と訳した。
	エパコロ チャシ <b>epakor cási</b>	556	私の城の	「1」では、これに続いて、二人の女が後ろからついて来て、贈り物の鉢巻と頭巾を背負っている鹿にのせ、怒った「私」がそれを放り投げるくだりがある。
	コパッケ サマ <b>kopakke sama</b>	557	方に向かって	556) kor コロと cási チャシが続けて発音され、epakot cási エパコッチャシと発音されている。
	アヤイトウイエレ <b>ayaytuyere</b>	558	私はまっすぐに	559) yay-terke-re ア・ヤイ・テレケ・レは直訳すると《自分を・跳ねる・させる》、つまり《跳んで行った》。
	アヤイテレケレ。 <b>ayayterkere.</b>	559	進んでいった。	
10	[ウ]エカン アイネ <b>[u]ékan ayne</b>	560	遠い道を来て、	
	イレス チャシ <b>iresu cási</b>	561	育った城に着き	
	チャシ エルプシク タ <b>cási erupsik ta</b>	562	城の東側で	
	[ウ]タン リクナワ <b>[u]tan rikna wa</b>	563	こう、高い所から	563) 語り手のサダモさんは「上から、自分の肩から」と説明した。
	[ウ]シモマンベ <b>[u]símomanpe</b>	564	大きな雄鹿を	564) susimomanpe スシモマンベと聞こえるが、後日語り手のサダモさんが「言い違い」で su スは不要だと言った。
	アオスラ フム コ 15 <b>aosúra hum ko</b>	565	私が投げ落とした音が	

コリムナタラ。 <b>korimnatara.</b>	566	ドシンドシンと鳴り響いた。	
[ウ]パクノ ネ コロ <b>[u]pakno ne kor</b>	567	それから	
ハヲキシ ペカ <b>harkiso péka</b>	568	城の南側を通って行くと	568) 直訳すると《左座(=南側)を(通って)》。城(家)の東側に獲物を下ろしてから、南側の西端にある出入口まで、南側を通って行くわけである。
[ウ]チャシ テクサム <b>[u]čási teksam</b>	569	城のそばの	569) 直訳すると《城(家)の横》。
[ウ]ニシテ トイ オロ 5 <b>[u]niste toy or</b>	570	固い土のところが	571) r は t の前で t になり、hapur toy ハブルトイ は haput toy ハプットイと発音されている。
ハブルトイ クンネ <b>hapur toy kunne</b>	571	柔らかい土のように	572) ure-e-kiru ウレ・エ・キル《足・で・ひっくり返す》。語り手のサダモさんは570-572行目を「かたい土のところが、やわい土みたいに足で土がひっくりかえる」と訳した。それほど腹を立てて、土をドカドカふみつけて歩いたことの描写である。
アウレエキル。 <b>auréekiru.</b>	572	足で掘り返された。	574-575) 直訳すると《腹立たしい気持ちを私は自分に与えた》。腹が立ったことを言う。
アフナン ヒケ <b>ahunan hike</b>	573	私は城に入ると	576) この前に2拍ぐらいの小休止があり、その後、半拍遅れて始まっている。この行は直訳すると《(私は)どのような起源を持つものであったか》。
イルシカ ケウトウム <b>iruska kewtum</b>	574	腹立たしい気持ちで	578-579) これは自分でなく、育ての姉のことを言っている。
アヤイコロパレ。 10 <b>ayaykorpale.</b>	575	いっぱいだった。	
ネウン モトコロ ペ <b>néun motokor pe</b>	576	私はいったいどんな素性のもの	
アネワ タツネ <b>ane wa tapne</b>	577	なのだろうか。	
カムイ ヘ タパン <b>kamuy he tapan</b>	578	神であろうか	
アイヌ ヘ タパン <b>ainu he tapan</b>	579	人であろうか	
イレス サポ 15 <b>iresu sápo</b>	580	育ての姉に	

[ウ]タン テ パクノ [u]tan te pakno	581	今まで	
イレスパキワ irespa ki wa	582	育てられて	
オカヤン ヒケ okayan hike	583	きたが	583) oka=an オカ・アンが、歌うふしの中で okayan オカヤンと発音されている。
イバシクマカ ipaskuma ka	584	これまでも何も教えられても	580-585) 直訳すると《育ての姉が今の今まで私を育てて(私たちは)暮らしてきたが、(姉は)私にこれまで教え伝えてもくれないでいたあげく》。
ソモ キアイネ 5 somo ki ayne	585	いなくて	586-598) この部分は、431-444行目の内容をくり返しているが、順序や表現が少し違っている。
ウサイネ カ タブ usayne ka tap	586	いろいろと	
[ウ]ウエン メノコ [u]wen menoko	587	悪い女	
ウタヲ オロケヘ utar orkehe	588	どもが	588) 語り手のサダモさんは「二人とも」と訳した。
イタク ネ ヤッカ itak ne yakka	589	言うことが	589) 直訳すると《言葉であつても》。語り手のサダモさんは「言うことが」と訳した。
チイエコソモ 10 ciyekosomo	590	まるで	590-592) 語り手のサダモさんは「何のことか人にさまさも馬鹿にしたようなことを言う、失礼なことを言う」と説明した。
[ウ]ヤイカタヌ [u]yaykatanu	591	無礼なことを	
イイエカラカヲクス iyekarkar kusu	592	私に言うために	
チピイエブコレ cipiyepkore	593	悪口の	594) ふしを合わせるために前の行がくり返されている。
チピイエブコレ cipiyepkore	594	悪口の	語り手のサダモさんは「すぐ続けて次のことを言うとふしに入れれないから、おなじこと二度いうことある」と説明した。
[ウ]ユブケ ヒケ 15 [u]yupke hike	595	ひどいのを	



- イイエカラカラ ハウエ  
**iyekarkar hawe** 596 私に言うの
- オカ ヤ セコロ  
**oka ya sekor** 597 だろうか
- ヤイヌアン ヒケ  
**yaynuan hike** 598 思うと
- イルシカ クニブ  
**iruska kuni p** 599 腹が立った
- アネ ブ ネ クス  
 5 **ane p ne kusu** 600 ものだから
- イルシカ イポロ  
**iruska ipor** 601 怒りの色が
- アナン クルカ タ☆  
**anan kurka ta☆** 602 私の顔一面に
- イプキタラ.  
**ipukitara.** 603 青すじが立つほど出て  
いる。
- オマン イヌンベ  
**oman inunpe** 604 私は炉ぶちを
- アウレコユブ  
 10 **aurékoyupu** 605 足でぎゅっとつかんで
- [ウ]チャシ コトロ  
**[u]čási kotor** 606 天井を
- アコノッタララ.  
**akonóttarara.** 607 にらんでいた。
- [ウ]アナン アワ  
**[u]ánan awa** 608 そうしていると
- イレス サボ  
**iresu sápo** 609 育ての姉が
- イヌカラ アイネ  
 15 **inukar ayne** 610 しばらく私を見ていてから
- 602) テープでは **anantuyka ta** アナントウイカタ《私の顔の上に》と言っているが、後日、語り手のサダモさんが訂正した。なお、この行は **aynankurkasi** アイナंकルクカシ (**a=enankurkasi** ア・エナंकルクカシ)とも言う、とのことである。  
 601-603) 語り手のサダモさんはこの3行を「腹立って、顔色もぐーっと変わった」と訳し、また603行目を「青すじが立っている」とも訳した。**ipukitara** イプキタラはよくわからない。金田一「ユーカラ集」II, p. 420では「みなぎりみち」、久保寺「神謡聖伝」17-146 行目では「露わしたり」と訳されている。「1」(『音声資料7』379行目)では、同様の文脈で **cihopunire** チホブニレ《立っている》が使われている。  
 604) 直訳すると《行く炉ぶち》。  
 605) **a=ure-ko-yupu** ア・ウレ・コ・ユブ《私は・足・に・きつく締める》。語り手のサダモさんは「足でぎゅーっとつかんでいる」と訳した。「1」では **akoureyupu** アコウレユブと言っていた。  
 607) 《私はあごを(天井)の方へ向けて上げていた》。「1」では **akonóttesusu** アコノッテスス《あごをそらしていた》と言っていた。同じ情景の描写である。

- オアラ アプンノ  
oar apunno 611 静かにそうっと
- ホブンパ ヒネ  
hopunpa hīne 612 立ち上がって
- [ウ]スケットゥシ  
[u]sut ketusi 613 昔の古いながもちを
- オニニニニ  
onininini 614 引きずって
- [ウ]サナサンケ☆  
5 [u]sanasanke☆ 615 出してきた。
- イシナ アトゥ  
isina atu 616 しばってあるひもを
- ウカエピタ。  
ukaepita. 617 何箇所もみなぼどいた。
- ケトゥシ ウブソロ  
ketusi upsor 618 ながもちの中に
- [ウ]テックシパレ。  
[u]tekkuspare. 619 手を差し入れた。
- マクアン カッコロベ  
10 mak an kat kor pe 620 どのようなものを
- [ウ]サプテ クニ☆  
[u]sapte kuni☆ 621 出すのか
- エトコ オロケ  
etoko orke 622 出す前に
- タパン カムイ マウ  
tapan kamuy maw 623 神風
- ケトゥシ ウブソロワ  
ketusi upsor wa 624 ながもちの中から
- ホプニ カムイ マウ  
15 hopuni kamuy maw 625 立ちのぼる神風

611) 語り手のサダモさんは「しずかーに」と訳した。行頭の語は uar ウアラと聞こえるが oar オアラ《全く》であることを語り手のサダモさんによって確認した。

613) sut ketusi スケットゥシ《祖母 ながもち》は、昔の古い衣服入力で、語り手のサダモさんは「トランクのようなもの」と説明した。

614) o-nini-nini オ・ニニ・ニニ《その尻を・ひきずってひっぱる・(重複)》、つまり《ずるとひきずってきた》。

615) テープでは usapte hīne ウサプテヒネ《出して》と、日常語で言っているが、後日、語り手のサダモさんが「usanasanke ウサナサンケ というべきところ」だと訂正した。sa-na-sanke サ・ナ・サンケは雅語で《前・の方へ・出す》、出して来たことを言う。

616) この前に ihin イヒンと言いつつ間違った後、すぐ「アッ」と言いつつ言い直している。i-sina atu イ・シナ アトゥ《ものを・しばっている・ひも》。

619) tek-kus-pa-re テク・クシ・パ・レ《手・を通す・(複数)・させる》、つまり《手を差し込んだ》。語り手のサダモさんは「手入れて」と訳した。

620-622) 直訳すると《どのようなもの(か)を出すとするその前に》。語り手のサダモさんは「どのようなもの出すのか出す前に」と訳した。

621) テープでは asapte アサプテと言っているが、語り手のサダモさんによって訂正した。ながもちから小袖をとり出すのは少年ではなく姉(3人称)である。

- カムイ マウ シカ  
**kamuy maw sika** 626 神風にのって
- カムイ コソソテ  
**kamuy kosonte** 627 立派な小袖が
- チサナサンケ☆  
**cisanasanke**☆ 628 出てきた。 628) テープでは **upuspa kane** ウブシバ カネ《たくさん出てきた》と言ったが、後日、語り手のサダモさんは「**cisanasapte** チサナサツテ《出てきた》というべきところ》だと訂正した。小袖は1着だけ出てきたのである。
- タパン ペレコロ☆  
**tapan pe rékor**☆ 629 これこそ言うなれば 629) テープでは **tatap orowa** タタオロワ《それから》と言っているが、語り手のサダモさんは「**tapan pe rekor** タパン ペレコロと言うところが舌がもつれた」と言い、さらに「**tapakno ne kor** タパノ ネ コロ ならいいが」ともつけ加えた。632) 《驚嘆すべきものだ》。語り手のサダモさんによって訂正した。
- エアシラナ  
5 **easirana** 630 それこそ 630) テープでは **[u]sirkankasi** [ウ]シリカンカシと言っているが語り手のサダモさんによって訂正した。
- カムイ コソソテ  
**kamuy kosonte** 631 神の小袖、
- イヤイノマレ。  
**iyaynomare** 632 本当に立派だ。
- [ウ]シリカ カシ☆  
**[u]sirka kasi**☆ 633 その表
- コソソテ シリカ  
**kosonte sirka** 634 小袖の表の
- コヤイカラルウエ  
10 **koyaykar ruwe** 635 作りようは
- エネ オカ ヒ、  
**ene oka hi** 636 こうだった。
- エアシラナ  
**easirana** 637 それこそ
- シカリ チュブノカ  
**sikari cup noka** 638 満月の形
- [ウ]ニン チュブノカ  
**[u]nin cup noka** 639 三日月の形
- エアルワト  
15 **earuwato** 640 ばかりの模様に満ちている

カムイ コソソテ			
<b>kamuy kosonte</b>	641	立派な小袖を	
[ウ]サナサンケ.			
<b>[u]sanasanke.</b>	642	出してきた。	
チノイエクワ			
<b>cinoye kuwa</b>	643	ねじれた杖	
[ウ]カネ クワ			
<b>[u]káne kuwa</b>	644	金(かね)の杖を	
[ウ]サナサプテ.			
5 <b>[u]sanasapte.</b>	645	出してきた。	
カムイ チパヌプ			
<b>kamuy cipanup</b>	646	立派な頭かざり	
カムイ ニンカリ			
<b>kamuy ninkari</b>	647	立派な耳かざり	
カムイ タマサイ			
<b>kamuy tamasai</b>	648	立派な首かざりを	
コアルウェウン			
<b>koaruweun</b>	649	全部そろいで	
[ウ]サナサプテ.			
10 <b>[u]sanasapte.</b>	650	出してきた。	
エアシラナ			
<b>easirana</b>	651	それこそ	
イレス サポ			
<b>iresu sápo</b>	652	育ての姉は	
イワン コソソテ			
<b>iwán kosonte</b>	653	六枚の小袖を着て	
ウコエクッコロ			
<b>ukoekutkor</b>	654	帯をしめ	
イワン コソソテ			
15 <b>iwán kosonte</b>	655	六枚の小袖を	

641-663)「1」では hayokpe ハヨッペ《よろい》を出し、そのよろいを身につけ、刀を腰にさしたと言っていた。猛々しい少年に素性を話すため、いつ切りかかれてもいいように武装したという話であった。この後の714-718行目を参照。

646-659) cipanup チパヌプ《頭飾りの布の鉢巻き》、ninkari ニンカリ《金(かね)の耳輪》、tamasai タマサイ《玉の首飾り》の、三種の装飾品がセットになっていたのを、出してきたわけである。

649)《全く揃いで》。語り手のサダモさんは「全部そろいで」と訳した。

653)「6」は多数を意味する。6枚の小袖を着たとは、小袖を何枚も重ねて着たことを言う。

654) uko-e-kut-kor ウコ・エ・クッ・コロ《一緒に・それに・帯・を持つ》。6枚の小袖を着てその上にまとめて帯をしめた。

- オパネレ ワ  
**opanere wa** 656 羽織って
- カムイ タマサイ  
**kamuy tamasay** 657 立派な玉かざりを
- [オ]レクトウイルケ、  
[o]rekutuyruke. 658 首にかけた。
- カムイ ニンカリ  
**kamuy ninkari** 659 立派な耳飾りを
- キサラ ウイルケ、  
5 **kisar uyruke.** 660 耳につけた。
- カムイ チパヌブ  
**kamuy cipanup** 661 立派な頭かざりで
- エルリキクル  
**erurikikur** 662 髪の毛を高く
- [ウ]ブンパカネ  
[u]punpa kane 663 上げた。
- [ウ]マシキン ヘ タ  
[u]maskin he ta 664 それでなおいっそう
- イセンラム セコロ  
10 **isenram sekor** 665 なるほど
- リワク ピト ネ  
**riwak pito ne** 666 本当に立派なお方
- リワク カムイ ネ  
**riwak kamuy ne** 667 本当に神のような
- コヤイカラ カネ、  
**koyaykar kane.** 668 姿になった。
- コソンテ シリカ  
**kosonte sirka** 669 小袖の表は
- ヘトウク チュブ ノカ  
15 **hetuku cup noka** 670 出てきた朝日の形

656) *opanere* オパネレ は、着ただけで帯をしないであることをいう。《羽織る、ひっかける》。

658) 直訳すると《首にまとめた》。玉の首飾りを首につけることを言う表現。語り手のサダモさんは「首にかけた」と訳した。

662-663) 語り手のサダモさんは「下へさがった髪も下がらないようにきれいに上へあげて」と訳した。なお「1」（『音声資料7』）の158-159および188-189行目を参照。

664) 語り手のサダモさんは「なおのこと」と訳し、「ふつうでも立派だが」と説明した。

665) 語り手のサダモさんは「なるほど」と訳した。

666-667) *pito* ビト と *kamuy* カムイの類語反復。語り手のサダモさんは両行とも「本当に立派な神様」と訳した。*riwak* リワクは「感心して言う言葉」で、「『まことの』『本当に』神様のよう」と説明した。

670-671) *cup* チュブは太陽も月も指す語である。*hetuku cup* ヘトウク チュブ《出てきた日》は通常朝日、つまり太陽だが *nin cup* ニンチュブ《減って細くなった月》は三日月である。他の箇所では、*sikari cup noka* シカリ チュブ ノカ《満月》と *nin cup noka* ニンチュブ ノカ《三日月》の対句が使われているが、ここだけは、満月の代わりに出てきたばかりの朝日が使われている。同じ小袖の表の模様の描写が、638-639行目では、他の箇所（また「1」でも同様）と同じく、*sikari cup noka nin cup noka* シカリ チュブ ノカ ニンチュブ ノカ《満月の形／三日月の形》のまま対句が使われている。670行目は、言い誤りかもしれない。

- [ウ]ニン チュブ ノカ  
[u]nin cup noka 671 三日月の形が
- コアルウェウン、  
koaruweun. 672 すっかり揃っていた。
- エパコロ サボ  
epakor sápo 673 私の姉は
- [ウ]ナン トゥイカシ  
[u]nan tuykasi 674 顔の上に
- ヘトウク チュブ ネ  
5 hetuku cup ne 675 出てきた朝日のように 675-677) 語り手のサダモさんは「顔があまりきれいで、出てきた日のように光がさしてまともに見られないくらいきれいだ」と訳した。「1」にはこの表現はない。
- イイエヌチュブキ  
iyenucupki 676 日の光が
- [ウ]チウレ カネ、  
[u]ciwre kane. 677 さしている。
- [ウ]チャシ コトロ  
[u]cási kotor 678 城の天井は
- シカリ チュブ ノカ  
sikari cup noka 679 満月の形 679) この前に hetuk... ヘトウク... と言いかけて言い直している。
- [ウ]ニン チュブ ノカ  
10 [u]nin cup noka 680 三日月の形
- エアルワト、  
earuwato. 681 ばかりの模様に満ちていた。
- イヨイベ ニペク  
iyoype nipek 682 宝器の輝き 682) 語り手のサダモさんは「陳列してあるたからものの光」と訳した。
- エパコロ サボ  
epakor sápo 683 私の姉の
- [ウ]ナン ニペキ  
[u]nan nipeki 684 顔の輝き
- コソント ニペキ  
15 kosonte nipeki 685 小袖の輝き

イレス チャシ <b>iresu cási</b>	686 育った城	688) uwor ウウオロと聞こえるが語り手のサダモさんによれば iwor イウオロである。iwor イウオロは、多くの場合、山と山の間にはさまれた低い所(山あいの谷間)、あるいは川が流れるので低くなった所などを言うが、この場合は「中」を意味する。語り手のサダモさんは upsor ウアソロと同じだと言った。
カムイ カラ チャシ <b>kamuy kar cási</b>	687 神に造られた城	689) utu ウトゥと聞こえるが otu オトゥである。otu... ore... オトゥ... オレ... 《二つも三つもの...》は《いくつもいくつもの》を意味する。imeru イメルは《稲光》を表す語で、強いきらめきを表す。
[ウ]チャシ イウオロ [u]cási iwor	688 城の中で	691-692) u-ciw-itara ウ・チウ・イタラ は《互いを・刺し・ている》、つまり、直訳すると《互いに刺し合っている》。この2行を語り手のサダモさんは「ものすごい日の光のように稲光みたいに反射する、ぶつかって十文字になる、またななめになる」と説明した。
オトゥ イメル <b>otu imeru</b>	689 いくつもの光	693) 杖の上
オレ イメル 5 <b>ore imeru</b>	690 何本もの光が	694) 金(かね)の杖
スクシトイ クンネ <b>sukus toy kunne</b>	691 真昼の明るい光のように	695) ねじれた杖
ウチウ-イタラ. <b>uciw-itara.</b>	692 互いに反射しきらめき合っている。	696) 杖の上に
クワ クルカシ <b>kuwa kurkasi</b>	693 杖の上	697) あごをのせている。
[ウ]カネ クワ [u]káne kuwa	694 金(かね)の杖	698) 杖の上を
チノイエクワ 10 <b>cinoye kuwa</b>	695) ねじれた杖	699) 手でぎゅーとつかんでいる。
クワ トウイカシ☆ <b>kuwa tuykasi☆</b>	696) 杖の上に	700) そうしているうちに
[ウ]ノトマレ. [u]notomare.	697) あごをのせている。	
クワ クルカシ <b>kuwa kurkasi</b>	698) 杖の上を	
[ウ]テクラリレ. [u]tekrarire.	699) 手でぎゅーとつかんでいる。	
[ウ]クルカシケ 15 <b>[u]kurkasike</b>	700) そうしているうちに	

- イタク オマレ☆  
**itak omare**☆
- イタク ネ マヌブ  
**itak ne manu p**
- エクッチャム コンナ  
**ekutcam konna**
- カネマイ ネ☆  
**kanemay ne**☆
- ウウェトウヌイセ。  
5 **uwetunuyse**.
- エネ オカヒ、  
**ene oka hi**,
- コニンカラクス  
**koninkar kusu**
- アレシバピト  
**arespa pito**
- アレシバカムイ  
**arespa kamuy**
- イタカン チキ  
10 **itakan ciki**
- ウウォンネレ ヤン。  
**uwonnere yan**.
- シノ ウタラバ  
**sino utarpa**
- カムイ ラメトク☆  
**kamuy rametok**☆
- アバシクマクシネ コロ☆  
**apaskuma kus ne kor**☆
- ハヨクサクノボ  
15 **hayoksaknopo**
- 701 話し始めた。
- 702 ものを言うのが
- 703 その声が
- 704 金の響きのように
- 705 美しく響く。
- 706 こう言った。
- 707 「よく聞いてくだ  
さい
- 708 私が育てたお方
- 709 私が育てた神よ
- 710 私が話しするこ  
とを
- 711 よくお聞きくだ  
さい。
- 712 まことの強者
- 713 神のような勇者に
- 714 先祖の話をして聞  
かせるときには
- 715 よろいをつけないで

701) テープでは **itak o hawe** イタク オ ハウェ《話し始めるのが》と言っている。語り手のサダモさんは「**hawe** ハウェ と聞こえるのは歯のないせい」だと言った。

702) 語り手のサダモさんは「ものを言うのも」と訳した。

704) テープには入っていないが、後日語り手のサダモさん自身が、必要だと言って補った。次の行と合わせて **kanemay ne uwetunuyse** カネマイ ネウウェトウヌイセは《金(金属)の響きのように美しく響いていく》ことを表現する熟語である。

705) 語り手のサダモさんは「響く(ズーンとかカーンとか)」と説明した。

708) このあとに咳のため小休止がある。しかしふしはくはずれず、続いている。

710-711) 語り手のサダモさんは「私の言うことをよく聞いて下さい」と訳した。**uwonnere** ウウォンネレは **u-onne-re** ウ・オンネ・レ《互いを・年寄りにする・させる》か? 長老のようによくよく人の話を聞けというのであろうか。

713-714) テープでは **kamuy ne an kur apaskuma kor** カムイネ アンクルアバシクマコロ《神になる人に昔のことを話して聞かせると》と言っているが、後日語り手のサダモさん自身が訂正した。**apaskuma kus ne kor** アバシクマクシネ コロは《昔のことを話して聞かせようとするときは》。この前に **on... a... オン... ア...** のような音が聞こえるが、言いよどみであって意味はない。



- ソモ アン クニ プ  
**somo an kuni p** 716 話し伝えるものでは 715-717) 《昔の話(先祖の話)は、よろいをつけずにするものではないから》。語り手のサダモさんは「自分の身支度しなければ、いざというとき切りかかってきたら自分も切り返すくらいに」と説明した。
- ウパシクマ ネ クシ  
**upaskuma ne kus** 717 ありませんから
- ハヨカン ルウェ  
**hayokan ruwe** 718 私はよろいをつけた
- ネ ヒ タパン ナ.  
**ne hi tapan na.** 719 のでございます。
- トウム アン ケウトウム  
5 **tumu an kewtum** 720 間違った気持ちを 720-722) 語り手のサダモさんは「まちがった思い違いを考えるじゃないぞ」と訳した。なお、「1」の同じくだりでは、語り手のサダモさんは「憤慨してはいけない」と説明していた。
- エコロ ア クニ プ  
**ekor a kuni p** 721 持つては
- ソモ ネ ナンコロ.  
**somo ne nankor.** 722 いけませんよ。
- オロワウン スイ  
**orowaun suy** 723 それからまた 723) n は s の前で i(y) にかわり、**orowauny suy** オロワウイ スイ と発音されている。
- エレコロ モト  
**erekor moto** 724 あなたの名前の起源は 724) 直訳すると《あなたが名前を持ったもと》。729) 直訳すると《...が兄弟であった》。
- エネ オカ ヒ,  
10 **ene oka hi,** 725 こうでした。
- テエタ カネ  
**teeta kane** 726 昔むかし
- シニジコロ カムイ  
**sinis kor kamuy** 727 天空の神
- シカンナ カムイ  
**sikanna kamuy** 728 上天の神の
- ウイリワキコロ.  
**uirwakikor.** 729 兄弟がいました。
- キヤンネ ヒケ  
15 **kiyanne hike** 730 年上のほうには

- カムイ ニシカ タ ☆  
kamuy nis ka ta ☆ 731 天の神の国で
- アコプリニウケシ。  
akopúriniwkes. 732 だれも反対できません。
- [ウ]コロ ラメトク  
[u]kor rametok 733 その勇猛さには
- エペットウラシ プ  
epetturasi p 734 勝つものは
- シネン カイサム。  
5 sinen ka isam. 735 一人もいませんでした。
- [ウ]キ ペ ネ クシ  
[u]ki pe ne kus 736 それですから
- プリ コロ シリ  
puri kor siri 737 その振舞いは
- エネ オカ ヒ、  
ene oka hi, 738 このようでした。
- [ウ]シニシ コトロ  
[u]sínis kotor 739 大空を
- [ウ]トニ ウン ワ  
10 [u]toni un wa 740 あちらのほうへ
- [ウ]タニ ウン ワ  
[u]tani un wa 741 こちらのほうへ
- エシスイェ コロ  
esisuye kor 742 まるで振る
- ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci 743 みたいに
- [ウ]クシワ アニ  
[u]kus wa ani 744 通って行くと、通る そばから
- ウファイ ワ パイエ。  
15 uhuy wa paye. 745 燃えていきます。

731) テープでは kamuy niska ka ta カムイ ニシカ タ と言っているが、ka カ《...の上》が一つ余分である。語り手のサダモさん自身が訂正した。

732) 語り手のサダモさんは「言ったことは誰も反対できない」と訳した。

733) r は r の前で n ン となり、kon rametok コンラメトク と発音されている。この行の後に akorám nukuri アコラムヌクリ が入るところだと、後日、語り手のサダモさんが言ったが、なくても間違いではないそうなのでこのままにしておく。a=ko-ram-nukuri ア・コ・ラム・ヌクリ《ひとは・彼に対し・心が・弱っておくようになる》は、《心がおじけづく、おびえる》。語り手のサダモさんは「みんなおそろおそろ、かなうことできない」と訳した。

734) 直訳すると《彼の所で川をさかのぼる者》。語り手のサダモさんは「とおりこす」と訳し、「川の流れをきつてのほれないことにたとえる」と説明し、次の行と合わせて「勝つ人一人もいない」と訳した。

736) 話し言葉では ki p ne kus キッネクシ と言うが、歌うリズムの関係で p が pe ベ と、一音節に発音されている。

739) si-nis kotor シ・ニシコトロ は直訳すると《本当の(高い)・空 面》、語り手のサダモさんは「そら」と訳した。

742-744) 語り手のサダモさんは「振るように、あっち走り、こっち走り」と説明した。

- [ウ]アブカシ フム コ  
[u]apkas hum ko 746 歩く音が
- コトゥリ ミムセ  
koturimimse 747 ブルンブルンと鳴り
- コケウロトツケ.  
kokewrototke. 748 バリッバリッと響きます。
- イナン ヘンバラ  
inan henpara 749 いつどんなどき 749-750) 直訳すると《どのいつ行なっても》。語り手のサダモさんは「いつでも」と訳した。
- イキ ヤッカイキ  
5 iki yakkayki 750 でも
- [ウ]アブカシ フム コ  
[u]apkas hum ko 751 歩く音が
- コトゥリ ミムセ  
koturimimse 752 ブルンブルンと鳴り
- コセベノパッキ  
kosepepatki 753 ザアーッと響き
- コリムナタラ.  
korimnatara. 754 ドシンドシンと鳴り響きます。
- [ウ]キワネコロ  
10 [u]ki wa ne kor 755 そうして
- マカナン ネコロ  
makanan ne kor 756 時によると 756) 語り手のサダモさんは「時によれば」と訳した。
- [ウ]ランケ モシリ  
[u]ranke mosir 757 下界の国の 759) ci-o-ranke-kar チ・オ・ランケ・カラ《(中相)・(そこ)に・下ろす・させる》つまり《下りる》。語り手のサダモさんは日常語の oran オラン《(そこ)に下りる》と同じだと言い、「páse kamuy バセ カムイ《(尊い神)のことだから、簡単に言われない》と説明した。
- モシリソ グルカ  
mosirso kurka 758 国土の上に
- チオランケカラ.  
ciorankekar. 759 下りてきます。
- モシリパウンワ  
15 mosirpa un wa 760 東へ

- モシリケシ ウン ワ  
**mosirkes unwa** 761 西へ
- [ウ]アブカシ フム コ  
**[u]apkas hum ko** 762 歩く音が
- コトゥリミムセ  
**koturimimse** 763 ブルンブルンと鳴り
- コケウロトツケ。  
**kokewrototke.** 764 バリッバリッと響きます。
- [ウ]クシワ アニ  
5 **[u]kus wa ani** 765 通っていくそばから
- ウファイ ワ パイエ。  
**uhuy wa paye.** 766 燃えていきます。
- オロワ エアシリ  
**orowa easir** 767 そして、それこそ
- オトゥパレ パ  
**otu pa re pa** 768 二年も三年も
- ネノ イキアイネ  
**néno iki ayne** 769 そのようにしていてから
- イペルスイ コロ  
10 **iperusuy kor** 770 おなかがすくと
- カムイ ニシカ タ  
**kamuy nis ka ta** 771 天の神の国の
- [ウ]ウンチセ タ  
**[u]uncise ta** 772 自分の家に
- ホシピ キ コロ  
**hosipi ki kor** 773 帰ると
- ヤイパロスケ  
**yayparosuke** 774 自分で煮炊きして
- イベ ロク アイネ  
15 **ipe rok ayne** 775 食べて食べて食べて

760-761) 直訳すると《国の上(かみ)へ、国の下へ》。国の上とは東(釧路や北見の方)国の下とは西、胆振の方をさす。un ウと wa ワは続けて **umma** ウンマ と発音されている。

768) 二と三が対で使われるとき、《いくつもいくつもの》つまり多数を表す。ここでは語り手のサダモさんは「二年も三年も」と訳した。

772) **un-cise** ウン・チセ《(彼)のいる・家》つまり《彼の住み家》。この un ウンは **unih** ウニヒ《(彼の)家》、**kúnihi** クニヒ《(私の)家》等の **un** ウン、また **unahunke** ウナフンケ《招待する》《(家に)入れる》の un ウンと同じだろう。語り手のサダモさんは **uncise** ウンチセを「わが家」と訳した。

774) **yay-par-o-suke** ヤイ・パロ・オ・スケ《自分(の)・口・のところに・炊事する》は《自分の食事を自分で用意する》。

774-775) 語り手のサダモさんは「自分で煮炊きして、食べて食べて食べて」と訳した。

[ウ]ホン ネ コロペ [u]hon ne kor pe	776	おながが	
[ウ]トッタ クンネ [u]totta kunne	777	大袋みたいに	
シサム オマレ。 sisam omare.	778	体から離れたみたいにふ くれます。	777) totta トッタ は、樹皮を 編んで作った大きな袋で、ヒ エなどの穂つみしたものを入 れておくに使われた。米俵 二つぐらいの大きい saranip サラニップ(樹皮製の袋)だと いう。子供があまり泣くと、 「トッタに入れてやれ」とか 「お前をトッタに入れるぞ」 と言う、という。
[ウ]ホン オッカシ [u]hon okkasi	779	腹の上に	776-778) 直訳すると、《腹 として持っているものをトッ タ(大袋)みたいに、自分のそ ばに置く》。語り手のサダモ さんは「ふくれてふくれて別 のものみたいに、体から離れ たみたいにふくれる」と訳し た。
オポイスヤンケ 5 opoysuyanke	780	小鍋をのせ	781) oypep オイペッ《食器》 は、具体的には itanki イタン キ《茶碗、椀》。
[ウ]オイペッヤンケ [u]oypep yanke	781	食器をのせ	
イベ ロクアイネ ipe rok ayne	782	食べて食べて食べて	
[ウ]ホン ネ コロペ [u]hon ne kor pe	783	おながが	
[ウ]トッタ クンネ [u]totta kunne	784	大袋みたいに	
シサム オマレ。 10 sisam omare.	785	体から離れたみたいにふ くれます。	
ネ ヒ モシマ ポカ ne hi mosma póka	786	そのときだけでも	786-788) 語り手のサダモさ んは「その時だけでも休んで いるかと思えばまたまもな く」と訳した。
コヤイシニレ koyaysinire	787	休んでいる	
キ ヤクアラム ki yak aramú	788	かと思えば	
ヘトポ ホロカ hetopo horka	789	またひき返して	789) 直訳すると《また逆戻 りして》。
[ウ]ランケ モシリ 15 [u]ranke mosir	790	下界の国に	

- オラン フム コンナ  
**oran hum konna** 791 下りる音が
- コトゥリミムセ  
**koturimimse** 792 ブルンプルンと鳴り響いて
- コケウロトツケ.  
**kokewrototke.** 793 バリッバリッと響きます。
- [ウ]アプカシヒタ  
**[u]apkas hi ta** 794 歩いていたときに 794) 《空をかけ回っていたとき》。
- [ウ]ランケ モシリ  
5 **[u]ranke mosir** 795 下界の国 795) 《下の国》。
- モシリ ノシキ タ  
**mosir noski ta** 796 国の中央に
- イヤイノマレ  
**iyaynomare** 797 びっくりするような
- ピリカ メノコ  
**pirka menoko** 798 美しい女性
- エアシラナ  
**easirana** 799 それこそ
- [ウ]ナン ネ コロ ペ  
10 **[u]nan ne kor pe** 800 顔はといえば 800) 直訳すると《顔として持っているもの》。
- ヘトック チュブ ネ  
**hetuku cup ne** 801 出てきた朝日にも
- コヤイカラ カネ  
**koyaykar kane** 802 見まがうほどの
- ボン チキサニ  
**pon cikisani** 803 小さいハルニレの木の
- [ウ]ボン メノコ  
**[u]pon menoko** 804 若い女性が
- [ウ]アン ルウェ ネ.  
15 **[u]an ruwe ne.** 805 いました。

- エンカシケ クシ コロ  
**enkaske kus kor** 806 その上を通りながら
- ヌカラワ ネ コロ  
**nukar wa ne kor** 807 見ますと
- ネウン モトコロ ベ  
**neún motokor pe** 808 どんな素性のものが
- エネ ビリカ ヒ  
**ene pirka hi** 809 こんなに美しいの
- オカ ヤ セコロ  
5 **oka ya sekor** 810 だろうか
- [ウ]パセ カムイ  
**[u]páse kamuy** 811 自分と同じくらい尊い神
- [ウ]ネ ヤク タシ  
**[u]ne yak tasi** 812 であったならば
- [ウ]パク ビト ネ  
**[u]pak pito ne** 813 これほど位の高いもので
- [ウ]パク シレトク  
**[u]pak siretok** 814 これほど立派なもので
- アネワ ネ ヤクン ☆  
10 **ane wa ne yakun ☆** 815 あったならばと
- [ウ]ヤイヌ クス  
**[u]yaynu kusu** 816 思いましたので
- トゥモト オロケ  
**tu moto orke** 817 その素性をよくよく
- エコフナラ、  
**ekohunara.** 818 さぐってみました。
- [ウ]インカラ ルウエ  
**[u]inkar ruwe** 819 見ますと
- オロヤ チキ  
15 **oro ya ciki** 820 それでわかったのですが

812) 語り手のサダモさんによれば **ne wa ne yak** ネ ワ ネ ヤク と言っても同じだとのことである。

813-815) 語り手のサダモさんは「自分ぐらいの位のあるものであったら」と訳した。

814) **siretok** シレトク は、日常語では美貌を言うが、ここでは語り手のサダモさんは **[u]pak rametok** パク ラメトク と同じだ、と言い、「位のある立派な」と訳した。

815) テープでは **ane wa konan** アネワ コナン と聞こえるが、後日、語り手のサダモさんが訂正した。**ane wa ne yakun** アネワ ネ ヤクンは《私が…であったならば》だが、ここでは、ハルニレの木の女性のことだから、3人称 (**ne wa ...** ネワ ...) になるべきところである。なお「1」の同じくだりでは「自分と同じくらい尊い神、女神であったなら、これほど位の高い自分と彼女とが結婚するのだが...」と歌っていた。【音声資料7】の484-489行目およびその注を参照。

817-844) ハルニレの木の女性の素性を知るこのくだりは「1」には入っていない。その前に語られた散文の創造神話（【音声資料3】p.36）には入っている。

818) 語り手のサダモさんは「さがしてみた」と訳した。

- [ウ]ポン メノコ  
[u]pon menoko 821 若い女性の
- モトコロ カトゥ  
motokor katu 822 素性は
- エネ オカ ヒ,  
ene oka hi, 823 次のようでした。
- テエタ カネ  
teeta kane 824 昔むかし
- ホシキノ カネ  
5 hoskino kane 825 最初に
- モシリ カラ カムイ  
mosir kar kamuy 826 国造りの神が
- モシリ カラ アイネ,  
mosir kar ayne, 827 国土を作り終えてから、 827) 〈長い間かかって国土  
を作ってから〉。
- チクニ クブカ  
cikuni kupka 828 木の鋤を、
- アニ モシリ カラ  
ani mosir kar 829 国を作るのに使った
- [ウ]キ ロク クブカ  
10 [u]ki rok kupka 830 その鋤を
- モシリ ノシキワ  
mosir noski wa 831 国土の真ん中に
- [ウ]オイラ ヒネ  
[u]oyra hīne 832 忘れて
- カムイ ニシカ ウン  
kamuy nis ka un 833 天の神の国へ
- リキン アアン ペ.  
rikin aan pe. 834 のぼってしまったのでし 834) 〈…上ってしまったも  
の〉。「もの」とはその鋤をさ  
す。
- シパセ カムイ  
15 sīpase kamuy 835 尊い神が



- テケカラ クニヅ  
**tekekar kuni p** 836 自分の手で作ったものは 836) tek-e-kar テク・エ・カラ  
〈手・で・作る〉。語り手のサ  
ダモさんは「自分で作ったもの」と訳した。
- クヅカ ネ コロペ  
**kupka ne kor pe** 837 鍬として持っていたもの
- [ウ]ネ ヤックアイキ  
**[u]ne yakkeyki** 838 であっても
- [ウ]トイコムニン  
**[u]toykomunin** 839 土の上で腐る 839-840) 語り手のサダモさんは「土の上にくさるわけにはいかない」と訳し、これは「kupka クヅカ〈鍬〉が自分で言った」と説明した。e-yay-nunuke エ・ヤイ・ヌヌケ  
〈(それ)で・自分を・大切に処遇する〉、つまり〈…するにしのびない〉。
- エイヌヌケ。  
5 **eyaynunuke.** 840 わけにいきません。
- タパン ペクス  
**tapan pe kusu** 841 ですから
- ポン チキサニ ネ  
**pon cikisani ne** 842 小さいハルニレの木が
- ヘトウク カトウ  
**hetuku katu** 843 生えたのでした。
- シケヌカラ ベ  
**sikenukar pe** 844 占いで見たの 844) sik-e-nukar シク・エ・ヌカラ〈目・で・見る〉。語り手のサダモさんは「うらないして見た」と訳した。
- [ウ]ネ コロカイキ  
10 **[u]ne korkayki** 845 ですけども
- ヘル ヤイヌ ネ  
**heru yaynu ne** 846 ただ思っただけでは 846-847) 語り手のサダモさんは「ただ思っただけだけ」と訳した。
- アナク キ コロカ  
**anak ki korka** 847 ありましたけれども
- セコロ アン メノコ  
**sekor an menoko** 848 そういう女が
- シパセ カムイ  
**sipase kamuy** 849 尊い神
- ネ ヤクタ アコロ  
15 **ne yak ta akor** 850 だったら結婚するのになあと 850) ta タは、できそうもない願望を表す。〈…したいものだがなあ〉。

- [ウ]ヤイヌ カトウ  
[u]yaynu katu 851 思ったのです。
- カムイ ヤイヌ クニ  
kamuy yaynu kuni 852 神の思ったことは
- [ウ]トイカ オシマ  
[u]toyka osma 853 地に落ちて朽ち果てる
- エヤイヌヌケ  
eyaynunuke 854 わけにいかなくて
- [ウ]ホンコロ ルウエ  
5 [u]honkor ruwe 855 ハルニレの木は懐妊して
- オッカヨ ヘカチ  
okkayo hekaci 856 男の子を
- [ウ]コロルウエ ネ.  
[u]kor ruwe ne. 857 産みました。
- エアニ タブタブ  
eani taptap 858 あなたは
- [ウ]アベサム ウン クル☆  
[u]apesam un kur☆ 859 いろいろばたに  
859) テープでは apesamoma アベサモマ《火のそばに置かれている》。と言っているが、後日、語り手のサダモさんが訂正した。859-860) 直訳すると《あなたは火のそばの人になっていた》。語り手のサダモさんは859-861行目を「火をたいてそばに置いてあるんだけども」と訳した。
- エネ ワ エアン.  
10 ene wa ean. 860 置かれていました。
- キ ルウエ ネ コロカ  
ki ruwe ne korka 861 ところが
- カムイ オピッタ  
kamuy opitta 862 神々はみな
- [ウ]ネン タ ウサ  
[u]nen ta usa 863 いったいだれが
- エレス クニブ  
eresu kuni p 864 あなたを育てるかど  
865) 皆で「お前育てないか」「いや私はいやだ」...と言って拒み合う。「1」（『音声資料7』）の509-510行目の注を参照。
- [ウ]エウクシクス.  
15 [u]ewkuskusu. 865 押しつけ合っていました。

エネ ラメトク <b>ene rametok</b>	866	そのように勇猛な神ですから	
カムイ クシナムネ <b>kamuy kusnamne</b>	867	どの神も皆	867-868) 語り手のサダモさんは「神様がたくさんいても、どの神様もとてもかなうものひとりもない」と訳した。
コラムヌクリ プ <b>koramnukuri p</b>	868	おじげづいてしまうのが	869-870) 語り手のサダモさんは「偉い偉い神様の子で」と訳した。
シパセ カムイ <b>sípase kamuy</b>	869	本当に尊い神の	871) テープでは <b>aynu po kor pe</b> アイヌ ボ コロ ベ(人間の子を持つもの)と言っているが後日語り手のサダモさんが訂正した。
[ウ]ネ ア ヒネ 5 [u]ne a híne	870	子で	871-872) 語り手のサダモさんは「人間の形をしていても」と訳した。
アイヌ カツ コロ ベ☆ <b>aynu kat kor pe☆</b>	871	人間の姿をして	874) 直訳すると〈もっとそれに続いて〉。
[ウ]ネ ヤックアイキ [u]ne yakkayki	872	いても	875) このあと、テープを交換する間の小休止がある。
[ウ]コロ ラメトク [u]kor rametok	873	その勇猛さは	874-875) 語り手のサダモさんは「sípase kamuy シパセカムイ〈尊い神〉の次をついでなおそれ以上おそろしい」と訳した。
ナイエエパクタ <b>na iyeepakta</b>	874	父神以上に	876) テープを交換する間の小休止の後、続ける。ここからトーンが変わる。最初の3行(876-878)はすぐ上の3行の内容のくり返しである。行の順が変わっている。
アコイシトマ、 10 <b>akoysitoma.</b>	875	恐れられました。	iyeepakta イイエパクタは、iyepakta イイエパクタと聞こえるが語り手のサダモさんによって確かめた。
ナイエエパクタ <b>na iyeepakta</b>	876	父神以上に	877) r は r の前で n になり、kon rametok コン ラメトクと発音されている。
[ウ]コロ ラメトク [u]kor rametok	877	その勇猛さは	880) 語り手のサダモさんは「だれがいったい」と訳した。
アコイシトマ、 <b>akoysitoma.</b>	878	恐れられました。	
[ウ]キワ ネ コロ [u]ki wa ne kor	879	それで	
[ウ]ネン タ ウサ 15 [u]nen ta usa	880	いったいだれが	

- [ウ]レシパ チキ  
[u]respa ciki 881 育てれば
- [ウ]ピリカ クニ  
[u]pirka kuni 882 よいのか
- カムイ オポイサン  
kamuy opoysan 883 神の子
- カムイ ヘカチ  
kamuy hekaci 884 神である男の子を
- [ウ]ネ ナンコラ  
5 [u]ne nankora 885 だれが育てればよいだろうか
- セコロ オカイ ペ  
sekor okay pe 886 ということ
- カムイ オピッタ  
kamuy opitta 887 神々はみな
- エウコラムクル  
ewkoramkur 888 一緒に考えて
- [ウ]トゥルパ カネ.  
[u]turpa kane. 889 先のことを案じていました。
- インカラン ヒケ  
10 inkaran hike 890 私はそれを見て
- イホマ ケウトウム  
ihoma kewtum 891 ああかわいそうだなあと
- アヤイコロパレ.  
ayaykorpale. 892 思いました。
- タパン ベクス  
tapan pe kusu 893 こういふわけで
- [ウ]ヤイテクナワ  
[u]yayteknawa 894 自分一人のはからいで
- [ウ]カント オロワ  
15 [u]kanto or wa 895 天から
- 883) kamuy o-pon-san カムイオ・ボン・サン《神の・小さな・子孫(=子)》。pon ボンと san サンが続けて発音されると poysan ポイサンとなる。
- 888-889) 語り手のサダモさんは「みんなで考えて先を見る、先にどういうことになるかと」と説明した。
- 891-892) 語り手のサダモさんは「ああ気の毒なものだかわいそうだなあと思う」と説明した。
- 894) 直訳すると yay-tek-na-wa ヤイ・テッ・ナ・ワ《自分の・手・の方・から》。語り手のサダモさんは「自分一人の計らいで、だれも行けと言わぬが」と訳した。

モシリソ カタ <b>mosirso ka ta</b>	896 地上に	896) この前に inu... イヌ... と聞こえるが、すぐ言い直している。
[ウ]ラナン ルウェ <b>[u]ránan ruwe</b>	897 降りて来ましたが、そのとき	
エパコロ チャシ <b>epakor cási</b>	898 私の城や	
カムイ イノマ <b>kamuy inoma</b>	899 神の所で持っていたものをすべて	899) inoma イノマ =inuma イヌマ(宝刀類)。
5 アシトゥラレ。 <b>asitúrare.</b>	900 持って来ました。	900) si-tura-re シ・トゥラ・レ(自身・に伴う・させる)、つまり(自分に同伴させる)。持って来たことをいう。
アエレシパ ポカ <b>aeréspa póka</b>	901 私はあなたを育てるのに	898-900) 語り手のサダモさんは「チャシモ、刀、漆器等なにもかも、神のところで持っていたものすべてそのまま持ってきた」と訳した。
エヤイコラム <b>eyaykoramu</b>	902 長い間苦労して	901) ae アエは ay アイと発音されている。
ベテツネ アイネ <b>petetne ayne</b>	903 きましたが	901-903) 語り手のサダモさんは「育てるのになかなか骨折った」と訳した。
タネ アナクネ <b>tane anakne</b>	904 今はもう	905-906) 語り手のサダモさんは「男の姿になった」と訳した。
10 オッカヨ シリポ <b>okkayo sirpo</b>	905 あなたは一人前の男の姿に	908-911) 語り手のサダモさんは「アイヌというもののものがお前から生まれてるんだ」と訳した。
エウオシマレ ワ クシ <b>ewosmare wa kus</b>	906 なられましたから	
エアニ タツネ <b>eani tapne</b>	907 あなたは	
[ウ]アイヌ セコロ <b>[u]aynu sekor</b>	908 人間と	
アポロセ ベ <b>aporose pe</b>	909 呼ばれるものの	
15 [ウ]モト オロケ <b>[u]moto orke</b>	910 始祖に	

エネ オアシ、 <b>ene oasi.</b>	911 なるのです。	
シパセ カムイ <b>sípase kamuy</b>	912 あなたは尊い神	
カムイ オポイサン <b>kamuy opoysan</b>	913 神の子	
エネ ワクス <b>ene wa kusu</b>	914 なのですから	
アエレコレ ヒ 5 <b>aerékore hi</b>	915 それでその名前をつけられた	915) ae アエは ay アイと発音されている。
ネ ヒ タパン ナ。 <b>ne hi tapan na.</b>	916 のですからね。	915-916) 語り手のサダモさんは「それでそういう名つけられたんだから」と訳した。
エアニ タプタプ <b>eani taptap</b>	917 あなたは	
シネン エネ ワ <b>sinen ene wa</b>	918 一人で	918-919) 直訳すると〈あなた一人でいても〉。
エアン ヤックイキ <b>ean yakkayki</b>	919 いたのでは	
アイヌ レコロ ベ 10 <b>aynu rékor pe</b>	920 人間という名のものが	921) uwaste pirka ウワシテピリカ〈(子孫が)よく殖える〉。そのあとの p ヲは聞こえないが、語り手のサダモさんが <b>pirka p</b> ピリカッだと言うので補った。
ウワシテ ピリカ ヲ☆ <b>uwaste pirka p☆</b>	921 よくふえることが	921-922) 語り手のサダモさんによれば、uwaste kuni koysam nankor ウワシテクニ コイサム ナンコロ〈殖えることができない〉とも言うとのことである。
エアイカプクス <b>eaykap kusu</b>	922 できませんから	923-924) 語り手のサダモさんは「自分がちゃんと考えて」と訳した。
アシヌマ タプ <b>asinuma tap</b>	923 私がちゃんと	924) n の後で h は落ち、ramuanani ラムアナンニと発音されている。
[ウ]ラムアナン ヒ [u]ramuanan hi	924 考えて	
レプ ウン イウォロン 15 <b>rep un iworso</b>	925 遙かな沖	

- アトゥイソ クルカ  
**atuysō kurka** 926 海原の上を
- エブンキネ カムイ  
**epunkine kamuy** 927 守る神の
- [ウ]コロ トウレシ  
**[u]kor turesi** 928 妹を  
928) r は t の前で t になり、  
kot turesi コットウレシ と発  
音されている。
- アヤンケ キワ  
**ayanke ki wa** 929 よこしますから  
929) 直訳すると《私が陸に  
上げて》。
- ポロマツ ネ エコロ  
5 **poromat ne ekor** 930 第一の妻としてめとりな  
さい。
- キワ ネ ヤクン  
**ki wa ne yakun** 931 そうしたら
- キムウン イウオロソ  
**kim un iworso** 932 山の奥地  
932) 出だしに母音が二つほ  
ど聞こえるが、言いよどみで  
あって、意味はない。
- イウオロソ カワ  
**iworso ka wa** 933 奥地の方から来た
- カムイ メノコ  
**kamuy menoko** 934 女神を
- ポンマツ ネ エコロ  
10 **ponmat ne ekor** 935 第二の妻としてめとりな  
さい。
- キワ ネ ヤクネ  
**ki wa ne yakne** 936 そうすれば
- エポウタリ  
**epoutari** 937 あなたの子供たちが
- アイヌ モトホ  
**aynu motoho** 938 人間の始祖に
- [ウ]ネパキワ  
**[u]népa ki wa** 939 なって  
940) テープでは uwaste ウ  
ワシテと言っているが語り手  
のサダモさんが訂正し、「ふ  
えて次々育ってゆけば」と訳  
した。
- ウレシパヤクン☆  
15 **urespa yakun☆** 940 ふえて次々に育って行く  
ならば

タパン ペソンノ <b>tapan pe sonno</b>	941	これこそ本当に	
モシリ エレコロ。 <b>mosir erekor.</b>	942	国土によって名前がつく のです。	942) この前後のくんだり、よくわからない。「国土がアイヌモシリ(人間の国)」という名だから、そこから名前がついてあなたの子孫はアイヌ(人間)と呼ばれる」ということのようなのだが、翻訳がまちがっているかもしれない。
タパン [ア] モシリ <b>tapan [a] mosir</b>	943	この国は	
[ウ]アイヌ モシリ <b>[u]aynu mosir</b>	944	人間の国	
セコロ アレコ。 5 <b>sekor areko.</b>	945	と呼ばれます。	
ウワシテ クニブ <b>uwaste kuni p</b>	946	あなた方はふえていくこ とに	
エチネ タブキナ。 <b>eciné tap ki na.</b>	947	なるのです。	947-948) 語り手のサダモさんは947行目を「おまえの子どもたちも皆なる」、948行目を「おまえがなる」と訳した。
エネ タブキナ。 <b>ene tap ki na.</b>	948	あなたがそうなるのです。	
オロワウン スイ <b>orowaun suy</b>	949	それからまた	949) 語り手のサダモさんは「それから」と訳した。「1」にはここから先の、育ての姉が天に帰って行くくだりは入っていない。
アシヌマ アナク 10 <b>asinuma anak</b>	950	私は	
シパセ カムイ <b>sípase kamuy</b>	951	尊い神で	
アネ ワ アン ナ。☆ <b>ane wa an na.☆</b>	952	あったのです。	952) テープでは <i>ane wa ora</i> アネワオラ《私は…であったそれから》と、日常語で言っているが、後日、語り手のサダモさんが「 <i>ora</i> オラではない。言い間違い」だと言って訂正した。なお、 <i>an kor</i> アンコロとも言うとのことである。
タパン テパクノ <b>tapan te pakno</b>	953	今まで	
アエイコレス <b>aeýáykoresu</b>	954	私が一人であなを育てて	
[ウ]キ ロク アイネ 15 <b>[u]ki rok ayne</b>	955	きました	



	タネ ネクス <b>tane ne kusu</b>	956	今はもう	
	アモンクルカシ <b>amonkurkasi</b>	957	疲れて	
	コスムナタラ。 <b>kosumnatara.</b>	958	きました。	
	キワネヤクン <b>ki wa ne yakun</b>	959	それで	
5	タパン テパクノ <b>tapan te pakno</b>	960	私は今まで	
	ヤク コロクニ <b>yaku kor kuni</b>	961	役目を持つ	
	アネッネクス <b>ane p ne kusu</b>	962	者ですので	
	ニサッタ ワノ <b>nisatta wano</b>	963	明日から	
	タパン テワノ <b>tapan te wano</b>	964	今から	
10	カムイ モシリ カウン <b>kamuy mosir ka un</b>	965	神の国へ	
	[ウ]カント オロウン <b>[u]kanto or un</b>	966	天へ昇って	
	[ウ]アラパクニッ <b>[u]arpa kuni p</b>	967	行くの	967-968) (私は行きます)。
	アネ ルウェネ。 <b>ane ruwe ne.</b>	968	です。	
	[ウ]シニシ カタ <b>[u]sínis ka ta</b>	969	空の上の	
15	エパコロ チャシ <b>epakor cási</b>	970	私の城へ	

957-958) 直訳すると  
a=mon-kurkasi ko-sum-  
natara ア・モン・クルカシ  
コ・スム・ナタラ《私の・手・  
の上は・しおれている》。語  
り手のサダモさんは「もう疲  
れてきた」と訳した。  
959) 直訳すると《そうであ  
るならば》。  
960-962) 役目が終了したこ  
とを言っている。

エウン アラパアン ヤク☆ <b>eun arpaan yak</b> ☆	971	私が行くと	971) テープでは ...arpa an na アラパ アン ナ(私は行きますから)と歌っているが語り手のサダモさんによって訂正した。arpaan yak アラパアン ヤクは《私が行くと》。
エアニ アナク <b>eani anak</b>	972	あなたは	974) 語り手のサダモさんによればこのあとに ene kusu エネ クス《あなたは…だから》が省略されている。
カムイ オポイサン <b>kamuy opoysan</b>	973	神の子	976) 行頭に yak ヤクのような音が聞こえるが「まちがい」である。kamuy inoma カムイ イノマ と聞こえるが、後日、語り手のサダモさんは「kamuy inuma カムイ イヌマ」だと言い、また「kamuy inuma / kamuy iyoype カムイ イヌマ / カムイ イヨイベ」と言うところだと言った。inuma/inoma イヌマ/イノマ は主に刀剣類の宝物、iyoype イヨイベは器類の宝物(宝器)。
カムイ ネ アン クル <b>kamuy ne an kur</b>	974	神になる人です。	977) 語り手のサダモさんは「みんなそろえて」と訳した。テープでは最後の音節は wa ワ と聞こえるが、後日、語り手のサダモさんが na ナ と訂正した。
[ウ]タパン チャシ 5 [u]tapan cási	975	この城も	978) e-e-hayok pe エ・エ・ハヨク ベ《あなたがそれで武装するもの》つまり《あなたのよろいかぶと》。
カムイ イヌマ☆ <b>kamuy inuma</b> ☆	976	神の宝刀も	980) ki p ene wa kus キ ヲ エネ ワ クス《あなたはそうなのだから》(?)
コエウン キ ナ☆ <b>koeun ki na</b> ☆	977	みんな揃えて	981) ae アエは ay アイと発音されている。
エエハヨク ペ <b>eehayok pe</b>	978	あなたのよろいかぶとも	
トゥラノ ラナン <b>turano rānan</b>	979	持って私は下りて来ました。	
キペネワクス 10 <b>ki pe ne wa kusu</b>	980	ですから	
オピッタ アエコレ <b>opitta aekóre</b>	981	すべてをあなたにさしあげ	
エヌネ キ ナ <b>enune ki na.</b>	982	ますからね。	
[ウ]タパン モシリ [u]tapan mosir	983	この国は	
[ウ]アイヌ モシリ [u]aynu mosir	984	人間の国と	
セコロ アレコ 15 <b>sekor areko</b>	985	呼ばれる	

- [ウ]キ ナンコロナ.  
[u]ki nankor na. 986 でしょう。
- [ウ]ピリカノポ  
[u]pirkanopo 987 よくよく
- エヤイケウトウム カ  
eyaykewtum ka 988 ご自分の心で考え
- エオフナラ  
eohunara 989 いろいろなことを心のす  
みずみまでさがし
- トゥピリカクニブ  
5 tu pirka kuni p 990 いろいろなことを
- エエヤイケウトウム  
eeyaykewtum 991 ご自分の心で
- エコサンニヨ.  
ekosanniyo. 992 考えるのですよ。
- カムイ モイレマツ  
kamuy moyremat 993 女神様
- ウタラ オロケヘ  
utar orkehe 994 たちが
- [ウ]アラキ チキ  
10 [u]arki ciki 995 来たならば
- イテキ コイキナ.  
iteki koyki na. 996 いじめてはいけませんよ。
- カムイ モイレマツ  
kamuy moyremat 997 女神様たちと
- エレン エチネ.  
eren eciné. 998 三人になられます。
- タパン [ア] チャン  
tapan [a] cási 999 私はこの城を
- アエチコホッパナ.  
15 aecikohóppa na. 1000 あなたがた三人に残して  
行きます。

986) nankor ナンコロと na ナは、続けて、nankon na ナンコン ナと発音されている。r は n の前で n になる。

988-989) 語り手のサダモさんは「よく心にいろいろなことを考えて探して隅々まで考えて」と訳した。

991-992) 語り手のサダモさんは「いろいろなよいことを自分の心に考えなさいよ」と訳した。

998) 語り手のサダモさんは「三人になる」と訳した。二人の女神と一緒にになって三人で暮らすようになる。

999-1000) 語り手のサダモさんは「このうち置いていく、預けていくから」と訳した。

タネ ネ クス <b>tane ne kusu</b>	1001	今は	
アシヌマ アナク <b>asinuma anak</b>	1002	私は	
カムイ ニシカ ウン <b>kamuy nis ka un</b>	1003	天の神の国へ	1003) 直訳すると《神の空の上へ》。
[ウ]ヤイトゥナシカ <b>[u]yaytunaska</b>	1004	急いで	
エパキ キ ナ, 5 <b>epaki ki na,</b>	1005	行きますから、	
アイエ ア イタク <b>aye a itak</b>	1006	私の言った言葉を	
[ウ]ピリカノボ <b>[u]pirkanopo</b>	1007	よくよく	
エイコレ ナ. <b>eyaykore na.</b>	1008	おぼえておいてください ね。	1008) 直訳すると e=yay-kore エ・ヤイ・コレ《あなたは・自分に・与える》。語り手のサダモさんは1007-1008行目を「よく覚えておいておくれよ」と訳した。
アレシパ ピト <b>arespa pito</b>	1009	私が育てたお方	
アレシパ カムイ 10 <b>arespa kamuy</b>	1010	私が育てた神よ	
タネ アナクネ <b>tane anakne</b>	1011	今はもう	
アシヌマ アナク <b>asinuma anak</b>	1012	私は	
リキナン クシ ネ. <b>rikinan kus ne.</b>	1013	天に昇ります。』	
イタク トゥラノ <b>itak turano</b>	1014	言いながら	
イレ ス サポ 15 <b>iresu sápo</b>	1015	育ての姉は	

- [ウ]ソイ ワ サンマ  
[u]soy wa samma 1016 外へ
- エオシライエ。  
eosiraye. 1017 出て行った。
- [ウ]チャシ エルプシク  
[u]cási erupsik 1018 城の東側へ
- [ウ]ヤイトウイパレ。  
[u]yaytuypare. 1019 静かに進んで行った。
- イワン コソンテ  
5 iwan kosonte 1020 六枚の小袖を着て
- ウコエクッコ  
ukoekutkor 1021 帯をしめ
- イワン コソンテ  
iwan kosonte 1022 六枚の小袖を
- [エ]オパネレ。  
[e]opanere. 1023 羽織って
- オトゥ タブカンル  
otu tapkanru 1024 何回も何回も
- オレ タブカンル  
10 ore tapkanru 1025 両手を広げ一歩一歩進んでいく踊りを
- ウカクシパレ。  
ukakuspare. 1026 くり返した。
- ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci 1027 それにつれて
- ル アントイ カワ  
ru an toy ka wa 1028 地面の上から
- タパン カムイ マウ  
tapan kamuy maw 1029 神風が
- チリキブニ。  
15 cirikipuni. 1030 吹き上がってきた。

1018) 語り手のサダモさんは「cási チャシ の東側へ」と訳した。

1019) 語り手のサダモさんは「行く」と訳し、「しずかに、名残惜しいと思いながら」と説明した。

1020) この前に iwan koso... イワンコソ... と言いかけたが、ふしが合わなかったため言い直している。

1030) ci-riki-puni チ・リキ・ブニ(中相)・高く・持ち上げる)つまり《上がった》。語り手のサダモさんは「ふきあがってきた」と訳した。

ネ ヒ コラチ <b>ne hi koraci</b>	1031	それにつれて	1034-1035) e-yay-riki-kur-kosne-puni エ・ヤイ・リキ・クル・コシネ・プニ《(そこ)で・自分を・高く・影(特に意味なし)・軽く・持ち上げる》つまり《そこ(神風の吹いていく先)で軽々と上へ上がった》。
イレ ス サボ <b>iresu sápo</b>	1032	育ての姉は	1036) ar-kuwanno アラ・クワンノ《全く・まっすぐに》。語り手のサダモさんは「まっすぐに」と訳した。
カム イ マウ エトク <b>kamuy maw etok</b>	1033	神風の前方で	1037) 直訳すると《神の空》。
エヤイリキクル <b>eyayrikikur</b>	1034	軽々と浮び	1038) ko-yay-tunas-ka コ・ヤイ・トゥナシ・カ《(そこ)に向かって・自分を・急ぐ・させる》つまり《(空)へ急いで行く》。語り手のサダモさんは「行ってしまう」と訳した。
[エ]コシネプニ 5 [e]kosnepuni	1035	上がっていき	1039) 直訳すると《椋子であったときに》。語り手のサダモさんは「ようだから」と訳した。
[ウ]アラクワンノ [u]arkuwanno	1036	まっすぐに	1041) テープでは usapo uhuray ウサポウフライと聞こえるが後日、語り手のサダモさんが訂正した。
カム イ ニシ コトロ <b>kamuy nis kotor</b>	1037	神の国の空へ	1042) a=ray-ko-tenke ア・ライ・コ・テンケ《私は・ひどく・それに・?》。語り手のサダモさんは「泣き騒いで走る、あわわわって泣き騒ぐ」と訳した。
コヤイトゥナシカ <b>koyaytunaska</b>	1038	行ってしまう。	1044) 《大きな泣き叫び》。語り手のサダモさんは「わあーわあーと泣き叫んだ」と訳した。
[ウ]シリキヒタ [u]sirki hi ta	1039	それが見えたとき	1045) ae アエは ay アイと発音されている。
イレ ス サボ 10 iresu sápo	1040	育ての姉が	aysananinpa アイサナンンパ《私はそれで前へ引きずって進んだ》と聞こえるが、後日、語り手のサダモさんが訂正した。
イタク トゥラノ☆ <b>itak turano☆</b>	1041	話すのと一緒に	
アライコテンケ。 <b>araykotenke.</b>	1042	私は泣き騒いで走った。	
イキアン アワ <b>ikian awa</b>	1043	そうして	
タン ポロ パラパラク <b>tan poro paraparak</b>	1044	ワアワアと泣き叫びながら	
アエサラニンパ、☆ 15 aesáraninpa.☆	1045	走って行った。	

- [ウ]キ ロク アワ  
[u]ki rok awa 1046 すると
- イレス サポ  
iresu sápo 1047 育ての姉はく
- イコイキ ハウエ  
ikoyki hawe 1048 私を叱って
- エネ オカ ヒ,  
ene oka hi, 1049 こう言った。
- オッカヨ ピリカ  
5 okkayo pirka 1050 「立派な男
- ネプ エチシカラ ハウエ アン?  
nep eciskar hawe an? 1051 なぜ泣くのですか?
- フナツケ クス  
hunakke kusu 1052 せっかく
- シヌプル カムイ  
sínupur kamuy 1053 本当にえらい神
- カムイ オポイサン  
kamuy opoysan 1054 神の子
- カムイ ヘカチ  
10 kamuy hekaci 1055 神である男の子
- エネ ア ヒネ  
ene a híne 1056 なのに
- [ウ]タ オッカヨ  
[u]ta okkayo 1057 こんなに立派な男
- [ウ]タ ラメトク  
[u]ta rametok 1058 こんなに立派な勇者
- エネ ア ヒネ  
ene a híne 1059 なのに
- ネプ エチシカラ ハウエ?  
15 nep eciskar hawe? 1060 何を泣くのですか?

1050-1051) 語り手のサダモさんは「立派な男、なに泣くんだ」と訳した。

1051) nep eciskarayan ネプ エチシカラヤン と聞こえるが、後日語り手のサダモさんに聞いて確かめた。nep eciskar hawean ネプ エチシカラハウエアンは、「あなたは何を泣くのか」。

1056) 直訳すると《だったのに》。1059行目も同じ。

1057-1058) 語り手のサダモさんは「男一、おまえのような立派な人はいないんだ」と訳した。

	フナツケ クス <b>hunakke kusu</b>	1061	せっかく	
	[ウ]アイヌ モシリ <b>[u]aynu mosir</b>	1062	人間の国を	1062-1064) 語り手のサダモさんは「国を守れと言って教えたのに」と訳した。
	エブンキネ セコロ <b>epunkine sekor</b>	1063	守りなさいと	
	アエイェ ロク アワ <b>aeyé rok awa</b>	1064	私が言ったのに	
5	オッカヨ ピリカ <b>okkayo pirka</b>	1065	立派な男が	
	ネフ チシカラ ベ タブ <b>nep ciskar pe tap</b>	1066	何のために声を出して	1066-1067) 直訳すると《何を泣くのに声を出すのか》。語り手のサダモさんは「何のために声出して泣くんだ」と訳した。
	コハウコロ ハウエ <b>kohawkor hawe</b>	1067	泣くの	
	オカ ヤ セコロ <b>oka ya sekor</b>	1068	ですか」と	
	イレス サボ <b>iresu sápo</b>	1069	育ての姉は	
10	オトウ シウエンパ <b>otu siwenpa</b>	1070	何回も何回も	1070-1072) 語り手のサダモさんは「怒りつける、悪口を二度三度くり返す」と訳した。なお <b>siwenpa</b> シウエンパという語はないとのことである。
	オレ シウエンパ <b>ore siwenpa</b>	1071	叱りつけ	
	エシロタツパ <b>esirotatpa</b>	1072	おこりつけて	
	[ウ]ネイ タ パクノ <b>[u]nei ta pakno</b>	1073	どこまでも	1073) 語り手のサダモさんは「どこまでも」と訳した。
	[ウ]シニシ コトロ <b>[u]sínis kotor</b>	1074	大空へ	1075-1076) <b>eyayrikikurpunpa</b> エヤイリキルブンパは、直訳すると《(空)に自分を高く持ち上げる》、つまり《空へのほった》。
15	エヤイリキクル <b>eyayrikikur-</b>	1075	高々と	



[ウ]ブンパ コロカ <b>[u]punpa korka</b>	1076	のぼって行ったけれども	
イクルカシ タ <b>ikurkasi ta</b>	1077	私の上に	
[ウ]ランケ ヌベ <b>[u]ranke núpe</b>	1078	落とす涙が	1078-1079) 語り手のサダモさんは「自分の上に落とす涙大粒の雨のように」と訳した。
ヌムシ アプト ネ <b>numus apto ne</b>	1079	大粒の雨のように	
イクルカシケ 5 <b>ikurkasike</b>	1080	私の上に	
チオランケカラ. <b>ciorankekar.</b>	1081	落ちてきた。	
アナク キ コロカ <b>anak ki korka</b>	1082	けれども	1082) ci-o-ranke-kar チ・オ・ランケ・カク(中相)・(私の上)に・下ろし・(他動詞化)・つまり(涙が)落ちた)。語り手のサダモさんは「落ちてきた」と訳した。
フナッケ クス <b>hunakke kusu</b>	1083	せっかく	
イレス サボ <b>iresu sápo</b>	1084	育ての姉の	
カムイ モイレマツ 10 <b>kamuy moyremat</b>	1085	女神様に	
チカシパオotte <b>cikaspaotte</b>	1086	言いつけ	
イイエカラカラ ペ <b>iyekarkar pe</b>	1087	られたのに	
[ウ]ネイ タ パクノ <b>[u]nei ta pakno</b>	1088	いつまでも	
[ウ]チサン ヤクン <b>[u]císan yakun</b>	1089	泣いていたならば	
セモッカヨラム 15 <b>semokkayoram</b>	1090	男らしくないと	

	アイコレ セコロ <b>aikóre sekor</b>	1091	思われると	
	ヤイヌアン クス <b>yaynuan kusu</b>	1092	思ったので	
	イレス チャシ <b>iresu cási</b>	1093	育った城	
	[ウ]チャシ オロ ウン <b>[u]cási or un</b>	1094	城の中に	
5	アフナン ヒネ <b>ahunan híne</b>	1095	入って	
	[ウ]アミノンペ <b>[u]aminumpe</b>	1096	炉ぶちを	
	アウレコユプ <b>aurékoyupu</b>	1097	足でぎゅっとつかんで	
	チセ カン コトロ <b>cise kan kotor</b>	1098	天井を	
	アコノッタララ <b>akonóttarara</b>	1099	見上げていた。	
10	[ウ]アナン アワ <b>[u]ánan awa</b>	1100	そうしていたところ	1101) 221行目の注を参照。
	[ウ]センラム セコロ <b>[u]senram sekor</b>	1101	やっぱり (?)	1102) ire... イレ... と言ってから、すぐ言い直して、 <b>kamuy moyre...</b> カムイモイレ... まで歌いかけたところで小休止となる(子供が入ってきたため?)。その後もう一度この行を歌うが、その時はふしを改めている。
	カムイ モイレマツ <b>kamuy moyremat</b>	1102	女神様	
	ウタラ オロケヘ <b>utar orkehe</b>	1103	たち	
	レタラ コソソテ <b>retar kosonte</b>	1104	白い小袖と	
15	クンネ コソソテ <b>kunne kosonte</b>	1105	黒い小袖の	

- トウメノコネワ  
**tu menoko ne wa** 1106 二人の女が 1106) *tunre an...* トウンレア  
ン...と言いかけて、言い直し  
ている。
- ポロケトウシ  
**poro ketusi** 1107 大きなながもち 1104-1106) 直訳すると《白  
い小袖(の女)と黒い小袖(の  
女)が二人して》。
- [ウ]スケットウシ  
**[u]sut ketusi** 1108 昔の古いながもちを 1107-1108) *ketusi* ケトウシ  
について、語り手のサダモさ  
んは「今 *ketusi* ケトウシとい  
えば *citarpe* チタッペ(注:ご  
ざ)を袋にしたもの」で、  
「*citarpe kamasu* チタッペ  
カマスという」と説明した。  
また *sut* スッは「*húci* フチ  
の」で、昔の先祖の大昔の、女  
の用いることを表すと説明し  
た。
- セカネオカ  
**se kane oka** 1109 背負って 1109) 直訳すると《背負って  
いる》。
- アフワ アラキ。  
5 **ahup wa arki.** 1110 入ってきた。
- イルシカケウトウム  
**iruska kewtum** 1111 私は腹立たしく
- アヤイコロバレ  
**ayaykorpore** 1112 思った
- アナクキコロカ  
**anak ki korka** 1113 けれども
- フナッケクス  
**hunakke kusu** 1114 せっかく
- カムイモイレマツ  
10 **kamuy moyremat** 1115 女神様である 1115) 行の前に2拍ほど、  
*aea...* アエア...のような音が  
聞こえるが、言いよどみで  
あって、意味はない。
- イレスサポ  
**iresu sápo** 1116 育ての姉が
- イイエアイタク  
**iyē a itak** 1117 言った言葉
- セコロエイキヤクネ  
**sekor eyki yakne** 1118 「このようにすれば
- モシリエレコロ  
**mosir erekor** 1119 国の名によって
- エキカトゥフ  
15 **eki katuhu** 1120 あなたの名前は

- [ウ]アイヌ モシリ  
[u]Aynu mosir 1121 人間の国 1119-1123) 直訳すると《国によってあなたが名前を持つのはアイヌモシリ(人間の国)という名前を持つ》。「1」では「小さい木から生まれたものだから Ainurakkur アイヌラックル《人間くさい人、人間っぽい人》という名前になる」と言っていた。また、それに続いて、Ouhuy Sirka Ouhuy Nikap Attus オウフイ シリカ オウフイ ニカフ アットウシ 《裾こげ刀、裾こげ厚司》という呼び名も出てきた。『音声資料7』557-568行目を参照。
- セコロ エレコロ  
sekor erekor 1122 という名前に
- [ウ]キクシネナ。  
[u]ki kus ne na. 1123 なるのですから」
- イタク ロク アワ  
itak rok awa 1124 と言ったのだから
- ヤイヌアンクス  
5 yaynuan kusu 1125 と思ったので
- タン フシコトイワ  
tan huskotoy wa 1126 ずうっと長い間
- チセ カン コトロ  
cise kan kotor 1127 天井を
- アコノttesusu  
akonóttesusu 1128 見上げて
- アナン コロカ  
ánan korka 1129 いたけれども
- [ウ]カンナルイノ  
10 [u]kanna ruyno 1130 またもや
- [ウ]カネ アムセツ  
[u]káne amset 1131 金(かね)の高床
- チトウイエ アムセツ  
cituye amset 1132 別造りの高床
- [ウ]アムセツ クルカ  
[u]amset kurka 1133 高床の上に 1134) a=ko-yay-osura ア・コ・ヤイ・オスラ《私は・そこに・自分を・投げた》。語り手のサダモさんは「体をなげて」と訳した。
- アコヤヨスラ。  
akoyáyosura. 1134 体を投げだした。 1135) 語り手のサダモさんは「二日、今日一日と今晚寝てあしたまで」と説明した。
- [ウ]タントトリ  
15 [u]tanto tóri 1135 二日間

[ウ]ヤイコトウイマ [u]yaykotuyma	1136	長いこと	1136-1137) 語り手のサダモさんは「ながーいこと考えていた」と訳した。
アシラムスイエ asirámsuye	1137	考えていて	
マクアン カツコロペ mak an kat kor pe	1138	どのようなもの	1138) 語り手のサダモさんは「どのようなもの」と訳し、「どのような神様の息子で...」と説明した。
シパセ カムイ sípase kamuy	1139	尊い神	1139) sípase... シパセ... と歌いかけて、すぐ歌い直している。ふしを整えるためらしい。
シニシ コロ カムイ 5 sínis kor kamuy	1140	天空の神	
オロヤ チキ oroya ciki	1141	やっとわかったところに よれば	
ポホ アネワ póho ane wa	1142	私はその神の息子で	
タパン テワノ tapan te wano	1143	これからは	
モシリ エレコロ mosir erekor	1144	国土によって名前を持ち	
[ウ]アイヌ セコロ 10 [u]aynu sekor	1145	人間と	1145) 1121行目では Aynu mosir アイヌ モシリ《人間の国》と言い、「1」(『音声資料 7』) 558 行目では Aynurakkur アイヌラックル《人間くさい人、人間っぽい人》と言っていた。
アイレコ オアシ airéko oasi	1146	名前をつけられる	1146) 語り手のサダモさんは「名前つけられる」と訳した。
[ウ]キ ハウエアン [u]ki hawe an	1147	のだなあと	
ヤイヌアン ヒケ yaynuan hike	1148	思うと	
イルシカ ケウトウム iruska kewtum	1149	腹立たしい気持ちを	
アヤイコロバレ 15 ayaykorpore	1150	持って	

[ウ]アナン カトゥ  
[u]ánan katu

1151 いたことを

アノモンモモ、  
anomómmomo.

1152 私はつぶさに述べた。

パクノ、  
pakno.

1153 終わり。

1153) pakno パクノは、直訳  
するとく(これ)まで)。

# 索 引

ローマ字行索引

カタカナ行索引

本文に現われたすべての行を、ローマ字はアルファベット順に、カタカナは五十音順に配列し、所  
出行番号を示したのである。行末のピリオド(.)は  
省いた。録音と異なっていることを示す ☆ はつけ  
たままにしてある。





## ローマ字行索引

### A

<p>acastustekka .....212</p> <p>aeánuramu .....204</p> <p>aecikohóppa na.....1000</p> <p>aeékarkar ki na .....497</p> <p>aeéoripak .....152</p> <p>aeárkar ki na .....158</p> <p>ae kí sarsutu .....197</p> <p>ae kóre pe ne na☆ .....470</p> <p>aerékore hi .....915</p> <p>aerés pa póka .....901</p> <p>aesáraninpa☆ .....1045</p> <p>aetápka konna .....554</p> <p>ae yáyerana☆ .....209</p> <p>ae yáykewtum ka .....454</p> <p>ae yáykoresu .....954</p> <p>ae yákosnekur .....190</p> <p>ae yáypastere .....488</p> <p>ae yáypokisir .....120</p> <p>ae yáyríkikur .....185</p> <p>ae yá yureka .....124</p> <p>ae yé rok awa .....1064</p> <p>ahunan hike .....573</p> <p>ahunan híne .....1095</p> <p>ahup wa arki .....1110</p> <p>aikóre sektor .....1091</p> <p>airának pe ka .....361</p>	<p>airéko oasi .....1146</p> <p>akar wa an pe .....83</p> <p>aki p ne korka .....196</p> <p>aki p ne kusu .....245</p> <p>aki wa ne ka .....480</p> <p>akonóttarara .....607, 1099</p> <p>akonóttesusu .....1128</p> <p>akopúriniwkes .....732</p> <p>akor ekimne .....203</p> <p>akor wa sánan .....421</p> <p>akor wa yánan .....380</p> <p>akoré kuni .....378, 419</p> <p>akoyáyosura .....1134</p> <p>akoysankokka .....135</p> <p>akoysitoma .....875, 878</p> <p>akutpokeciw .....115</p> <p>aminumpe .....1096</p> <p>amonkurkasi .....953</p> <p>amset ka wa .....132</p> <p>amset kurka .....55, 1133</p> <p>an kane .....38</p> <p>an nankora .....263</p> <p>an ruwe ne .....805</p> <p>anak ki korka .....847, 1082, 1113</p> <p>ánan awa .....248, 608, 1100</p> <p>ánan katu .....1151</p> <p>ánan ki kor .....77</p> <p>ánan korka .....1129</p>
---	--

anan kurka ta☆ .....	602	aratuyso ka .....	215
áne cikuni .....	526	araykotenke .....	1042
ane p ne kusu .....	600, 962	arekusonna .....	524
ane ruwe ne .....	968	arespa kamuy .....	709, 1010
ane wa an na☆ .....	952	arespa pito .....	708, 1009
ane wa ne yakun☆ .....	815	arki ciki .....	995
ane wa tapne .....	577	arki humi .....	242
ane wa taptap .....	405	arkuanno .....	250
aneháytare .....	527	arkuwanno .....	1036
anepékare☆ .....	529	arokamkinno .....	244
anesíkari .....	525	arpa kuni p .....	967
ani mosir kar .....	829	arpaan hum ko .....	200
anikórayap .....	40, 49	aruska kusu .....	542
aniókere .....	90	asikkotesu .....	88
anomómomo .....	7, 74, 91, 92, 107, 172, 175, 177, 490, 1152	asikrarire .....	86
anopásopas .....	506	asikúrka sam .....	109
anosíraye .....	161	asinuma anak .....	950, 1002, 1012
anpa kane .....	278	asinuma mosma .....	431
anu rok hi, .....	478	asinuma tap .....	923
anukár hike .....	547	asirámsuye .....	1137
anukár ruwe .....	259, 323, 533	asirkik hum ko .....	530
aosúra hum ko .....	565	asirkik hum konna☆ .....	544
apaskuma kus ne kor☆ .....	714	asitúrare .....	900
apeetok ne hi .....	134	atapkakokomo .....	553
apesam un kur☆ .....	859	atte kane .....	142
apkas hi ta .....	794	atuypa anki .....	451
apkas hum ko .....	746, 751, 762	atuyso ka wa .....	216
aporose pe .....	909	atuyso kurka .....	926
apunitara .....	453	auré kasi ta☆ .....	127
apunno síran ya? .....	353	auréekiru .....	572
		aurékoyupu .....	605, 1097

auyna katu .....	106
ayanke ki wa.....	929
ayayámkire .....	166
ayaykakuste .....	247
ayaykorpore .....	425, 446, 575, 892, 1112, 1150
ayaykotomka .....	373, 414
ayaykoyupu .....	113, 118
ayayóresu .....	56
ayayterkere .....	559
ayaytuyere .....	558
ayaytuypare .....	522
aye a itak .....	1006
aynu he tapan .....	42, 579
aynu kat kor pe☆ .....	871
aynu mosir .....	944, 984, 1062
Aynu mosir .....	1121
aynu motoho .....	938
aynu rékor pe .....	920
aynu sekor .....	908, 1145
ayrának kuni p .....	392

## C

cási erupsik .....	1018
cási erupsik ta .....	562
cási iwor .....	688
cási kamuy .....	170
cási kotor .....	9, 606, 678
cási or un .....	1094
cási soyna wa .....	174

cási teksam .....	569
cási upsor .....	16, 20, 173
castustekka .....	281
cieomare .....	18
ciesonere .....	297, 550
cikarkar konci .....	277, 379
cikaspaotte .....	1086
cikoykip kamuy .....	548
cikuni kupka .....	828
cinoye kuwa .....	643, 695
ciorankekar .....	759, 1081
cipiyepkore .....	433, 593, 594
cirikipuni .....	1030
císan yakun .....	1089
cisanasanke☆ .....	628
cise kan kotor .....	1098, 1127
cisikurure .....	254, 322
cisireanu .....	3, 54
cisiturire .....	26
cituye amset .....	52, 1132
ciwre kane .....	64, 239, 677
ciwre kotom .....	47
ciyekosomo .....	440, 590

## E

ean yakkayki .....	919
eani anak .....	972
eani tapne .....	907
eani taptap .....	858, 917
eannu ki pe .....	465

eannukar pe .....	466	ene pirka hi .....	809
earsay néno .....	112	ene rametok .....	866
earuwato .....	14, 640, 681	ene tap ki na .....	948
easirana .....	43, 60, 268, 291, 630, 637, 651, 799	ene wa ean .....	860
eattam néno .....	450	ene wa kusu .....	914
eaykap kusu .....	922	enipekoma .....	21
eciné tap ki na .....	947	enkaske kus kor .....	806
eehayok pe .....	978	enune ki na .....	982
eeyaykewtum .....	991	eohunara .....	989
ek hum konna .....	218	eopirasa .....	110
ek menoko .....	348	eosiraye .....	1017
ékan ayne .....	560	epaki ki na, .....	1005
eki katuhu .....	1120	epaki wa .....	258
eki wa ne kor .....	468	epakor cási .....	556, 898, 970
ekimne kotom .....	417	epakor petpo .....	192, 207, 283
ekimne noyne .....	376	epakor sápo .....	673, 683
ekimnean rusuy .....	101	epetturasi p .....	734
ekimnean kuni .....	475	episun kiroru .....	180
ekimnean yak .....	155	epoutari .....	937
ekimun kiroru .....	178, 183	epunkine kamuy .....	402, 927
ekohunara .....	818	epunkine sekor .....	1063
ekor a kuni p .....	721	eran hum konna .....	234, 306
ekosanniyo .....	992	erekor moto .....	724
ekutcam konna .....	703	eren eciné .....	998
emko kusu .....	15	eresu kuni p .....	864
ene a híne .....	1056, 1059	erurikikur .....	662
ene itak hi, .....	344, 357, 398, 462	esakkaosma .....	205
ene oasi .....	911	esipine pe .....	267, 329
ene oka hi, .....	11, 144, 214, 260, 324, 386, 534, 636, 706, 725, 738, 823, 1049	esirotpa .....	1072
		esirutumka .....	275, 338
		esisuye kor .....	742

esitciwre kor .....	136
etoko orke .....	622
etoko ta .....	476
eun arpaan yak☆ .....	971
eun ka tapne .....	447
ewakitara .....	63
ewkoramkur .....	888
ewkuskusu .....	865
ewosmare wa kus .....	906
eyaykesupka .....	62
eyaykewtum ka .....	988
eyaykoramu .....	902
eyaykore na .....	1008
eyaynunuke .....	840, 854
eyayrikikur .....	1034, 1075
eypottumma .....	271, 332

## H

hanke uk pe .....	514
hapur toy kunne .....	571
harkiso péka .....	568
háwas híke .....	423
hayokan ruwe .....	718
hayoksaknopo .....	715
heru yaynu ne .....	846
hetopo horka .....	789
hetuku cup ne .....	45, 675, 801
hetuku cup noka .....	670
hetuku katu .....	843
homar réra .....	484

homaritará .....	485
hon ne kor pe .....	776, 783
hon okkasi .....	779
Hon okkasi .....	369, 409
honkor ruwe .....	855
hontomo ta .....	249
hopuni kamuy maw .....	625
hopuni ne wa .....	194
hopuni réra .....	188, 486
hopunpa híne .....	612
hopunpa kane .....	186
horaociwe .....	340
horaociwpa .....	280
hosipi ki kor .....	773
hoski ek a p .....	334
hoski nisi .....	228
hoskino kane .....	825
hunakke kusu .....	456, 492, 1052, 1061, 1083, 1114

## I

ihoma kewtum .....	891
iki yakkayki .....	750
ikian awa .....	1043
ikiya eyruska na .....	473
ikonu kuni p .....	536
ikootuyma .....	539
ikoyki hawe .....	1048
ikoyki sektor .....	502
ikoypunpa .....	70

ikurkasi ta .....	1077	isina atu .....	616
ikurkasike .....	1080	itak kutcama .....	384
inan henpara .....	749	itak ne manu p .....	702
inan okay pe .....	292	itak ne yakka .....	439, 589
ine rok pe kus .....	138	itak omare☆ .....	701
inkar ruwe .....	819	itak rok awa .....	394, 1124
inkaran hike .....	507, 890	itak turano .....	382, 1014
inkaran ruwe .....	162	itak turano☆ .....	1041
inkaran wa kusu .....	377, 418	itakan awa .....	498
inuan kuni .....	213	itakan ciki .....	710
inukar ayne .....	610	itakan hawe .....	143
iparosuke .....	59, 95	itakan tura .....	159
ipaskuma ka .....	584	iteki koyki na .....	996
ipe rok ayne .....	775, 782	iteksama ta .....	251
ipe sir konna .....	509, 517	itukarike .....	140
iperusuy kor .....	770	iwan kosonte .....	653, 655, 1020, 1022
ipukitara .....	603	iworso ka ta .....	350, 400
irespa ki wa .....	5, 582	iworso ka wa ....	285, 347, 388, 396, 933
irespa siri .....	457	iyannukamu .....	102
iresu cási .....	1, 164, 561, 686, 1093	iyaynomare .....	261, 632, 797
iresu sápo ...	4, 39, 57, 94, 137, 146, 148,	iye a itak .....	1117
	459, 494, 501, 580, 609, 652, 1015,	iyekarkar hawe .....	442, 596
	1032, 1040, 1047, 1069, 1084, 1116	iyekarkar haweoka ya .....	435
iruska ipor .....	601	iyekarkar hi .....	151
iruska katun .....	467, 479	iyekarkar kusu .....	592
iruska kewtum .....	424, 445,	iyekarkar pe .....	1087
	574, 1111, 1149	iyenucupki .....	46, 676
iruska kuni p .....	599	iyeoripak pe .....	139
isam he ki ya? .....	393	iyesankere .....	538
isam korkayki .....	362	iyonuytasa .....	383
isenram sekor .....	665	iyos nisihi .....	236

iyoykir enka .....	27
iyoykir ka ta .....	33
iyoykir ka un .....	105
iyoykir monpok .....	51
iyoype nipek .....	682

## K

kamuy cipanup .....	646, 661
kamuy hayokpe .....	35, 104
kamuy he tapan .....	41, 578
kamuy hekaci .....	884, 1055
kamuy inoma .....	899
kamuy inuma .....	24
kamuy inuma☆ .....	976
kamuy ipor .....	270, 331
kamuy iyoykir .....	23
kamuy kar cási .....	168, 687
kamuy kar sutu .....	122
kamuy kosonte .....	108, 627, 631, 641
kamuy kusnamne .....	867
kamuy maw etok .....	1033
kamuy maw sika .....	626
kamuy menoko .....	262, 319, 343, 934
kamuy mosir ka un .....	965
kamuy moyremat .....	349, 390, 460, 993, 997, 1085, 1102, 1115
Kamuy ne an kur .....	368, 412
kamuy ne an kur .....	974
kamuy ne kusu .....	269, 330
kamuy ninkari .....	647, 659

kamuy nis ka ta .....	771
kamuy nis ka ta☆ .....	731
kamuy nis ka un .....	833, 1003
kamuy nis kotor .....	1037
kamuy oma nis .....	308
kamuy opitta .....	862, 887
kamuy opoysan .....	883, 913, 973, 1054
kamuy or ta anak .....	360
kamuy oruspe .....	352
kamuy rametok .....	371
kamuy rametok☆ .....	713
kamuy ranke tam .....	114
kamuy tamasay .....	648, 657
kamuy yaynu kuni .....	852
káne amset .....	53, 131, 1131
káne kuwa .....	644, 694
káne pon kasa .....	116
káne sutuker .....	123, 126
kanemay ne☆ .....	704
kanna ruyno .....	543, 1130
kanto or un .....	966
kanto or wa .....	895
kapar toypo .....	246
kaparpe itanki .....	67
kaparpe otcike .....	68
karkar kane .....	121, 125
kasa rantupep .....	117
kasi ciose .....	157, 496
keray ne kusu .....	169
kesto an kor .....	93
ketusi upsor .....	618

ketusi upsor wa.....	624	kohawkor hawe .....	1067
ki hawe an .....	1147	kohúmepusi .....	287
ki hi orowa .....	551	kokewrototke ....	220, 290, 748, 764, 793
ki kane hi .....	294	kokiknatara .....	129
ki katuhu .....	73	kokirawriki .....	515
ki kus ne na .....	1123	kokirawsika .....	512
ki nankor na.....	986	kokisma kane.....	455
ki pe ne kus .....	736	komawkururu .....	198
ki pe ne wa kusu.....	980	komoyntara .....	510, 518
ki rok awa.....	341, 355, 1046	koninkar kusu .....	145, 345, 707
ki rok ayne.....	202, 316, 532, 955	kopakke sama .....	521, 557
ki rok kupka .....	830	kor rametok .....	733, 873, 877
ki ruwe ne korka.....	861	kor ruwe ne.....	857
ki ruwe tas tapan nek.....	422	kor turesi .....	928
ki ruwe tasi an nek .....	381	koramnukuri p .....	868
ki wa kusu .....	374	korimnatara .....	531, 546, 566, 754
ki wa ne ki kor.....	66	kosepepatki.....	235, 307, 753
ki wa ne kor.....	153, 755, 879	kosikerana .....	141
ki wa ne yakne.....	936	kosinna kane.....	272, 333
ki wa ne yakun .....	931, 959	kosne humi .....	225, 301
ki yak aramú.....	788	kosnepuni .....	1035
kim un iworso...387, 395, 399, 401, 932		kosonte nipeki .....	685
kimuyso ka ta .....	391	kosonte sirka .....	634, 669
kina tuye hos .....	119	kosumnatara .....	958
kiroru tuyka .....	184	Kotan sitcire .....	364, 406, 428
kisar uyruke .....	660	koturimimse .....	201, 219, 243, 289,
kiyanne hike .....	730		315, 747, 752, 763, 792
koar'uweun .....	327	kouratcari .....	257
koaruweun .....	649, 672	koyaknatara .....	545
koetoranne .....	481	koyaykar kane .....	256, 668, 802
koeun ki na☆.....	977	koyaykar ruwe .....	10, 635



koyaysinire .....	787
koyaytunaska .....	1038
koyasamnopo .....	295
kunne cipanup .....	326
kunne kosonte .....	325, 342, 1105
kupka ne kor pe .....	837
kurkasike .....	700
kus wa ani .....	744, 765
kuwa kurkasi .....	693, 698
kuwa tuykasi☆ .....	696

## M

mak an kat kor pe ....	217, 222, 240, 253, 286, 311, 321, 426, 620, 1138
makanan ne kor .....	756
makiri etok .....	85
makiri oka .....	87
maskin he ta .....	664
matanpusi taptap .....	420
maw sirkasi .....	189, 487
mosir erekor .....	942, 1119, 1144
mosir kar ayne, .....	827
mosir kar kamuy .....	826
mosir noski ta .....	796
mosir noski wa .....	831
Mosir sitcire .....	365, 407, 429
mosirkes un wa .....	761
mosirpa un wa .....	760
mosirso ka ta .....	896

mosirso kurka .....	758
mosma an kuni p .....	432
moto orke .....	910
motokor katu .....	822

## N

na iyeepakta .....	874, 876
nan ne kor pe .....	800
nan nipeki .....	44, 684
nan tuykasi .....	674
ne a híne .....	461, 870
ne hi koraci .....	743, 1027, 1031
ne hi mosma póka .....	786
ne hi tapan na .....	719, 916
ne korkayki .....	845
ne nankora .....	312, 885
ne turesi .....	404
ne wa taptap .....	430
ne yak easir .....	372, 413
ne yak ta akor .....	850
ne yak tasi .....	812
ne yakkayki .....	838, 872
nei ta pakno .....	1073, 1088
nen ta usa .....	863, 880
néno iki ayne .....	769
néno kane .....	335
nep ciskar pe tap .....	1066
nep eciskar hawe? .....	1060
nep eciskar hawe an? .....	1051

nep enu yakka.....	472
nep enukar yakka .....	471
nep ka asakno .....	499
nep páhawe.....	535
népa ki wa .....	939
nepki ne aki .....	82
néun motokor pe.....	576, 808
nin cup noka .....	13, 639, 671, 680
nis rap etok .....	227, 231, 303
nísapram ta .....	99, 100
nisatta wano.....	963
nisoparakur .....	238
nispa mut pe .....	28
nissineykur .....	309
niste toy or .....	570
notomare.....	697
nukar wa ne kor .....	807
numnu apto.....	233, 305
numnu kawkaw .....	232, 304
numus apto ne .....	1079
nupur cannoyep .....	274, 337
nupur pe sóne .....	273, 336
nuyna kane .....	339

## O

oar apunno .....	483, 520, 611
oka ya sektor .....	443, 597, 810, 1068
okaan ayne.....	96
okaan katu .....	6, 89

okayan hike .....	583
okkayo hekaci .....	856
okkayo pirka.....	1050, 1065
okkayo sirpo .....	905
oman inunpe .....	604
omare kane .....	513
onininini .....	614
opanere wa .....	656
opanere .....	1023
opitta aekóre .....	981
Opoysuyanke.....	370, 410
opoysuyanke.....	780
oran hum konna.....	791
ore imeru .....	690
ore kesto ta .....	72
ore siwenpa .....	1071
ore tapkanru.....	1025
orowa easir .....	767
orowaun suy .....	723, 949
oroya ciki.....	820, 1141
otte kane .....	310
otu imeru .....	689
otu kesto ta .....	58, 71
otu pa re pa .....	768
otu santuka .....	29
otu siwenpa .....	1070
otu tapkanru.....	1024
owkauyru .....	30
oypep yanke .....	781
Oypepi poro.....	367, 411

oyra híne ..... 832

## P

pak pito ne ..... 813  
pak siretok ..... 814  
pakno ne kor ..... 8, 22, 50, 130, 567  
pakno ..... 1153  
pancikiri ..... 523, 552  
paro cioyki ..... 150  
páse humi ..... 223, 299  
páse kamuy ..... 811  
pet hontomo ..... 208  
pet kur etoko ..... 284  
pet pes kayki ..... 313  
pet teksam ta ..... 211  
pet turasi ..... 193, 199, 241  
petetne ayne ..... 903  
petso ka ta ..... 252, 279  
pirka katu ..... 171, 176  
pirka kuni ..... 882  
pirka kuni p ..... 458  
pirka menoko ..... 798  
pirka ruwe ..... 48  
pirka suke ..... 61, 65  
pirkanopo ..... 987, 1007  
póho ane wa ..... 1142  
pon cikisani ..... 803  
pon cikisani ne ..... 842  
pon menoko ..... 804, 821  
ponmat ne ekor ..... 935

poro ketusi ..... 1107  
poromat ne ekor ..... 930  
punpa kane ..... 191, 663  
punpa korka ..... 1076  
puri kor siri ..... 737

## R

racinitara ..... 555  
ramuanan hi ..... 924  
ran pes kunne ..... 25  
ránan ki wa ..... 133  
ránan ruwe ..... 897  
ranke kane ..... 210  
ranke mosir ..... 757, 790, 795  
ranke núpe ..... 1078  
ranma katuhu ..... 549  
rapokkari ..... 293  
rékor katu ..... 427  
rekutyruke ..... 658  
rep un iworso ..... 346, 925  
repuysa ka ta ..... 358  
respa ciki ..... 881  
retar cipanup ..... 265  
retar kosonte ..... 264, 318, 356, 1104  
retar siknumi ..... 537  
rikin aan pe ..... 834  
rikinan kus ne ..... 1013  
riwak kamuy ne ..... 667  
riwak pito ne ..... 666  
roski kane ..... 516

ru an toy ka wa .....	1028
ruwe cikuni .....	528
ruyanpe nis ne .....	237

## S

san hum konna .....	288, 314
San ka tososo .....	366, 408
san menoko .....	389, 397
sánan hike .....	491
sánan katu .....	489
sanasanke .....	642
sanasanke☆ .....	615
sanasapte .....	645, 650
sapte kuni☆ .....	621
se kane oka .....	1109
sekor an menoko .....	848
sekor areko .....	945, 985
sekor erekor .....	1122
sekor eyki yakne.....	1118
sekor okay pe .....	474, 886
semkoraci .....	19
semokkayoram .....	469, 1090
semor porono.....	76
senram sekor .....	221, 1101
seske kane .....	276
sihopire .....	226, 302
síkanna kamuy.....	728
sikari cup noka .....	12, 638, 679
sikenukar pe .....	844
sikkeruru.....	540

siknu kamuy ne☆ .....	37
siknu pito ne .....	36
siktokoko .....	541
símomanpe .....	508, 564
sine an to ta .....	98
sine turesnu .....	403
sinen ene wa .....	149, 918
sinen ka isam .....	735
sínis ka ta.....	969
sínis kor kamuy .....	727, 1140
sínis kotor .....	739, 1074
sinna kane.....	179, 181
síno rametok .....	464
síno utarpa .....	463, 712
sínupur kamuy .....	1053
sípase kamuy .....	298, 835, 849, 869, 912, 951, 1139
síran awa .....	282
síran ciki .....	182
sirepaan yakun.....	500
síriki hi ta .....	519
sirka kasi☆.....	633
sirkanuye .....	79
sirki hi ta.....	1039
sisam omare.....	778, 785
siturare.....	224, 300
somo an kuni p .....	716
somo ki ayne .....	585
somo ne nankor .....	722
soy wa samma .....	160, 1016
soyke sama .....	165

sukus toy kunne .....	691
sut ketusi .....	613, 1108
suypa kane .....	32

## T

ta okayo .....	1057
ta rametok .....	1058
tan huskotoy wa .....	1126
tan poro cási .....	2
tan poro paraparak .....	1044
tan rikna wa .....	563
tan te pakno .....	581
tan tepo ta .....	317
tanán to or ta .....	154, 363, 375, 416, 493
tane anakne .....	75, 904, 1011
tane ne kusu .....	97, 956, 1001
tanepo sonno .....	167
tanepo tapne .....	163
tani un wa .....	741
tanto tóri .....	1135
tap oro wano .....	78
tapan cási .....	975, 999
tapan kamuy maw .....	623, 1029
tapan mosir .....	943, 983
tapan pe kusu .....	103, 206, 482, 841, 893
tapan pe patek .....	81
tapan pe rékor .....	34
tapan pe rékor☆ .....	629
tapan pe sonno .....	941
tapan te pakno .....	147, 953, 960

tapan te wano .....	964, 1143
teeta kane .....	726, 824
tekekar kuni p .....	836
tekkuspare .....	619
tekrarire .....	699
teksama ta .....	320
terke ne wa .....	195
tomika nuye .....	80
toni un wa .....	740
tónon sukus .....	17
totta kunne .....	777, 784
toyka osma .....	853
toykomunin .....	839
toytoy ka wa .....	187
tu iworso ka .....	504
tu kenasso ka .....	505
tu menoko ne wa .....	1106
tu moto orke .....	817
tu pirka kuni p .....	990
tu ru etoko .....	84
tumu an kewtum .....	720
turano ránan .....	979
turpa kane .....	889
tuyma uk pe .....	511
tuytuy nis ne .....	229

## U

uciw-itara .....	692
uhuy wa paye .....	745, 766
uirwakikor .....	729

ukaepita .....	617
ukakuspare .....	1026
ukoekutkor .....	654, 1021
ukopusakur .....	31
ukotutturse .....	230
uncise ta .....	772
upak rametok .....	296
upaskuma ne kus .....	717
urar tak ne .....	255
urespa yakun☆ .....	940
urokte kamuy .....	351, 359
uruki humi .....	128
usayne ka tap .....	436, 586
utar orkehe .....	438, 449, 588, 994, 1103
uwaste kuni p .....	946
uwaste pirka p☆ .....	921
uwepekennu .....	354
uwetunuyse .....	385, 705
uwoeroski .....	69
uwokkane kut .....	111
uwonnere yan .....	711

## W

wen menoko .....	437, 448, 587
------------------	---------------

## Y

yaku kor kuni .....	961
yaykatanu .....	441, 591
yaykotuyma .....	1136
yaynenayne .....	266, 328
yaynu katu .....	851
yaynu kusu .....	816
yaynuan hike .....	444, 598, 1148
yaynuan korka .....	452
yaynuan kusu .....	503, 1092, 1125
yaynuan wa kus .....	415
yayparosuke .....	774
yayteknawa .....	894
yaytunaska .....	1004
yaytuypare .....	1019
ye wa tapne .....	477
yuk cikoykip .....	156, 495
yupke hike .....	434, 595

## カタカナ行索引

### ア行

アイエ ア イタク .....	1006	アエヤイエラナ☆ .....	209
アイコレ セコロ .....	1091	アエヤイケウトウム カ .....	454
アイヌ カッ コロ ペ☆ .....	871	アエヤイコシネクル .....	190
アイヌ セコロ .....	908, 1145	アエヤイコレス .....	954
アイヌ ヘ タバン .....	42, 579	アエヤイパシテレ .....	488
アイヌ モシリ .....	944, 984, 1062, 1121	アエヤイボキシリ .....	120
アイヌ モトホ .....	938	アエヤイリキクル .....	185
アイヌ レコロ ベ .....	920	アエヤユレカ .....	124
アイラナク クニ ヌ .....	392	アエレコレ ヒ .....	915
アイラナク ベ カ .....	361	アエレシバ ボカ .....	901
アイレコ オアシ .....	1146	アオスラ フム コ .....	565
アウイナ カトウ .....	106	アカラ ワ アン ペ .....	83
アウレ カシ タ☆ .....	127	アキ ヌ ネ クス .....	245
アウレエキル .....	572	アキ ヌ ネ コロカ .....	196
アウレコユブ .....	605, 1097	アキ ワ ネ カ .....	480
アエアヌラム .....	204	アクッボケチウ .....	115
アエイェ ロク アワ .....	1064	アコイサンコッカ .....	135
アエエオリパク .....	152	アコイシトマ .....	875, 878
アエエカラカラ キ ナ .....	497	アコノッタララ .....	607, 1099
アエカラカラ キ ナ .....	158	アコノッテスス .....	1128
アエキサラストウ .....	197	アコプリニウケシ .....	732
アエコレ ペ ネ ナ☆ .....	470	アコヤヨスラ .....	1134
アエサラニンバ☆ .....	1045	アコレ クニ .....	378, 419
アエタツカ コンナ .....	554	アコロ エキムネ .....	203
アエチコホッパ ナ .....	1000	アコロ ワ サナン .....	421
		アコロ ワ ヤナン .....	380
		アシクラリレ .....	86

アシクルカ サム .....	109	アネ ワ タツタフ .....	405
アシッコテス .....	88	アネ ワ タツネ .....	577
アシトゥラレ .....	900	アネ ワ ネ ヤクン☆ .....	815
アシヌマ アナク .....	950, 1002, 1012	アネシカリ .....	525
アシヌマ タフ .....	923	アネハイタレ .....	527
アシヌマ モシマ .....	431	アネベカレ☆ .....	529
アシラムスイエ .....	1137	アノシライエ .....	161
アシリキタ フム コ .....	530	アノパソバシ .....	506
アシリキタ フム コンナ☆ .....	544	アノモンモモ .....7, 74, 91, 92, 107, 172,	
アタツカココモ .....	553	175, 177, 490, 1152	
アチャシトウシテツカ .....	212	アバシクマ クシ ネ コロ☆ .....	714
アツテ カネ .....	142	アフナン ヒケ .....	573
アトウイソ カ ワ .....	216	アフナン ヒネ .....	1095
アトウイソ クルカ .....	926	アブニタラ .....	453
アトウイパ アンキ .....	451	アフワ アラク .....	1110
アナク キ コロカ .....	847, 1082, 1113	アブノ シラン ヤ? .....	353
アザン アワ .....	248, 608, 1100	アツカシ ヒ タ .....	794
アザン カトウ .....	1151	アツカシ フム コ .....	746, 751, 762
アナン キ コロ .....	77	アベエトク ネ ヒ .....	134
アナン クルカ タ☆ .....	602	アペサム ウン クル☆ .....	859
アナン コロカ .....	1129	アボロセ ベ .....	909
アニ モシリ カラ .....	829	アミヌンベ .....	1096
アニオケレ .....	90	アムセツ カ ワ .....	132
アニコラヤフ .....	40, 49	アムセツ クルカ .....	55, 1133
アヌ ロク .....	478	アモンクルカシ .....	953
アヌカラ ヒケ .....	547	アヤイカクシテ .....	247
アヌカラ ルウエ .....	259, 323, 533	アヤイコトムカ .....	373, 414
アネ チクニ .....	526	アヤイコユブ .....	113, 118
アネ ッネ クス .....	600, 962	アヤイコロパレ .....	425, 446, 575,
アネ ルウエ ネ .....	968	892, 1112, 1150	
アネ ワ アン ナ☆ .....	952	アヤイテレケレ .....	559



アヤイトウイエレ .....	558	イウオロソ カ タ .....	350, 400
アヤイトウイバレ .....	522	イウオロソ カ ワ .....	285, 347, 388, 396, 933
アヤヤムキレ .....	166	イエ ワ タブネ .....	477
アヤヨレス .....	56	イキ ヤッカイキ .....	750
アヤンケ キ ワ .....	929	イキアン アワ .....	1043
アライコテンケ .....	1042	イキヤ エイルシカ ナ .....	473
アラキ チキ .....	995	イクルカシ タ .....	1077
アラキ フミ .....	242	イクルカシケ .....	1080
アラクアンノ .....	250	イコイキ セコロ .....	502
アラクワンノ .....	1036	イコイキ ハウエ .....	1048
アラトウイソ カ .....	215	イコイブンバ .....	70
アラバ クニ ヲ .....	967	イコオトウイマ .....	539
アラバアン フム コ .....	200	イコヌ クニ ヲ .....	536
アルシカ クス .....	542	イサム コロカイキ .....	362
アレクシコンナ .....	524	イサム ヘ キ ヤ? .....	393
アレシバ カムイ .....	709, 1010	イシナ アトウ .....	616
アレシバ ピト .....	708, 1009	イセンラム セコロ .....	665
アロカムキンノ .....	244	イタカン アワ .....	498
アン カネ .....	38	イタカン チキ .....	710
アン ナンコラ .....	263	イタカン トウラ .....	159
アン ルウエ ネ .....	805	イタカン ハウエ .....	143
アンパ カネ .....	278	イタク オマレ☆ .....	701
イイエ ア イタク .....	1117	イタク クッチャマ .....	384
イイエオリパク ペ .....	139	イタク トウラノ .....	382, 1014
イイエカラカラ クス .....	592	イタク トウラノ☆ .....	1041
イイエカラカラ ハウエ .....	442, 596	イタク ネ マヌ ヲ .....	702
イイエカラカラ ハウエオカ ヤ .....	435	イタク ネ ヤッカ .....	439, 589
イイエカラカラ ヒ .....	151	イタク ロク アワ .....	394, 1124
イイエカラカラ ペ .....	1087	イテキ コイキ ナ .....	996
イイエサンケレ .....	538	イテクサマ タ .....	251
イイエヌチュブキ .....	46, 676		

イトウカリケ .....	140	609, 652, 1015, 1032, 1040,
イナン オカイ ペ .....	292	1047, 1069, 1084, 1116
イナン ヘンバラ .....	749	イレス チャシ ..... 1, 164, 561, 686, 1093
イヌアン クニ .....	213	イワン コソソテ ... 653, 655, 1020, 1022
イヌカラ アイネ .....	610	インカラ ルウエ .....
イネ ロク ペ クシ .....	138	819
イパシクマ カ .....	584	インカラン ヒケ .....
イバロスケ .....	59, 95	507, 890
イブキタラ .....	603	インカラン ルウエ .....
イベ シリ コンナ .....	509, 517	162
イベ ロク アイネ .....	775, 782	インカラン ワ クス .....
イベルスイ コロ .....	770	377, 418
イホマ ケウトウム .....	891	ウイリワキコロ .....
イヤイノマレ .....	261, 632, 797	729
イヤヌカム .....	102	ウウエトウヌイセ .....
イヨイキリ エンカ .....	27	385, 705
イヨイキリ カ ウン .....	105	ウウエベケンヌ .....
イヨイキリ カ タ .....	33	354
イヨイキリ モンボク .....	51	ウウォエロシキ .....
イヨイベ ニペク .....	682	69
イヨシ ニシヒ .....	236	ウウォッカネ クツ .....
イヨヌイタサ .....	383	111
イルシカ イボロ .....	601	ウウォンネレ ヤン .....
イルシカ カトウン .....	467, 479	711
イルシカ クニ ッ .....	599	ウエン メノコ .....
イルシカ ケウトウム .....	424, 445,	437, 448, 587
	574, 1111, 1149	ウカエビタ .....
イレシパ キ ワ .....	5, 582	617
イレシパ シリ .....	457	ウカクシバレ .....
イレス サポ .....	4, 39, 57, 94, 137, 146,	1026
	148, 459, 494, 501, 580,	ウコエクツコロ .....
		654, 1021
		ウコトウツトウルセ .....
		230
		ウコブサクル .....
		31
		ウサイネ カ タブ .....
		436, 586
		ウタラ オロケヘ .....
		438, 449, 588,
		994, 1103
		ウチウ-イタラ .....
		692
		ウパク ラメトク .....
		296
		ウパシクマ ネ クシ .....
		717
		ウフイ ワ バイエ .....
		745, 766
		ウララ タク ネ .....
		255
		ウルキ フミ .....
		128
		ウレシバ ヤクン☆ .....
		940
		ウロクテ カムイ .....
		351, 359

ウワシテ クニ フ	946	エキムネ ルスイ	101
ウワシテ ビリカ フ☆	921	エキムネアン クニ	475
ウンチセ タ	772	エキムネアン ヤク	155
エアイカフ クス	922	エキムン キロル	178, 183
エアシラナ	43, 60, 268, 291, 630, 637, 651, 799	エク フム コンナ	218
エアタム ネノ	450	エク メノコ	348
エアニ アナク	972	エクッチャム コンナ	703
エアニ タブタブ	858, 917	エコサンニヨ	992
エアニ タブネ	907	エコフナラ	818
エアラサイ ネノ	112	エコロ ア クニ フ	721
エアルワト	14, 640, 681	エサッカオシマ	205
エアン ヤッカイキ	919	エシスイエ コロ	742
エアンヌ キ ペ	465	エシッチウレ コロ	136
エアンヌカラ ベ	466	エシピネ ベ	267, 329
エイポットウンマ	271, 332	エシルトゥムカ	275, 338
エウオシマレ ワ クシ	906	エシロタツパ	1072
エウクシクス	865	エチネ タブ キ ナ	947
エウコラムクル	888	エトコ オロケ	622
エウン アラパアン ヤク☆	971	エトコ タ	476
エウン カ タブネ	447	エニペコマ	21
エエハヨク ペ	978	エヌネ キ ナ	982
エエヤイケウトゥム	991	エネ ア ヒネ	1056, 1059
エオシライエ	1017	エネ イタク ヒ	344, 357, 398, 462
エオピラサ	110	エネ オアシ	911
エオフナラ	989	エネ オカ	11, 144, 214, 260, 324, 386, 534, 636, 706, 725, 738, 823, 1049
エカン アイネ	560	エネ タブ キ ナ	948
エキ カトッフ	1120	エネ ビリカ ヒ	809
エキ ワ ネ コロ	468	エネ ラメトク	866
エキムネ コトム	417	エネ ワ エアン	860
エキムネ ノイネ	376	エネ ワ クス	914

エバキ キ	1005
エバキ ワ	258
エバコロ サボ	673, 683
エバコロ チャシ	556, 898, 970
エバコロ ベッポ	192, 207, 283
エビスン キロル	180
エブンキネ カムイ	402, 927
エブンキネ セコロ	1063
エペットウラシ プ	734
エボウタリ	937
エムコ クス	15
エヤイケウトウム カ	988
エヤイケスツカ	62
エヤイコラム	902
エヤイコレ ナ	1008
エヤイヌヌケ	840, 854
エヤイリキクル	1034, 1075
エラン フム コンナ	234, 306
エルリキクル	662
エレコロ モト	724
エレス クニツ	864
エレン エチネ	998
エワキタラ	63
エンカシケ クシ コロ	806
オアラ アブンノ	483, 520, 611
オイペビ ポロ	367, 411
オイペツ ヤンケ	781
オイラ ヒネ	832
オウカウイル	30
オカ ヤ セコロ	443, 597, 810, 1068
オカアン アイネ	96

オカアン カトウ	6, 89
オカヤン ヒケ	583
オッカヨ シリポ	905
オッカヨ ビリカ	1050, 1065
オッカヨ ヘカチ	856
オツテ カネ	310
オトゥ イメル	689
オトゥ ケシト タ	58, 71
オトゥ サントウカ	29
オトゥ シウエンバ	1070
オトゥ タツカンル	1024
オトゥ バレ バ	768
オニニニニ	614
オパネレ ワ	656
オパネレ	1023
オピツタ アエコレ	981
オポイスヤンケ	370, 410, 780
オマレ カネ	513
オマン イヌンペ	604
オラン フム コンナ	791
オレ イメル	690
オレ ケシト タ	72
オレ シウエンバ	1071
オレ タツカンル	1025
オロヤ チキ	820, 1141
オロワ エアシリ	767
オロワウン スイ	723, 949

## カ行

カサ ラントウペツ	117
-----------	-----

カシ チオセ .....	157, 496	カムイ ネ クス .....	269, 330
カネ アムセツ .....	53, 131, 1131	カムイ ハヨクベ .....	35, 104
カネ クワ .....	644, 694	カムイ ヘ タパン .....	41, 578
カネ ストゥケレ .....	123, 126	カムイ ヘカチ .....	884, 1055
カネ ポン カサ .....	116	カムイ マウ エトク .....	1033
カネマイ ネ☆ .....	704	カムイ マウ シカ .....	626
カバラ トイボ .....	246	カムイ メノコ .....	262, 319, 343, 934
カバラペ イタンキ .....	67	カムイ モイレマツ .....	349, 390, 460, 993, 997, 1085, 1102, 1115
カバラペ オッチケ .....	68	カムイ モシリ カ ウン .....	965
カムイ イヌマ .....	24	カムイ ヤイヌ クニ .....	852
カムイ イヌマ☆ .....	976	カムイ ラメトク .....	371
カムイ イノマ .....	899	カムイ ラメトク☆ .....	713
カムイ イボロ .....	270, 331	カムイ ランケ タム .....	114
カムイ イヨイキリ .....	23	カラカラ カネ .....	121, 125
カムイ オピツタ .....	862, 887	カント オロ ウン .....	966
カムイ オボイサン .....	883, 913, 973, 1054	カント オロ ワ .....	895
カムイ オマ ニシ .....	308	カンナ ルイノ .....	543, 1130
カムイ オルシペ .....	352	キ カトッフ .....	73
カムイ オロ タ アナク .....	360	キ カネ ヒ .....	294
カムイ カラ ストゥ .....	122	キ クシ ネ ナ .....	1123
カムイ カラ チャシ .....	168, 687	キ ナンコロ ナ .....	986
カムイ クシナムネ .....	867	キ ハウエ アン .....	1147
カムイ コソソテ .....	108, 627, 631, 641	キ ヒ オロワ .....	551
カムイ タマサイ .....	648, 657	キ ペ ネ クシ .....	736
カムイ チパヌフ .....	646, 661	キ ペ ネ ワ クス .....	980
カムイ ニシ カ ウン .....	833, 1003	キ ヤツ アラム .....	788
カムイ ニシ カ タ .....	771	キ ルウエ タシ アン ネット .....	381
カムイ ニシ カ タ ☆ .....	731	キ ルウエ タシ タパン ネット .....	422
カムイ ニシ コトロ .....	1037	キ ルウエ ネ コロカ .....	861
カムイ ニンカリ .....	647, 659	キ ロク アイネ .....	202, 316, 532, 955
カムイ ネ アン クル .....	368, 412, 974		

キ ロク アワ .....	341, 355, 1046	コキクナタラ .....	129
キ ロク クツカ .....	830	コキシマ カネ .....	455
キ ワ クス .....	374	コキラウシカ .....	512
キ ワ ネ キ コロ .....	66	コキラウリキ .....	515
キ ワ ネ コロ .....	153, 755, 879	コケウロトツケ ...	220, 290, 748, 764, 793
キ ワ ネ ヤクネ .....	936	コシケラナ .....	141
キ ワ ネ ヤクン .....	931, 959	コシネ フミ .....	225, 301
キサヲ ウイルケ .....	660	コシネブニ .....	1035
キナ トウイエ ホシ .....	119	コシンナ カネ .....	272, 333
キム ウン イウオロソ .....	387, 395, 399,	コスムナタラ .....	958
	401, 932	コセペパッキ .....	235, 307, 753
キムイソ カ タ .....	391	コソソテ シリカ .....	634, 669
キヤンネ ヒケ .....	730	コソソテ ニペキ .....	685
キロル トウイカ .....	184	コタン シツチレ .....	364, 406, 428
クシ ワ アニ .....	744, 765	コトウリミムセ .....	201, 219, 243, 289,
クツカ ネ コロ ペ .....	837		315, 747, 752, 763, 792
クルカシケ .....	700	コニンカラ クス .....	145, 345, 707
クワ クルカシ .....	693, 698	コハウコロ ハウエ .....	1067
クワ トウイカシ☆ .....	696	コバツケ サマ .....	521, 557
クンネ コソソテ .....	325, 342, 1105	コフメブシ .....	287
クンネ チバヌフ .....	326	コマウクルル .....	198
ケシト アン コロ .....	93	コモイナタラ .....	510, 518
ケトウシ ウフソロ .....	618	コヤイカラ カネ .....	256, 668, 802
ケトウシ ウフソロ ワ .....	624	コヤイカラ ルウエ .....	10, 635
ケライ ネ クス .....	169	ゴヤイシニレ .....	787
コアラウウエウン .....	327	コヤイトウナシカ .....	1038
コアルウエウン .....	649, 672	コヤクナタラ .....	545
コイサムノボ .....	295	コラムヌクリ フ .....	868
コウラツチャリ .....	257	コリムナタラ .....	531, 546, 566, 754
コエウン キ ナ☆ .....	977	コロ トウレシ .....	928
コエトランネ .....	481	コロ ラメトク .....	733, 873, 877

コロ ルウェ ネ .....857

## サ 行

サナサツテ .....645, 650  
サナサンケ .....642  
サナサンケ☆ .....615  
サナン カトウ .....489  
サナン ヒケ .....491  
サツテ クニ☆ .....621  
サン カ トソソ .....366, 408  
サン フム コンナ .....288, 314  
サン メノコ .....389, 397  
シカリ チュフ ノカ .....12, 638, 679  
シカンナ カムイ .....728  
シットココ .....541  
シツヌ カムイ ネ☆ .....37  
シツヌ ピト ネ .....36  
シケヌカラ ペ .....844  
シサム オマレ .....778, 785  
シッケルル .....540  
シトゥラレ .....224, 300  
シニシ カ タ .....969  
シニシ コトロ .....739, 1074  
シニシ コロ カムイ .....727, 1140  
シヌプル カムイ .....1053  
シネ アン ト タ .....98  
シネ トウレシヌ .....403  
シネン エネ ワ .....149, 918  
シネン カ イサム .....735  
シノ ウタラバ .....463, 712

シノ ラメトク .....464  
シバセ カムイ .....298, 835, 849,  
869, 912, 951, 1139  
シホビレ .....226, 302  
シモマンベ .....508, 564  
シラン アワ .....282  
シラン チキ .....182  
シリカ カシ☆ .....633  
シリカヌイエ .....79  
シリキ ヒ タ .....1039  
シリキ ヒ タ .....519  
シレパアン ヤクン .....500  
シンナ カネ .....179, 181  
スイパ カネ .....32  
スクシ トイ クンネ .....691  
スツ ケトウシ .....613, 1108  
セ カネ オカ .....1109  
セコロ アレコ .....945, 985  
セコロ アン メノコ .....848  
セコロ エイキ ヤクネ .....1118  
セコロ エレコロ .....1122  
セコロ オカイ ペ .....474, 886  
セシケ カネ .....276  
セムコラチ .....19  
セモッカヨラム .....469, 1090  
セモロ ポロノ .....76  
センラム セコロ .....221, 1101  
ソイ ワ サンマ .....160, 1016  
ソイケ サマ .....165  
ソモ アン クニフ .....716  
ソモ キ アイネ .....585

ソモ ネ ナンコロ ..... 722

## タ 行

タ オッカヨ ..... 1057

タ ラメトク ..... 1058

タナン ト オロ タ ..... 154, 363, 375,

416, 493

タニ ウン ワ ..... 741

タネ アナッネ ..... 75, 904, 1011

タネ ネ クス ..... 97, 956, 1001

タネボ ソンノ ..... 167

タネボ タブネ ..... 163

タバン カムイ マウ ..... 623, 1029

タバン チャシ ..... 975, 999

タバン テ バクノ ..... 147, 953, 960

タバン テ ワノ ..... 964, 1143

タバン ベ クス ..103, 206, 482, 841, 893

タバン ペ ソンノ ..... 941

タバン ベ パテク ..... 81

タバン ペ レコロ ..... 34

タバン ペ レコロ☆ ..... 629

タバン モシリ ..... 943, 983

タブ オロ ワノ ..... 78

タン テ バクノ ..... 581

タン テポ タ ..... 317

タン フシコトイ ワ ..... 1126

タン ポロ チャシ ..... 2

タン ポロ パラバラク ..... 1044

タン リクナ ワ ..... 563

タント トリ ..... 1135

チエコソモ ..... 440, 590

チウレ カネ ..... 64, 239, 677

チウレ コトム ..... 47

チエオマレ ..... 18

チエソネレ ..... 297, 550

チオランケカラ ..... 759, 1081

チカシパオッテ ..... 1086

チカラカラ コンチ ..... 277, 379

チクニ クツカ ..... 828

チコイキノ カムイ ..... 548

チサナサンケ☆ ..... 628

チサン ヤクン ..... 1089

チシクルレ ..... 254, 322

チシトゥリレ ..... 26

チシレアヌ ..... 3, 54

チセ カン コトロ ..... 1098, 1127

チトゥイエ アムセツ ..... 52, 1132

チノイエ クワ ..... 643, 695

チピイエゴレ ..... 433, 593, 594

チャシ イウォル ..... 688

チャシ ウアソロ ..... 16, 20, 173

チャシ エルブシク ..... 1018

チャシ エルブシク タ ..... 562

チャシ オロ ウン ..... 1094

チャシ カムイ ..... 170

チャシ コトロ ..... 9, 606, 678

チャシ ソイナ ワ ..... 174

チャシ テクサム ..... 569

チャシトゥシテツカ ..... 281

チリキブニ ..... 1030

テエタ カネ ..... 726, 824



テクサマ タ	320
テクラリレ	699
テケカラ クニフ	836
テックシバレ	619
テレケ ネ ワ	195
トイカ オシマ	853
トイコムニン	839
トイトイ カ ワ	187
トウ イウオロソ カ	504
ドウ ケナッソ カ	505
トウ ピリカ クニフ	990
トウ メノコ ネ ワ	1106
トウ モト オロケ	817
トウ ル エトコ	84
トウイトウイ ニシ ネ	229
トウイマ ウケ ベ	511
トウム アン ケウトウム	720
トウラノ ラナン	979
トウルパ カネ	889
トッタ クンネ	777, 784
トニ ウン ワ	740
トノン スクシ	17
トミカ ヌイエ	80

## ナ 行

ナ イイエエバクタ	874, 876
ナン トウイカシ	674
ナン ニベキ	44, 684
ナン ネ コロ ベ	800
ニサッタ ワノ	963

ニサブラム タ	99, 100
ニシ ラフ エトク	227, 231, 303
ニシテ トイ オロ	570
ニシパ ムッ ペ	28
ニソバラクル	238
ニッシネイクル	309
ニン チュフ ノカ	13, 639, 671, 680
ヌイナ カネ	339
ヌカラ ワ ネ コロ	807
ヌプル チャンノイエフ	274, 337
ヌプル ベ ソネ	273, 336
ヌムシ アット ネ	1079
ヌムヌ アット	233, 305
ヌムヌ カウカウ	232, 304
ネ ア ヒネ	461, 870
ネ コロカイキ	845
ネ トウレシ	404
ネ ナンコラ	312, 885
ネ ヒ コラチ	743, 1027, 1031
ネ ヒ タパン ナ	719, 916
ネ ヒ モシマ ポカ	786
ネ ヤク エアシリ	372, 413
ネ ヤク タ アコロ	850
ネ ヤク タシ	812
ネ ヤックアイキ	838, 872
ネ ワ タフタフ	430
ネイ タ パクノ	1073, 1088
ネウン モトコロ ベ	576, 808
ネノ イキ アイネ	769
ネノ カネ	335
ネバ キ ワ	939

ネフ エチシカラ ハウエ?	1060
ネフ エチシカラ ハウエアン?	1051
ネフ エヌ ヤッカ	472
ネフ エヌカラ ヤッカ	471
ネフ カ アサクノ	499
ネフ チシカラ ペ タブ	1066
ネフ パハウエ	535
ネフキ ネ アキ	82
ネン タ ウサ	863, 880
ノトマレ	697

## ハ行

ハブル トイ クンネ	571
ハヨカン ルウエ	718
ハヨクサクノボ	715
ハラキシソ ベカ	568
ハワシ ヒケ	423
ハンケ ウタ ベ	514
パク シレトク	814
パク ピト ネ	813
パクノ ネ コロ	8, 22, 50, 130, 567
パクノ	1153
パセ カムイ	811
パセ フミ	223, 299
パロ チオイキ	150
パンチキリ	523, 552
ピリカ カトウ	171, 176
ピリカ クニ	882
ピリカ クニフ	458
ピリカ スケ	61, 65
ピリカ メノコ	798
ピリカ ルウエ	48
ピリカノボ	987, 1007
フナツケ クス	456, 492, 1052, 1061, 1083, 1114
プリ コロ シリ	737
ブンパ カネ	191, 663
ブンパ コロカ	1076
ヘトウク カトウ	843
ヘトウク チュフ ネ	45, 675, 801
ヘトウク チュフ ノカ	670
ヘトボ ホロカ	789
ヘル ヤイヌ ネ	846
ペツ クル エトコ	284
ペツ テクサム タ	211
ペツ トウラシ	193, 199, 241
ペツ ベシ カイキ	313
ペツ ホントモ	208
ペツソ カ タ	252, 279
ペテツネ アイネ	903
ホシキ エク アフ	334
ホシキ ニシ	228
ホシキノ カネ	825
ホシピ キ コロ	773
ホプニ カムイ マウ	625
ホプニ ネ ワ	194
ホプニ レラ	188, 486
ホブンパ カネ	186
ホブンパ ヒネ	612
ホマラ レラ	484
ホマリタラ	485

ホラオチウエ	340
ホラオチウバ	280
ホン オッカシ	369, 409, 779
ホン ネ コロ ベ	776, 783
ホンコロ ルウエ	855
ホントモ タ	249
ボホ アネ ワ	1142
ボロ ケトウシ	1107
ボロマツ ネ エコロ	930
ボン チキサニ	803
ボン チキサニ ネ	842
ボン メノコ	804, 821
ボンマツ ネ エコロ	935

## マ 行

マウ シリカシ	189, 487
マカナン ネ コロ	756
マキリ エトク	85
マキリ オカ	87
マク アン カツ コロ ベ	217, 222, 240, 253, 286, 311, 321, 426, 620, 1138
マシキン ヘ タ	664
マタンブシ タブタブ	420
モシマ アン クニ ヅ	432
モシリ エレコロ	942, 1119, 1144
モシリ カラ アイ	827
モシリ カラ カムイ	826
モシリ シツチレ	365, 407, 429
モシリ ノシキ タ	796
モシリ ノシキ ワ	831

モシリケシ ウン ワ	761
モシリソ カ タ	896
モシリソ クルカ	758
モシリバ ウン ワ	760
モト オロケ	910
モトコロ カトウ	822

## ヤ 行

ヤイカタヌ	441, 591
ヤイコトウイマ	1136
ヤイテクナワ	894
ヤイトウイパレ	1019
ヤイトウナシカ	1004
ヤイヌ カトウ	851
ヤイヌ クス	816
ヤイヌアン クス	503, 1092, 1125
ヤイヌアン コロカ	452
ヤイヌアン ヒケ	444, 598, 1148
ヤイヌアン ワ クシ	415
ヤイネナイネ	266, 328
ヤイパロスケ	774
ヤク コロ クニ	961
ユク チコイキッ	156, 495
ユブケ ヒケ	434, 595

## ラ 行

ラチニタラ	555
ラナン キ ワ	133
ラナン ルウエ	897

ラポッカリ .....	293	ルウエ チクニ .....	528
ラムアナン ヒ .....	924	ルヤンペ ニシ ネ .....	237
ラン ペシ クンネ .....	25	レクトゥイルケ .....	658
ランケ カネ .....	210	レコロ カトゥ .....	427
ランケ ヌベ .....	1078	レシパ チキ .....	881
ランケ モシリ .....	757, 790, 795	レタラ コソンテ .....	264, 318, 356, 1104
ランマ カトゥフ .....	549	レタラ シクヌミ .....	537
リキナン クシ ネ .....	1013	レタラ チバヌフ .....	265
リキン アアン ペ .....	834	レプイソ カ タ .....	358
リワク カムイ ネ .....	667	レフ ウン イウオロソ .....	346, 925
リワク ピト ネ .....	666	ロシキ カネ .....	516
ル アン トイ カ ワ .....	1028		